社會学

特別
14
2236
13

社会

緒言　社会学ノ起原、社會学ノ定義、

社　究ノ法方及材料、他ノ学科ト

関係　社会学ノ区分、

成論　社會ノ成立、

一部

一章　原人論

原人ノ

時代

人生活ノ状態、原人ノ性質、

一章 民族論 ―

(一) 家族論 ― 婚姻ノ起原、婚姻ノ

種類、婚姻ノ沿革、補説、

(二) 種族論 ― 種族ノ起原、種族ノ

區別 人種ノ別

第二編 會ノ發達

第一章 社會發達ノ要素

(一) 先在要素 ― 内部要素、

外素、

[illegible]素 ―

會ノ發達

(一) 言語ノ發達 ― 言語ノ効用、言語ノ

起原、言語ノ發達、言語ノ種類、

(二) 宗教ノ發達 ― 宗教ノ定義、宗教ノ

起元、宗教ノ發達、宗教ノ分類

（三）美術ノ発達ー詩歌ノ発達、音楽
発達、絵画彫刻ノ発達、
（四）学術ノ発達ー数学、物理学、
化学、生理学、動植物学、天文学、
及、地質学、

二、
外部要

August Comte 8-1857)

社会学

社会学ハ[illegible]ハ一般ニ空漠タル学問ナリト考ヘラレタリ又実
然ルニ[illegible]最モ後進ノ学問ナリ今緒論トシテ第一
歴史及社会学ノ概略第二社会学ノ定義及範囲
第三社会学ノ材料及法方第四他ノ学科トノ関係第
五社会学ノ区分ノ五項ニ従テ述ブベシ

◎第一社会学ノ起元ヲ案ズルニ其一科ノ学問トシテ独立セシ
ハ仏ノ August Comte ニ始マルト今日一般ニ認メラルル
所ナリ又社会学ナル名モ此人ニ起レリ即チ Société
Logos ノ二語ヲ合シテ Sociologie ト名ケタルナリカク
社会学ノ起元ハ此時ニ在リトモ此ニ先テ已ニ散漫ニ

タル社会学ノ原素ハアリシナリ総テ学問ノ紀元ハ皆然ルモノナリ夫ノアリストートルカ論理学ヲ始メタル時ノ如キ之ナリコムトニ先ツコト二千年ニシテ已ニ社会学ノ如キ考ヲ持タシ人アリプラトー（429—348）之ナリ此人ガ社会ニ就テノ説ハ曰ク各個人ノ心ノ組織ト社会ノ組織ノ関係ハ同一ノ方法ニヨリテ説明シ得ヘキ程ヨリ似寄リノトス又其哲学上ヨリ推考シテ社会ノ合業テフ事ヲ説キタリ次キ、英国ノHobbes（1588—1679）ハプラトーニヨリテ更ニ説ヲ立テ社会ノ組織ト人間ノ身體ノ組織ト似寄ル所アリト説ケリ此説ハ今日ヨリ見レバ誤ナリ然レ氏其社会ヲ一ノ有機体ナリト考ヘシハ甚ダ進ミタル考ナリ今日ノ学者モ之ヲ否ム能ハズ却テ真理ト認メラレ居ルナリ

次キハ伊太利ノVico（1668—1744）ニテ其説ニ曰ク社会ニ於テ時場所トヲ異ニスルニ従テ現象ハ異ナル事実モ之ヲ一貫スルノ大規則ノ支配スルアリテ之ガ為メ諸現象ヲ惹起スルナラン即政治盛衰其他万般ノ社会発達ハ同一ノ規則ニ依ルナラント而シテ此説ハ今日社会学ニ採用セラレ居ル又十八世紀中佛国ニ一種ノ学派アリ自然ヲ崇拝シ万象皆自然ノ大勢力ニヨリテ生ズト説キタリ又社会ニハ諸種ノ法則ニヨリテ定アルモノヽ外ニ自然ノ法則アリテ事物ヲ定ムトイヘリ夫ノTurgot（1727—1781）ノ如キハ之ヲ歴史上ニ当テハメテ凡テノ時代ハ原因結果ノ法則ニヨリ前時代ノ結果トシテ後時代ヲ生ズトノ説ヲナセリギゾーバックルナドノ文明史開化史ナド称スルモノ

八氏ガ考ニ基ケルナリ其ノ社会ガ自然ノ勢力ニ支配セ
ラルヽコトヲ信セシモノハコント以前多々アリ伊ノMachiavelli
(1469-1527)佛ノMontesquieu(1689-1755)又ハ英ノアダム
スミス　コンヂル[illegible]如キ皆然リシナリトシ説ケリ故
ニ社会学ハ之等ノ材料ヲ集メテ之ヲ推繹シ自然ノ法
則ヲ述ヘタルモノナリ　コントハ其実験哲学Positive Philoso-
phyニ之ヲ述ヘシナリ　今其説中ノ著キ点ヲ述ヘンニ凡
テ社会ハ三級ノ階級ヲ経テ発達完全スルモノナリ第一愚
蒙時代即神学的Theological　第二懐疑時代即空
想的Metaphysical　第三解釈時代即実性的Posi-
tiveナリ　故ニ第一ハ止第二ハ(互)第三(●)ノニ経ヲ以テ見ルヲ得ヘ
キナリト又社会ノ大法則ハ原因結果ノ進行法即今

謂フ所ノ進化法ナリトシ其著大ナル点々ナリ
物他ニコントニ先ンシ伊太利ノバコガ千八百二十五年頃ニ一新理学
ノ原理ト称スル書ヲ出セリ此書社会ヲ一ノ研究ノ題目
トセシコト企テシモノナルモ宗教ノ臭味モ多ク且ツ未ダ社会学ト
シテ見ルニ足ラサリシナリ又後ニ佛ノサンシモン(1760-
1825)ノゴモ社学ノ事ニ就テ説キシガ之亦今日ヨリ見レハ幼
稚ノモノニシテ未ダ事実ヲ根底トセス之レニ看察ヲ加ヘ
ノ域ニ進マサリシナリ　此時カコントナリ　コントニ至リ始テ
事実ニ就テ看察スルコトヲ為セシナリ
コントノ功ナケレ(多分)トナス氏ハコントノ説ヲ要
継ギ社会ノ組織ヲ研究スルハ数理的ニ秩序ヲ立ツルヲ要
ニアラサレハ能ハストシ始メテ統計ヲ社会学ニ適用シ蓋然

律 Quetelet ノ [illegible] ヲ達テ、シテ人事ハ
統計ノ数ニヨテ畧其ハ近キヒヨ未然ニ推定シ得ヘシトナ
セシナリ故ニ氏ニ於テ人事統計ノ Physique sociale
ヲ思想トナス氏ノ著書ニハ人類及其官能ノ発達
即社会物理学（[illegible]）社会自然史、社会
躰系及之ヲ管理スル律則（[illegible]）等アリ
之ヲ総テ当テシハ即 スペンサーナリ 恰カモ此時代ニハダルウヰン
ハックスレーナドト相イテ進化ノ大則ヲ明カニシスペンサルハ之ヲ
社会学ニ適用セリ スペンサーノ哲学ヲ湊合哲学ト
称ス其概畧ナルハ先ツ宇宙ノ万象ヲ可知、不可知ノ両
界ニ分ケ可知界ヲ此進化ノ大則ニヨリテ説明セシトナシ
モノナリ其順序ハ無機物ニモ進化ノ法則行ハレ居ルト云之

Gunplow z.

ハ別ニ説明スヘシトシテ有機物ニ移リ第一ニ生物学ニ此
大法則ヲ適用シ第二ニ心理学ニ之ヲ適用シ第三
ニ社会学ニ適用シ第四ニ倫理学ニ適用シ以テ之ヲ擁
進化ノ大法則ニ湊合スルナリ 故ニ氏ニ至ヘテ社会学ハ
哲学ノ範囲ニ入リタルナリ 而シテ~~其学説~~氏ノ説
ハ社会一般ニ是認セラレ居レモナリ 然モ他ニ種々社会
学ニ勃リテ人々アリ 仏ノロベルチー 独ノセーフル リリエンフェ
ルト バスチアン リッペルト グンプロビッツ等之ナリ 其内モ最モ
名ヲ知ラレタルハ グンプロビッツナリ 氏ノ著書ハ社会学
要領（[illegible]）アリト云フト色氏未タ我国ニ来ラス 又
人種争闘篇トミテモアリト云フ 此ハ国家学者ナリ
他ニ国学者ヨリ此種ノ定メシ人々ハ彼ノスタイン等

スト、佛ナドナリ古代制度学ヲ分ケシハ斯ノ如キ範アリシ
其他人種学人類学生物学ナド皆助ヲ要スルナリ

◎第六、社会学ノ定義及区域、　社会学ノ定義ニ曰ク社会ノ成立スル所以進化スル所以ノ理法ヲ討究シ而シテ社会ノ普通ナル現象ヲ分類シ記載スルノ学ナリ此定義ヲ説明スベキ次ハ(1)社会及◎成立(2)進化之大今茲ニ之ヲ説カシ

○(1)社会ハ如何、衆個人ノ集合体ナリ、如斯二一定ノ組織ヲ有セル有機体ナリ第三ニ数（継続）多ノ種類アリ、此如キハ明々白々又説ヲ要セザルナリ如斯二ニハ議論アリ社会ガ果シテ一個ノ團体ナルヤ否カノ論之ナリ社会ハナシトノ論者ハ曰ク社会ナルハ唯多数ノ人々ガ一時相集合シタルモノヽミ稿

演説ノ聴衆ガ一体ニアラザルガ如シ故ニ社会ヲ一体ト見ルノ社会学ナルモノニアルベカラザルモノナリ且箇人ヲ各別ニ就テ研究スベキモノナリト此派ヲ名目主義ト云フ一派ノ学ナリ然レ氏此ニ吾人ノ注意スベキハ社会ノ団体ト演説ノ聴衆トハ大ニ異ナルノ点之ナリ一ハ永々ノ集合ナレ氏一ハ最寄集ノ人ナリ一ハ各相関係シテ痛痒ヲ共ニスレ氏一ハ否ヒ々路傍ノ石ノ如キナリ此ヲ以テ見ルモ此相関ノ一帯ヲ保シテ社会トナスニ妨ナキナリカク社会ヲ存在スト見ルヲ実体主義ト云フ凡テ名目学派ト実体学派ハ万事ニ就テ争フモノナリ更ニ他面ヨリ云ヘバ社会ノ組織上他ノ有機体ト類似ノ点アルナリ之ヲ挙グレバ(a)組織(b)官能(c)各部分ノ作用(d)組織分子ノ生活(e)全体ノ生

活ト組織分子ノ生活トノ関係、此等ノ点ニ於テ相類似シ居ルナリ順ヲ追テ之ヲ説ケハ(a)本来有機体ノ組織ナルモノハ始メヨリ一様不変ノモノニアラズ(1)其容積追々増加シ(2)形状追々発達シ(3)組織追々複雑トナリ行クモノニテ彼ノ動物ノ極下等ノモノヨリ漸次高等ノモノニ於テ之ヲ比較スレハ明カナリ社会モ亦之ト同シク始メ太古今ノ見ル如キ大ナル社会アリシニアラズ極メテ微少ナリシモノガ漸々ニ大ニナリ形モ組織モ多趣モ変遷シタルナリ(b)官能モ亦組織ノ発達ト共ニ発達スルハ勿論ナリ即チ組織複雑ナレハ分業起リ之ト共ニ各官能モ専門ノモノガ複雑ニ生シ来ルナリ(c)各部ノ作用ノ益繊密ニナリ行クモ明カナル理ナリ組織ノ複雑官能ノ増殖各リ

部ノ専門ハ相連シテ発スル作用ナリ(d)凡テ有機体ノ組織分子ハ無数ノ有機物ヨリ成ルト云フ説ニシテ当世ニ許サルヽ限リハ社会ノ組織ガ人ト云フ箇々ノ小動物ノ集合ニ成ルト相似通ヒタリト云フヲ得ヘシ唯動物植物ナドニ於テハ其分子ガ相接觸シテ一体ヲナスニ社会ハ知覚力全部ニ行渡リ居リテ離レテモ相融通シ形成シ居ルナリ但シ有機物ニテハ各分子ノ感觸ハ直ニ全体ノ感觸ニ関スルナリ力ノ一言感觸ニシテ全体ニ生存シ得ヘク又全体ノ命ニ一個々ノ生命ヨリハ長シ社会員モ此点ニ於テ又似タリ以上五点ノ類似ノ外ニ猶一点アリ一派ノ学者ハ此点ニモ重キヲ置キタリ曰ク凡テノ物ハ無限ニ長生スル能ハズ死亡ノ運命ハ免レ得ズ社会モ又此運命ヲ有

去レト然氏此説ハ古来一モ其社会ヲ識ノ例ナキ限リハ断
言スルヲ得サルナリ以上ノ如ク社会ト有機物ノ類似ヲ
説ケ氏モナレハトテ徹頭徹尾二者同一ナリトハ云フニ非ズ今其
殊ナル点ヲ挙レハ(1)社会ノ分子ハ固定セズ前ニモ言ヒシ
如ク分子ハ何処ニ結着シテ成立シ居ルニアラザル謂ナリ
(2)社会ノ分子ノ間ノ交通ハ物質ニ非ズ即チ神霊
ニヨリテ交通シ得ル謂ナリ(3)社会ハ全体ニ知覚神
霊ヲ備ヘ居ルナリ以上他ノ有機物ハ之ヲ有セズ
ト区別ス之社会ノ種類ハ(1)家族[illegible]之ヲ最
初ノ社会トナス最小ノモノナリ(2)種族ナル者ハ之
ヲ家族ノ結合シタルモノナリ(3)人種ハ[illegible]
ハ古来多説アリ或ハ凡テノ人種ハ一祖ニ出ツト云ヒ或ハ

然ラズトテ今ハ暫ク歴史的ニ考案シテ一祖説ヲ取リテ
人種ヲ国民ノ上ニ置クノ然氏実ハ何レヲ先後トモ定ム
カラザルカ如シ(4)国民 nation (5)国際社会 Society
International Community 之ガ最後最大最複
雑ノモノトス而シテカク区分スト云ヘ氏各区劃ノ明カナラ
ルモノアラズ（例之）家族ト云ッテモ多様ニシテ大ナルモノニ至リテハ
種族ト合シテ分カラザルモアリ日本ニ就テ見ルモ始メ姓アリテ
後ニ氏ヲ生シタルモ此氏ガ即チ家族ニシテ姓ハ種族ノ
如キ性質ノモノナリシナリ何時（家族ガ）種族ニ進ミタルカハ明カ
ナラズ又箇々党トカ何トカ称スル党ハ此二者ノ中間位ノモ
ノト見ルヲ得ヘキナリ且他種族ト国民トノ間モ明ニ区別ス
ルヲ得ズシテ時ニ或ハ一種族ニテモ大ナル時ハ国トナスル

其多種族[redacted]ニテモ国民ヲ為サルヽノ數[redacted]アリ此
ニ注意スベキハ社會ノ語義ナリ大社会ノ中ニモ幾多ノ
小社会アリ分論ノ一ニシテ何会社何階級ナド云フモ此
小社会ノ一ナリ然ルニ今社会学ニ於テ指ス社会トハ此等
ノ謂ニアラズシテ大社会ノ義ナリト知ルベシ最後ニ論ズ
キハ国[redacted]家ト社会トノ関係ナリ吾人国民モ語ヲ上ニ
点出シタレバ之ト共ニ国家モ語ガ聯想サルヽハ当然ノ
コトナルベシサレ国家ト社会トハ別物ナルカ如何之レニ二論
アリスペンサーナドハ国家ハ社会ノ一部ニシテ決シテ別物ニアラズト
云ヒ独乙派ノスタインナドハ主権者ヲ別物ナリト為セリ吾人
ハ此独乙派ノ説ガ甚ダ明瞭ナルガ如キモ採ラズスペンサー
派ノ説ヲ取ラントス是ヨリ先ヅスタイン派ノ説ヲ挙ゲテ次
ニ無理ニ之ヲ拒ム所以ヲ述ベン彼等ハ曰ク[redacted]社会ト国家ノ二者ハ
組織ニ於テ異ナレリ即チ国家ノ本義ハ平等ニシテ社会ノ本義ハ不平等
ニアリ吾人ノ目的ハ無限ナルモ之ヲ成就スル力ハ有限ナリ吾人ハ独々
独立シテ事ヲ成ス能ハズ相扶輔助シテ自利ヲ全フセザルベカラズ
之国家ノ起ル所以ナリ又吾人ハ他ヲ利用シテ可成自己ノ利ヲ大ナラシ
メントスルハ天性ナルヨリ所謂弱肉強食[redacted]ノ様ヲ現ズ之レ社
会ノ成ル所以ナリ故ニ国家ハ団体ナレ氏社会ハ集合体タルニ
過ギズ国家ハ一己人ト同ジク全体意志ニ支配セラレ力ヲ有スレ
氏社会ハ然ルコトナシ故ニ国家ノ機関ハ平等ノ本義ヲ維持セン
為ニ法律ヲ要シ平等ノ目的ヲ達スル為メニ政府ヲ要スレ氏社会
ハ不平等ノ本義ヲ維持スル礼義アルモ礼義ハ之ヲ不
平等ノ為ナリ要スルニ国家ニ於ケル個人間ノ関係ハ法律

的ナリ社会ニ於テハ歴史的ナル一切ノ場所ニ関シテ曰
モ国家ニハ画然タル限界アレ氏社会ニハ之レアルナシ一切
生物ノ事柄ニ就テ何レモ国家ニ於テハ政治上ノ改革ニ
テ之ヲ統一ニ憲法制定平等紀律ヲ以テ社会ニ於テ
ハ貧富階級ノ変ニシテ之ヲ統一シ法律ヲ布テ各個人ノ
権利ヲ保タシメテ以テ又第六個人ノ自由ニモ善ナル国家ニ
於テノ如何ナルモ国家ノ機関ヲ増ケ其ノ限リハ各平等ニ其
自由ヲ主張シ参政ノ権ヲ取リ得テモ社会ニ於テハ
各人各個ノ分際身分カリ上下智愚ノ差ニ應シテ甚
自由ニ差アルナリ二者ノ相異ナル点挙ケ来レハ以上ノ
如シ而シテ最後ニ国家カ如此平等ヲ以テ本義トス
ル貴モノナルニ何故歴制ナルモノハ生シ来レヤノ問ニ対
シテハ日ク歴制ハ社会主義ガ国家ノ主義ヲ侵シ社会一
部ノ人カ其社会上ノ権利ヲ国家的ニ政治上ニ濫用スル
ヨリ生シ来ルモノナリ元来此反対タル二主義ハ必シモ相拒
ムモノニアラズ善ク之ヲ調和シテ政治ニ用ユル時ハ進歩ヲ助
クルモノナリ彼ノ参政権ニ高キ階級ヲ附スルカ如キ事
リト以上ノ社会ノ説ニ対シ吾人カ之ヲ非トスル所以
ヲ述ヘンニ人間ノ天性ハ彼レ優者カ云フ如ク全ク利己
一方ノモノニアラスシテ又利他相済ノ意向ヲ有スルモナ
ルノミ真正以上ノミナラスシテ社会的ノ事柄ニモ平等相
済ノ組織ヲ設ケタルヲ以テ知ルヘシ夫ノ共同ノ性
質ヲ帯ヒタル諸種ノ事業ノ如キハ皆此天性ニ出ルモノ
ナリ又生存ノ事柄ニ於テモ正ニ社会上ニハ律ヲ布クト

コレバ国ノ法律ノ一種憲法ヲ社会ノ上ニ布キテ要スルノ時アルベキ明カナリ又其組織ニ就キテモ社会ニ自然ノ社会的制裁アリテ其社会全体ノ意志希望ノ為ニ個人ノ行為ヲ制限スルヲ見テモ社会亦一ノ團体ナルコト明カナリ故ニ吾人ハ国家ハ社会ト別物ナラズシテ之ガ進歩シタル一部ノモノナリト断言ス 但シ研究上ノ便利ナルヲ以テ之ヲ分ツハ可ナリ唯便宜ヨリ別物ナリトスルガ為ナルノミ、社会ノ解釈ニ就テ吾人ガ上ニ挙ゲタル論者ノ外ニ一派アリテ社会モ亦国家ト同シク一巨人ノ自由ヲ始メ凡テ平等ヨリ成ルト説ケリ然ルニ此説ハ勿論取ルニ足ラザルナリ社会ノ一種ナル家族ノ上ニ見ルモ父子長幼ノ席アリテ不平等ノ主義ノ行ハレ居ルコト明カナリ畢竟社会上国家ノ其本義ノ平等不平等ニヨリテ区別セントスルハ間違ナリ

○

（九）進化、此語ハ今日一般ニ用ヒラレ居ルヲ以テ別ニ説クヲ要セザルガ如シト雖モ大ニ誤ラザルモノアリ現ニスペンサーノ如キ此語ノ説明ノ為メニ其書ノ半バ以上ヲ費セリ今氏ガ此語ニ与ヘタル定義ヲ挙ゲ次ニ一二ノ実例ヲ挙ケテ之ヲ明カニセン スペンサー曰ク進化トハ物質ノ結合及之ニ伴フ運動ノ消費ナリ其間ガ物質ハ不定不固ノ同純ヨリ確定固着ノ複雑ニ経過シ且ツ保続セラレタル運動モ之ト並行スル変化ヲ受ク、ト故ニ進化ハ変化ト異ナルヲ知ルベキナリ◎此進化ノ法則ハ其始メ[illegible]等ニヨリテ生物学上ヨリ発見セラレタルモノナリシガ高尚大

社会トカ国家トカノ類ニモ適用セシナリ此法ヲ
実際ニ適用セシタル例ヲ挙レハ夫ノ霞雲混一
ノ如キ之ナリ其始ハ宇宙ノ諸
天体ヲ太初無差別ノ混沌タル霞雲ヨリ進化シ来
モノナルナリ即此気体ガ本来一ノ運動ヲ有シ居リタル
ニ時日ノ経過トモニ其体中ノ軽気ガ外部ヨリ内部
ニ始メ終ニ外皮ヲ生スルニ至ル此外部ガ運動力ノ
為メニ抛出サレテ一分体ヲナシテ運動スルニ至ル此即
今日ノ諸遊星ナリ又此遊星ガ未タ今日ノ如ク確定セザ
ルトキ其運動力ニテ外部ヲ放散セシメアレハ此ニ
衛星ヲ生スルナリ如此諸遊星~~衛~~生シ其後ニ
止リ其部分ガ今日ノ太陽ナリトナシ上ニ説ケル

進化ノ法ニ言ヘル如ク物質ガ不定体ヨリ固体ニ又同
純ノ形状ヨリ雑駁ノ形状ニ進ミ且其運動ヲ変
化シテ保続スルモノトシタラヘキナリ其他之ヲ地質学者
メ地球ノ歴史ニ適用シ生物学者ガ無機有機進化
ノ理法ニ適用スルガ如キ皆好例ナリ今之ヲ社会ノ上
ニ適用スルモ古代野蛮時代ノ不定樸素ノ状態ガ
今日ノ固定雑多ノ状ニ進ミタルヲ証スルヲ得ヘク社
会ナル部分ノ出来事ニモ同様適用シ得ルナリ而シテ
如ク社会ニ就テ曰フ場合ニハ所謂運動ノ消費トハ
人間ノ体力心力ノ費用ヲ指スコトナルナリ
以上ノ外社会学ノ定義中現象ヲ分類スルコトニモ
属ヘシガ此法ハ別ニ説明ヲ要スルコトモナク凡テノ出

未事ヲ大小軽重ノ本ニ從テ其固有ノ種類ニ分析スルコト知ルヘシ只其分類スルモノハ凡テノ活キ網羅ナル社会学ノ如キハ頗ル必要ノ事柄ナルヲ記臆シ居レハ足レリ

以上ニテ社会学ノ定義範囲ハ了レリ終リニ一言スヘキハ、世ノ所謂社会論ト社会学トノ差之ナリ社会論ハ今日現在ノ社会ノ状態ヲ眼目トシテ直ニ実行ヲ期スルモノナルモ社会学ハ如此狭隘ナモノニアラズ社会全体ノ大運命ヲ研究スルモナリ此ニ或ハ社会学カ直接ニ現実社会ニ影響ヲ及ホスコトアルモ之畢竟偶然ノ結果ナルノミ且本来ニアラサルナリ

◎

第二 社会学ノ法方及材料、スヘンサーカ社会学研究ノ法方ト題スル書ハ正ニ此レヲ説明シタルモノナリ然モ此未タ筆ニ之ク思ヒ及ハルヽマヽヲ記述セシモノナルカ故ニ完全トハ云フコト能ハス此等ノ価値アル点ハ吾人カ斯学研究前途ニ横ハル諸種ノ困難ヲ列子タルニアリトス之ヲ概言スレハ（甲）社会学ノ材料即チ社会ノ現象ニ就テ困難之ヲ客看的困難ト謂フ（乙）此現象ヲ看察スル人ノ心ノ上ノ困難之ヲ主看的困難ト謂フ今之ヲ詳説カン

○

（一）客看的ノ困難ニ四アリ（1）事柄ノ錯雑シ居テ容易ニ其真相ヲ見ルコト能ハサルコト例ヘハ統計学者ノ説ニヨレハ二十五才ヨリ三十才マテノ人ノ死亡数ハ結婚シタルモ千分ノ四独身者千分ノ十壽合四、寡婦ハ千分ノ二十二、ナリ又他ノ統計学者ノ調モ略ホ同シ此ニ於テカ直ニ之ヲ基礎トシテ速断シテ結婚ハ人ヲシテ長命ナラシムルトイフモノアラシカ未

タ真相ヲ穿テルモノ少カラズ或ハ已ニ結婚スル位ノモノナラバ始メヨリ身体健康ナリシトイフ事情モアリヤモ知ルベカラズ或ハ結婚シ得ル程ノモノナラバ身分財産モ可ナリナリシヤ営養ガ特ニ十分ナリシトイフ事情アリシヤモ知ルベカラズ或ハ結婚スルニハ互ニ彼ヨリ身体ノ健否ニ注意シ選擇セシモノナリシヤモ知ルベカラズ此等ノ事情錯綜シ居ル以上ハ結婚ヲモ其ノ原因ナスノ説モハ当ルベキナリ此一事ニテモ社会ノ現象ノ如何ニ複雑ナルモノナルカヲ知ルベケン(2)社会ノ現象ハ場所ニ於テノ東西相距ルニ従テ其相ヲ異ニスルヲ以テ廣ク普ク此ヲ捜索照合セザルベカラズ(3)時間ニ於テモ甚ダ計ル能ハズ古ヨリ未来ニ亘リテ起ル諸現象ハ相同ジカラズ一時代ノ現象ヲ見テ直ニ全体ヲ推シ難シ(4)

吾人指頭ヲ目ノ前ニ置クニ於テ遠方ノ山ヲモ覆ヒ得ベシ之ヲ物理学上錯視ト称ス社会ノ現象ニモ亦実ニ此錯視アルハ免レザル数ナリ而シテ物理学上ノハ吾人ニ尺度ノアルアリテ其錯視タルコトヲ知ル得ベシト雖モ社会上ニ其之アルコトナキヲ以テ或ハ指ヲ認メテ直ニ山ヨリモ大ナリトスルノ類ナキヲ得ズ、以上ノ四件ニ由テ社会現象ノ観察ノ困難ナルヲ知ルベキナリ

○

(二)主観上ノ困難ニ二アリ(1)智力上(2)情緒上之ナリ

(1)智力上ノ困難トハ人ノ各其所見ヲ異ニスルモノナルニモ拘ラズ自己ヲ標準トナシテ他モ然カナリト推測スルヨリ彼此相反シテ真偽分チ難キニ至ルモノナリ又社会上ノ現象ハ千差万化極リナシ吾人ノ智力ハ之ニ應シテ自在

ニ精掘スル能ハサルコト又吾人ノ比較力ハ社会現象ノ錯雑ナルニ應スル程緻密ナラサルコト等ナリ(e)情緒上ノ困難トハ人間ノ忍耐~~精~~ニハ限リアリ（何程ニテモ）遂情縦難セシ社会ノ現象ヲ持堪ヘテ研究スル程ノ我慢ノ出来ヌ情アルコト又吾人ハ兎角愛憎ノ情ニ制セラレテ愛スルモノハ好ク見ヘ憎クモノハ悪ク見ユルコト又勤王トカ愛国トカノ情ニ制セラルヽ、又他ガ偉大ナル事蹟ニ逢ヘハ心之ヲ崇拝スルノ情アルコト又権力ノアル所ニハ附随スルノ情アルコト等ニシテ何レモ吾人カ正シキ判断看察ヲ妨クルモノナリ其他夫ノ偏見ト称スルモノモ此部ニ入ルヘシ（偏見ニツキテハ）偏見ヲ五種挙ケタリ(a)教育上ノ偏見之ハ先入為主的ノモノナリ(b)愛国心ノ偏見之ハ国民トシテノ利己心ナリ従テ一切他ヲ排シ己ヲ揚クルノ弊アリ

又之ニハ愛国心ヨリモ生スヘキモノアリテソレヨリノ偏見ノ弊アリ夫ノ日本ニ於ケル鎖攘主義ノ如ク無暗ニ他国ノ風ヲ悪ムモノ之ナリ(c)階級ニ属スル偏見之又己レノ階級ニ属スルモノヲノミ可トシテ他ヲ排スルナリ(d)政治上ノ偏見之亦己カ主義ノ奴隷トナリテ他ヲ看ルノ眼ナキナリ(e)宗教上ノ偏見即自家ノ宗教以外ノモノハ外道ナリ非人間ナリトシテ容レサルナリ而シテ右未此種ノ偏見ヲ最モ有害ノモノトナス臨刑人ノ動モスレハ此偏見ニ陥ルナリ

如此社会学ノ困難ハ多シトモ之ヲ除カハ大分ハ除クコト勉メサルヘカラス之ヲ除クニハ其方一路トシテ心ヲ正シクシ公平ニ看察スルノ慣習ヲ作ルコト博ク学テ善ク究ムルコト等ヲ挙ケタリ以上氏之ニ以テ尽セリトミテヘカラスト

如キ社会学研究ノ材料ヲ何ノ辺ヨリ得来ルヘキカ曰ク其一ヲ時間的ニ歴史上ノ事実ヲ調フルモノトシ其二ヲ空間的ニ廣ク東西ノ事実ヲ調フルモノトス則歴史的ニ研究スルニモ單ニ記録アリテ以来ノ事ノミニヨリテ論定スヘカラス進テ史以前ニ溯ラサルヘカラス故ニ至難ノ業ト謂フヘキナリ記録アルハ発達ニモ僅ニ年間ノ人間ノミニヨリ上ハ畢ク人類学ニ倚ルヘキナリ地質学ガ地層ノ発達ヨリ之ニ倚リ動物及人類ノ有様ヲ研究スルモノ又人種学ガ人種ノ分類発達ヲ論ズルモノモ亦之ニ加ハルヘキ也廣ク東西ニ通シテ諸種ノ文明ノ度ニヨル民族ノ状態ヲ一括セシニモ開明国ナラハ容易ナルヘキモ未開野蛮ノ民ニ就テハ歴史以前ト同様頗ル困難アリ只夫ノ捏捨

旅行者ノ報道ハ一任スルノ外ナキモ此等ハ時ニ信ヲ置キ難キモノアリ彼等ハ一定ノ短日月間ヲ未曾見ノ地ニ来リシモノナルカ故ニ新奇ノ現象ノ多キニ任セ自然ノ料尺タルヲ以テ之ヲ看過スルカ従テ見ル事違ヒノ報道ヲナスコト多シ人間社会ノ出来事ハ夫ノ物理学界ノ如ク整頓ノ小理論ヲ以テ推スヘカラサルナリ残風ナドニ就テモ開墾以前ノ西洋人ノ謬見多キヲ見テモ知ルヘシ如此時ト處トヲ問ハス野蛮ノ民種ノ状態ヲ知ルコトノ至難ナルト共ニ此材料ヲ集メタル上ニ下ス判断モ亦人ニ依リテ雑多ナルヲ免レス其見様次第ニテ何レヲ真トモ偽トモ断シ難キノ嫌アリ如此場合ニ於テハ吾人ハ足ル可キ丈ケ多クノ材料ヲ集メテ以テ性質上ノ困難ヲ分量ニテ

補フノ道ヲ知ルヘシ又統計ノ法ニヨリテ分類計算シ
実相ニ近キモノヲ知ルモ一法ナリ又古代ノ事実ガ如何ニ変
遷セシカ今日ノ有様ニヨリテ推測スルモ一法然レドモ此レハ時
ニ誤推論ノ危険アリ兄ノ死後其嫂ヲ弟カ娶ル風
ヲ見テ直ニ一妻多夫婚ニ推シ料リ又ハ其類ノ如キ之ナリ
又一事ヲ推論スルニ当リテ注意スヘキハ一地方ノ事実ヲ
以テ全地方ヲ料ラントスルノ弊アルコトナリ又継続帰納
ノ何レヲ以テ正トスヘキヤ常ニ社会学者ノ心スヘキ所ナリテ
ノ学問ニ附随スル問題ナリ社会学ハ事実ヲ基トスト
スルモノナルカ故ニ帰納ニテ足レリ演繹ハ要ナシト謂フ
モノアレドモ大ニ然ラス凡テノ学術ハ二法相待テ始テ
完全ナルヘシスペンサーモ明カニ此両法ヲ兼ネ用ヒタルナリ

⑩

第四 社会学ト他ノ学科トノ関係、社会学ハ前ニモ言ヒ
シ如ク一切ノ人間社会ノ学問ニ多少ノ関係ヲ有セサルナシ今
ハ単ダ其ノ必要ナルモノヽミヲ挙ケン (1)人類学トノ関係
ハ前キニモ述ヘタル所ニテ知リ得ヘシ其ノ以前ハ人類学
ト人間ノ身体ニ関スルモノヽミヲ云ヒシモ今日ニテハ
其ノ範囲大ニ廣マリテ凡テ人間ノ事ニ関スル事実
ヲ研究スルモノトナレリ是ニ於テ此レ等ハ人種学ナド称ス
ルモノモ此内ニ入ルコト勿論ナリ (2)地質学トノ関係モ
亦前ニ述ヘタル所ニヨリテ知リ得ヘシ (3)古物学ハ古代
人類ノ諸器物（其他）ヲ調査スルモノナルヲ以テ之カ主人タル
人間社会ニ至要ノ関係アルコト明カナリ (4)生物学モ
亦已ニ社会ガ有機物ナリト云フ以上ハ其非ルトモ之ト

家族ノ関係ヲ論スヘキナリ(5)心理学ハ人間ノ心ノ研究ヲナスモノナルヲ以テ人間ノ心カ社会ノ現象ノ根拠ナルコヲ知ラバ自カラ其関係ノ大ナルコヲ知ルニ足ラン(6)宗教学ノ関係モ決シテ尠ナカラス人心ノ信仰ガ如何ニ社会ノ事実ニ影響スルカヲ見ルヘシ(7)文学モ然リ或点ヨリ言ヘハ文学ハ社会学ノ一部ナリト言ヒ得ヘシ其ノ他文学ノ結果ハ社会学ノ要素ヲ供スルナリ(8)言語学モ人間社会ノ状態ト消長スルモノニシテ関係ノ深キコ勿論ナリ(9)法学殊ニ諸華法律ノ学ガ大関係アリ(10)政学モ然リ(11)歴史学特ニ文明史ノ如キハ社会学ノ一部ナリト言フ人モアル程ニテ其関係大ナリ(12) Folklore 即古代ノ人民間ニ行ヘラルヽ神異的物語リヲ研究スルノ学モ重大ノ関係アリ此レハ既ニ独リ一科ノ学問ト成リツヽアルナリ、以上ガコヅ社会学ニ直接ノ関係アルモノナリ社会学者ハ之等ノ諸学ニ就テノ知識ヲ蓄ヘサルヘカラズ

◎社会学ノ区分

元来斯学ノ組織未ナルカ為メニ未タ一定ノ説アラズ学者ニ依リテ区々ナリスペンサーハ之ヲ五段トナス(1)社会学ノ材料 Data of Sociology ハ社会発達ノ原因要素ヲ説キ(2)社会学帰納 Inductions of Sociology ハ社会進化ノ大法則ヲ説キ(3)家族制 Domestic institution ハ家族ノ起原発達ヲ説キ(4)儀式制 Ceremonial institution ハ社会ニ儀式礼法ノ起リシ所以及発達ノ次第ヲ説キ

(5)政治制 Political Institutions ハ政治制度ノ起原発達ヲ説ク然レ氏ハ適合ノ未タ善ク完セルモノアラ
ルコトハス氏自身モ言ヒ居ルナリ又ドヘルチー Giddings 氏
ノ有機哲学第四ニハ社会学ヲ説テ且区別ヲ四ト
セリ(1)古代ノ歴史(2)組織社会学ノ概要(3)進化
社会学ノ概要(4)革流論之ナリ尤モ氏ノ説ハ宗
教ノ意味ヲ帯ヒテ偏見ニ傾キ居ルニヨテ参考トナスノ價
値ナシ ウァルド Ward ノ Dynamic Sociology ハ
十四章ニ分テリ即チ(1)ニハコントノ実性哲学ヲ評
シ(2)ニハスペンサーノ綜合哲学ヲ評シ(3)ニ物質ノ紀
元ヲ述ベ(4)ニ有機体ノ紀元(5)ニ心ノ紀元(6)ニ人
ノ紀元(7)ニ社会ノ紀元(8)ニ適合 Adaptation

(物ハ直接界ニ適合スル様ニ漸化スル~~者~~ナリ例ヘバ人間カ衣服
ヲ用ヒ来ル内ニハ本来アリシ毛茸ハナクナルノ類)(9)ニ功利
Utility (10)ニ進歩 Progress (11)ニ行為 Action
(12)ニ論説 Opinions (13)ニ知識 Knowledge
(14)ニ教育 Education 之ナリ此氏ハ宗[illegible]
多ク述キタリ今吾人ハ之等諸種ノ区画ニヨラズシ
テ可成簡明ニ大分シテ之ヲ説カントス且区別如此

第一社会ノ成立、更ニ小別シテ
(1)原人論、人間ノ起元発達ノ沿革
(2)原族論、家族血種ノ起元発達ヲ説クニ小別シテハ
(a)家族、(b)種族、之ナリ

第二社会ノ発達ニ六~~[illegible]~~社会進歩ノ

原素ヨリ進歩ノ時代ヲ説キ進テハ社会ノ主ナル事柄ニ就テノ発達沿革ヲ述ヘ而シテ所謂主ナル事柄例ヘハ政治トカ儀式トカ文学トカ云フノ区別ハ甚多キニ及テ之ヲ挙ケテ説キ兼ルカ故ニ今ハ略ス

◎本論

◎第一社会ノ成立

◎第壹章原人論

○原人論ヲ分テ三トナス第一人間発生ノ時代、第二其生活ノ状態、第三其性質知識感情等、之ナリ

第一節人間発生ノ時代

人間発生ノ時代ハ地質学者カ地層ノ研究ニヨリテ得タル説ニ従フ、地球ハ旧ト一団混沌ノ瓦斯体ナリシモ熱ノ放散スルトモニ漸ク分解シテ今日ノ状態トナリタルモノニテ今其時代ヲ四期ニ分チ更ニ第一期ヲ三別シ第二期第三期ヲ各ニ別シ第四期ヲ二別ス而シテ此各一期ト云フハ幾千年ノ歳月ヲ含ムヤ勿論ナリ第一期ハ今日吾人ノ見ルカ如キ動植物トハ全然異リタルモノカ異様ノ瓦斯中ニ発生シ存在セシ時代ナリ夫ノ石炭ノ如キハ此時代ノ植物ノ化成セルモノナリ、第二期モ亦今日ノ世界トハ全ク異リタルモノノミノ時代ナリ第三期ノ始ニ至リテ稍ニ今日ノ動植物ニ似寄リタルモノカ発生シ其終リ頃ニハ遂ニ今日吾人ノ目撃スル所ノ動植物カ生シタリ第四期ハ現今ノ時代ナリ、如此ナル中ニテ人間初テ発生ノ時代ハ正ニ第三期ニアリ従テ社会学ノ研究モ之ヨリ始メサルヘカラス

第三期ヲ合テ三トナス(1) Eocene (2) Miocene (3) Pliocene、而シテ(1)エオシーン時代ハ未タ全ク人類アラサリシト謂フ(2)ミオシーン時代ニ就テハ学者間ニ議論アレ氏時々此時代ノ地層ヨリ人間ノ用ヒシ器具例ヘバ燧石トカ形象トカノ類ガ掘リ出サルヽヲ見レバ人間已ニ存セリト思ハルヽ此時代ハ大象大鹿ナドノ時代ナリシナリ(3)プリヲシーン時代ニ至リテハ人類ノ生存セシ事ハ確実ナル證左ノ挙スヘキモノ多クアリ、此ヲ以テ人類発生ハ第三期ニアリトスルヲ[illegible]人間発生以来六千年位ナリト云フ旧説ハ今日ハ破ラレタリ之ヲ研究シ初メシハ佛ノエーメーブーナー、今之ヲ一科ノ学問トセシハシオーリリス等ナリ又英ノリルラボック等モ之ヲ研究セリ而シテ其年代ヲ説クハ各種各様ナレ氏何レモ推測ニ過キサルヲ以テ信ト定ムヘキモノナシ今其年代ノ区分法ノ主ナルモノ二三ヲ挙グレバ第一說ハ四別シテ(1)沈澱時代即チ岩石土地ガ水中ニ沈澱シテ地ヲナセシ時代ニテ其石ヲ人間ガ用ニ供セシ時代(2)磨石時代即チ石器ニ僅カノ人工ヲ加ヘ磨失セシメテ用ヒ~~作~~シ時代(3)錫器時代(4)鉄器時代之ナリ第二說ハ二大別シテ(1)石器時代更ニ之ヲ小別シテ(a)今日ハ全ク見ヘカラサル獣ノ存在セシ時代(b)今日僅カニ北方ニ残リ居ル獣ガ南方一面ニモ居リシ時代(c)家畜時代(2)金器時代之モ亦大別シテ(a)錫器時代(b)鉄器時代トスルモノ第三說ハ(1)氷河前ノ時代即チ前ノミオシーンプリオシーンナト総称スルモノ(2)氷河時代(3)

氷河後ノ時代(4)最後時代乎人ノ最後ノ時代ニシテ夫ノ貝塚土山ナドヲ築キシ時代ノ四別トシ第四説ハ七別ニシテ(1)氷河前ノ時代(2)氷河時代(3)氷河間ノ時代即チ第二説氷河時代ヲ分合シタルニテ氷河ハ一度解ケテ又生セシコトアルコト其中間ヲ云フモノ(4)剝磨時代即剝磨ノ學生セシ時代ニシテ再ヒ氷河ノ溶滅シテ沫シ時代(5)新若時代即チ是ヨリ以前ノ旧巖石~~[illegible]~~云フモノニシテ人民ガ磨石ヲ用ヒル時代ナリ(6)銅ノ時代(7)鉄ノ時代ト為ス此最後ノモノガ最モ世ヲ得タルニ近ク且便利ナルヲ以テ今~~[illegible]~~之ニ從ヒ各時代ノ有様ヲ說カンニ先テ吾人發生ノ年代ハ何年以前位ナルヘキカヲ一言セザルヘカラズ

之レニ就テハ或ル学者ハ二十万年位ニ前ナランカト云ヒ或ハモノハ十万年ヨリ二十四万年位マデノ間ナランカト云ヒ一リ周ヨリ何レヲ信ト定メン様ナケレ氏思フニ兎ニ角古キモノナルニハ相違ナシ又所謂氷河ノ時代間モ二十四万年ナリ又十万年ナリト云ヒ随分長カリシモノト見エ而シテ此氷河即氷塊ノ流圍シ居リシ時代ニモ已ニ人間ガ存在セシコトアリトハ稍不可思議ノ様ナレド其遺物ノ地層中ヨリ掘リ出サレシガ証據ニテ争フヘカラサルコトナリ

第二節　吾人生活ノ状態~~[illegible]~~ハ唯其遺骨遺器ニテ推測シテ知ルノ外ナキナリ抑モ氷河前ノ時代ヲ人間ノ初発ノ時トスルモ其何ノ地ニ發生セシモノナルカハ今日知ルヘカラズ暫ク普通ノ説ニ隨ヒ之ヲ中央亞

細亜トナスヘキノミ此時代ニハ大ノ（今日）印度地方ニ存セル猛獣巨獣例ヘハ象犀豹獅子駱駝ジラフノ如キモノカ人間ト同住セシニテ人間ハ此等ノ獣ノ害ヲ避クルニ唯通常ノ走獣ト同ジク巌穴密樹ニ隠レ遁ルノ外ナカリシナリ未ダ火モナク器具モナク衣服モナク全身黄毛ニ蔽ハレ木根雑草ヲ食ヒ稀レニ走獣ナドノ肉ヲ味ヒ居タリ此時代ハ今日ノ土人ノ如ヨリモ尚容易ニ信シ難キ様ナレド進化ノ理ニ由テ推シ上ルトキハ争フヘカラザルノ事実ト謂フヘキナリ此ノ如キ様ヨリ漸次代ヲ追フテ棒出テ石器出デ金器出デ、初メテ今日ノ様トナレルナリ又此時代ノ人ノ躰格ハ強大ナリシヿ自然ノ理ナリ頭蓋ハ長キ方ニテ身長ハ総テ長カラザリシト謂フ

第二氷河時代ニ到リ人間ノ知識稍進ミ始メテ火ヲ作リ出セリ[illegible]モ之トテモ始メハ偶然ノ事ヨリ知得セシモノナル筈ナリ其仕方モ段ニ進ミシモノニテ最初ハ一ノ木ヲ下ニ置キ他ノ木ニテ之ヲ摩擦シテ得タリシ其ヨリ稍進テ一木ニ穴ヲ穿チ之ニ木ヲ置キ廻轉シテ轆轤ヲ起コシ更ニ進ミシテ人廻轉スル木モ糸ヲ纏附シテ之ヲ廻ハシテ人力ヲ省クニ到レリ古代火ヲ得ルノ困難ナリシ[illegible]ハ後世印度ナドノ或宗教ニ[illegible]火ヲ貴ヒテ数千年ノ火ヲ絶ヤサヌナドニテ見ルニテ知リ得ベキナリ又此時代ニハ寒気カ進ミシヲ以テ初メテ衣服ノ制起リ野獣ノ皮若クハ木皮ヲ用ヒタリ而

ニテ野獣ヲ田作スニハ砥石且作リ斧トシ鏃トシテ
用ヒタリ

第三氷河間ノ時代ニハ漸ク進ミテ動物ノ骨角ヲ尖ラシテ武器ト為シ又粧飾物モ出来テ獣牙貝殻珊瑚ナドヲ用ヒ且ツ泥土ヲ乾カシテ土器ヲ作リ彫ヲモ起シ又彫刻ノ技モ出シテ図ヲ今日ニ見ルハ何モ今ヨリ又線条ヲ壁ニ刻メリ亀ヲ作ルコトヲ知リ食物ヲ調理シタリ言語モ此迄ハ只単ナル叫声ノミナリシモノガ此時代ニ及テハ極メテ簡粗ナル言語ヲ為スニ至レリ

第四期ノ時代ニハ余程進ミタル有様見エ更ニ人種ガ前代ト異リタリ何レノ地方ヨリ来リシカハ知ルベカラザレドモ円頭人種ガ来リテ長頭ノ前住人種ト競争セシ跡アリ円頭ノ方ハ躯幹ハ細ナレドモ知力勝リシヨリ遂ニ長頭ヲ圧シテモ又調和シテ今ノ子モ出来タル如シ其遺骨今日見ユルモノアルナリ住処ハ穴居多クシテ間々断岸ノ岩ニ小屋様ノモノモアリテ之ハ猛獣ヲ避クル為メノモノナリシナルベシ住居ハ常ニ飲料ヲ欠カヌ為メ流レニ近接シ居リシナルベシ衣服ハ寒気ノ益増スト共ニ毛服ノシトナリシモ其体裁大ニ好クナリテ裁縫ノ術モ行ハレシモノト知ラル食物ハ主トシテ獣肉ナリシニテ人民モ一般ニ猟師ナリキ其獲物ハ馴鹿ガ主ニシテ牛馬ナドモ多カリキ其他鳥魚モ交リシナラン猟具ハ槍弓矢ヲ要トセリ其珍味トスル所ハ獣骨ノ髄及脳

ノ液汁ナリキ、食人ノ風モ行ハレ居リシコトハ時代料理ノ
場所ニ人ノ枯骨ノアルヲ知ラレタリ器物ハ主モニ燧石
十剥片ノ骨ニシテ武器ニハ石刀石鏃獣牙アリ又土器
モ大ニ進ミタリ粧飾物モ進歩シ口笛ヲ耳ヲ嵌マ
ミツモ配リ彫刻モ比ナキ物象ヲ刻ム様ニナリ其他
王者ノ持ツベキ笏ノ様ナモノモアリシヲ以テ推セバ已ニ酋長
ノ如キモノモアリシナルベク多サ統制団体ノ類モアリシト思
ハル製造場ノ如キモノモアリタリ商売モ行ハレタリト見エテハ
佛ノシアンペーン以外ニハ産セザル燧石貝殻ノペルジヤン辺
ニ輸入シアルニヨル死者ヲ葬ルニモ礼儀式ヲ用ヰタルナ
岩穴ニ収メタリ然レ共近頃ニ偶像ノ類ノ見エザルヨリ見
レバ未ダ宗教ナドト云フ者ハナカリシナリ

第五 新巌時代ノ人ノ頭蓋ハ狭クシテ円形ヲ又脊丈
ケハ小ナル民絶国ナリシナリ今日ノラプランダー人ニ備ヘタリ
住居ハ處々ニヨリテ異ナリテ或ハ穴居シ或ハ建造子ヲ造リ
小屋（小屋ハ常ニ貝塚ニ接シ居シナラン）ニ住シ或ハ湖
水ニ住ミタリ此湖水ニ住ムト云フハ頗ル奇ニシテ且ツ毛
ダ研究スベキコトナリ近年ノ発見ニ係
レリ其様ハ湖ノ浅キ所ニ幾多ノ杭ヲ打込ミ其頂
ヲ揃ヘテ之ニ床ヲ張リ其上ニ住ミシナリ杭ノ数ノ
多キハ四五十万本モアリテ其床ノ廣サモ凡テ七
万平方ヤードニ及ブモノアリ之ニ住ム人数ハ少クモ
二三万人ヲ下ラザリシナルベシ此時代ノ衣服モ處ニヨリテ
ナリシ或ハ野獣ノ皮或ハ織組タル植物ヨリ製シタルモノ

ヲ用ヒタリスイツツランドノ湖辺ニ住ミシモ人進歩シ居リテ草履様ノモノヲ穿チ居タリ食物ハ一般ニ獣魚鳥ノ肉ニシテ處ニヨリテ優劣アリタリ其他大小麦ヲ製シ之レ食物及覆盆子ナドノ菓物ヲモ用ヒ始メタリ獣ハ主モニ牛羊野羊（やぎ）ナドノ家畜ニシテ犬馬ハ猟用ノ外ハ食物ニハ用ヒシコト稀レナリキ食人俗ハ猶ホ存セリトモ覚エルハデンマルクナドニテ人骨ノ割リシカ如キモノヽ掘出サルヽニヨリテナリ兎ニ角確カナラズ技術ハ槍ノ穂、皮剥ギ及長刀ノ如キモノヲ砥石ニテ作リタリ其他スコツランドナドニハ精巧ノ器具往々見出サル石器ニテ善クモカクマデ作リシモノカナト思ハルヽ程ナリ又槌ノ先キヲ尖ラシテ斧トセルナドハ槌ト斧トノ用ヲ兼子合ハスノ智アリシモナルヘシ樽様ノモノ出来又布ヲ織ル機械モ出来タリ土器ハ粗ナルヲ

免レズ舟モ独木舟出来タリ以テ漁業運搬ノ用ニ供セリ漁具ハ網ヲ用ヒタリ又製造場ノ如キモノモ見エ全体此時代ノ器具ハ余多様ニシテ現ニデンマルクノ博物館ニ集メタルモノ一万二千ニ及ビ其他所ノモノヲ合スレバ二万ニ及ブト謂フ此時代ノ戦争ノ形迹モ残リ居テ砦ノ如キモノアリ武器ハ矢鑓リ槍刀ノ類ナリ農業モ此時代ニ始マリ此ニ始メテ開化ノ基礎ヲ置クニ至リ今其所以テ尋ヌルニ猟ヲナスモノハ多クナルト共ニ野獣ノ少クナルヨリ必要上已ムナク農業ニ従事シタルナリ農具ハ始メハ単ニ棒端ニ獣角ナドヲ着ケテ鍬ノ代用ヲナセシモノナリ収メ得タル穀物ハ倉ヲ作リテ貯蔵ノ道ヲ講ジタリ、死人ノ取扱方ハ明カナラザル所モアレド一般ニ

前期ト異ナリテ已ニ自己等ノ住ム洞穴ニ棄テズシテ塚ニ埋メシト見エ殉死トモイフベキハ母ノ傍ラニハ兒ノ死體アルヲ見ルノ事ナリ之ハ多ク母死スレバ兒ノ養ヒ人ナキヨリカハ殉埋セシナラン

第六銅ノ時代ニ錫ヲ用フルハ歴史時代ニ及テモ見ルコニテ其前ノ石器時代トハ大ニ異ナリタルモノナリ其器械モ雜多ニシテ其遺物ノ見出サルルハ主モニ英仏瑞伊典ノ諸国ナリ人種ハ新石器時代ト大差ナク円頭ハ小躯強壮ノモノナリキ此人種ノ手ハ殊ニ小ナリシト見ヘテ刀ノ柄ノ如キモ今人ニハ用ヒニクキ程ナリ此人種ハ今日マデモ殘リテスイツツルドノ北部ニアリトイフ住居ハ岩穴ニアラズシテ造作シタル家ニ住ミタリ食物ハ段々穀物ガ殖ヘタリ衣服ハ毛皮服減シテ布及毛織モノアリ其他帽子肩掛ケ足袋ナド及皮ノ靴ナドモ残リ居レリ色モ夏ハ主モニ布ノ白キヲ用ヒタリ器具ハ一々枚挙スルヲ得ズトモナク多シ指環胸飾リ等ノ装飾品及金ノ飾具モ用ヒラレタリ技術ハ織物術発達シ及土器ノ製法モ進歩シテ飾リヲナスニ至リタリ又已ニ硝子モアリタリ多クハ青緑色ナリキ普通ノ歴史ニテハフヰニシアガ硝子ノ始メトシタル時代時ニモアリシナリ農業モ進歩シテ木ヲ曲ケテ鍬トナシ用ヒタリ穀物ヲ仕上ゲル器械モアリタリ又漁獵航海モ通目ヲ始メタリ葬儀ハ壺様ノモノニ納骨シタルモノモアリ土葬シタルモノモアリ土ニ埋メタルハ常ニ横臥セシメズシテ直立セシメタリ葬ルニハ其人生前ノ衣服器具ヲモ併セ埋メタルモノト思ハレ宗教ノ迹カトモ見ルヘキモノ残リ居レリ之ハ人ニヨ

リ解ノ無キニ在ラシテ有無定カナラズ
加モ鉄ノ時代ハ純粋ナル歴史ノ時代ナルヲ以テ原人ノ論
中ニハ入ラズ、是ヨリ進テハ原人ノ性質ヲ述ベシ

○

第三節 原人ノ性質、原人ノ性質ハ生活ノ状態ヲ述
ヘシ所ニテ且ツ一斑ヲ知リ得ベシ 生活ノ状態ハ各代時ニ
従テ述ヘシモ性質ハ今日現存スル~~[illegible]~~蛮人即チ一種ノ原人
ノ性質ニヨリテ推究スルナリ 此ニ就テハ議論アルコトニテ今
日ノ蛮人モ亦古人ノ祖先ト同様ノ道ヲ進テ進歩スヘシトニ云フ
ハ普通ノ説ナレドモ一方ニハ之ニ反シテ今日ノ蛮人ハ到底古人
トハ同ジキモノニアラズシテ進歩モセズ性質モモチテト云フ論アリ
何レカ果シテ真ナルヤ知リ難ケレドモ仮リニ同一ナラズトセシ
モ両二者似通ヒタル所アルハ争フヘカラサル事実ナルヲ以テ
之ヲ材料トナシテ研究スルハ差支ヘナキナリ今ハ此ニ従テ述
ヘントスルナリ 諸学者ノ中ニスペンサーヲ最モ適切ナリトスルヲ
以テ之ニ準拠セシ 氏ハ原人ノ性質ヲ(1)身体上、(2)知
力上(3)感情上ノ三トシテ述ヘタリ
(1)身体上ニ就テ最モ注意スヘキハ身材ノ長サナリ此レニ就テ
研究シタル学者ハ多ケレドモ開化ト身長トノ関係ハ明言スル
ヲ得ズ蛮人ト云ドモ全ク短矮ナルニハアラズ現ニアメリカノ
パタゴニア人ノ如キハ其ノ六七尺ニ及ブモノアリテ世界中ノ最高ノ
モノタリ又埃及中ノ或土蛮ノ如キハ所謂小人ナルモノナリ一
定シ難シ併シ之ヲ平均シテ何レカト問ヘバ短矮ナル方ト
ス南米ノギニア人アラブス人亜細亜北部ノキルギツ人ノ如キ
高キモ五尺五寸ニ及バザリシナリ 如此概シテ躰ノ小ナル理由

ハ多クノアリテ(1)身体ハ他ノ組織ノ発達セザル時ハ既ニ発
達セザルテ(2)弱小ナルモノハ他ノ強大ノモノヨリ追ハレテ生存
ニ不適当ナル土地ニ適当ニ比シテ困難甚シキヨリ自然身体ノ
発達セザルテ北ノエスキモーノ如キ其例ナリ 又世帯ノ人種
ハ寒気ニ妨ケラレテ発達セズ 等ナリ 以テ注意スベキハ
身体ノ組織ナリ 足ハ概シテ長カラズ 濠人ノ如キ
ハ長ケレ氏不恰好ナリ 其ノ如クナル理由ハ他ト闘フニモ
リ自己ヲ護ルハ足カ最必要ナルヨリ他ノ部分ヨリ発達早
ク従テ蛮人トサヘノ開化シタル人民ト大差アルナリ 又腸ト
歯ガ大ナリ 之ハ如何食物ガ粗大ナルト又食物ヲ得ルニ定リ
ナル時ナキヨリ得ル時ハ大食シ得ザル時ハ食ハザル等ノ事ヨリ来
ル 又消化機ガ大ナリ 故ニ小児ナドニ蛮人ノ腹ノ大ナルヲ見

ナルハ之ナリ 之モ上ト同一ノ理ニ由ル 事ノ有様ニ於テ合ヘ之
モ明カナルベシ 以テ注意スベキハ力量ナリ 一般ニ云ヘバ蛮
人ハ力量ノ勁ナシ 即チ一時ニ多クノ力ヲ出スヿ能ハズ又長ク出シ続
クルヿ能ハズ 蛮人ノ外容ハ強壮ニ見ヘテモ実際試験スル時
ハ開化人ニ劣ルナリ 之ガ理由ハ大ニ食物ニ関シ又脳髄
ノ発達ト関ス 以テ注意スベキハ身体ノ堅サ hardiness
ナリ 蛮人ノ身体ハ非常ニ堅シ 之ニヨリテ寒気ニ堪ヘ又疵ヲ受
ケテモ直ニ癒ヘ 又差テナスニモ更ニ苦痛ヲ云フナシ 又瘴癘ノ
気ノ充チタル地方ニ住ムモ害ナキナリ 以テ注意スベキハ全
躰ノ成熟期ノ早キコトナリ 早ク成熟スル時ハ進歩ノ余地
ナシ 開明人ハ成熟ノ遅キガ為メニ其間ニ充分発達シ得
ルナリ 又早熟ノ結果トシテ早婚ノ事起ルナリ 以上ノ身

躰上ノ性質ハ主トシテ現代ノ蛮人ニ就テ考察セシ所
ナレモ上代ノ蛮人モ大差ナカリシニ相違ナシ
(2) 感情ノ性質（蛮人ノ性質ハ）概シテ曰ハヾ怒リ易ク哀シ易シ 然レ中ニ取除アラバ
米ノ「チヌーリス」ノ如キハ感情ヲ制スルニ非常ノ力ヲ有セリ 然リ
易キハ気ノ変持不定ナルニヨルコト寛ニ於テ見ルモ明ナリ次ニ注
意スベキハ蛮人ハ常ニ気楽ナル有様ヲナシ居ルナリ 之ハ未来
ノ事ヲ考ヘザルガ為ニテ 知力ノ少キ人ニハ有リ勝チナリ 小児ニ於
テ見ルモ然リ 次ニ注意スベキハ人ニ従順セズシテ独立気随
ナルコトニシテ之ノ風アルコトナリ 如何ニモ人ニ使ハレズトニハアラザルモ小児ノ我
儘ト同様ノ風アリ 次ニ注意スベキハ習慣ガ早ク固マリテ移
ルコトヲ妨グルノ有様アルコトナリ
(3) 知力上ノ性質ヲ説クニハ常ニ心理学上ノ説ヲ根拠トセ

サルヲ得ズ 心理学上心ノ発達ヲ考フルニ (1) 普通ト云フ看
念ハ余程進歩シタル人心ノ上ニ起ルベキ事ニシテ蛮人ニハ之ナシ
何トナレバ普通ト云フハ多クノ経験ヲ重子タル後ニ来ルベキモノナ
リ (2) 未来ヲ先見スルコトハ原因結果ノ理法ヲ知リタル後
ノコトナレバ蛮人ニハ此力ナシ (3) 蛮人ニハ地理上ノ知識少キ
ヲ以テ天地ニ生死シ居テ他アルヲ知ラザルヨリ思想狭
小ニシテ信仰偏固ナルベシ (4) 抽象ノ看念ハ余程発
達シタル智力上ノコトニテ多ク経験ヲモナシタル上ナルベケレバ蛮人ニ
ハ此力ナク（此ノ例）小児ニ就テ見ルモ明カナリ 斯ク抽象ノ力ナ
キヨリ所有ナドト云フ看念ハ起シ得ザリシナリ (5) 又真理ト
称スル看念ノ如キモ抽象ナルヨリ遂ニ起シ得ザリシナリ
(6) 蛮人ノ智力ハ単ニ反射的ニシテ此考ヲ創造スル

ヿ能ナリシナリ創造スル未来ニ関スル脳力ヲ学ス以上ニ心理学上ノ結果ナリ此等ニヨリテ良人ノ智力ヲ考察セサルヘカラズサテ良人ノ有様ヲ説クニ則良人ノ五官ハ非常ニ鋭敏ニシテ殆ト獣類ト等シキモノアリ吾人ノ到底説捉シ得サルヿモ彼等ハ視聴シ得ルナリ又之ヨリシテ看察ガ非常ニ緻密ニシテ吾人ノ気ノ付カサルヿヲ看察シ得一地方ノ地理ノ如キ（精細纖悉）殆ト精記シ居ルナリ又カリ五交錯セシ看察緻密ヨリ枝葉ニ巧妙ナリ時ニ國ハ此等ノ性質ニ合セサルモノアルモ根ニシテ此ノ如シ且此ノ如クナル所以ノモノハ何ゾヤ他ナシ脳力ヲ單純ノ物ニノミ傾注スルカ為メニ復雑根底ノヿニハ少シモ発達セスシテ全力此方ニ向フカ故ノミ即特種ノヿニノミ発達シテ全体ノ発達ヲ害スルモノナリ此ヲ見レハ[illegible]良人ノ長所ハ却テ短所ナリ[illegible]シ脳力カ事実ヲ採収シ考察シテ知識ヲ得ルニ於テモ良人ハ事実ノ採擇ナサヽルヿナシ之ヲ喩フレハ動物ノ食物ニ於ケルト一般ナリ最下等ノ蚯蚓ノ如キハ目前ノ土ヲ直チニ食フカ故ニ百分ノ九十五ハ排泄物トナリ滋養分トナルハ僅カニ残リノ百分五ノミ蜘蛛ヨリ蜂ニ至テハ大ニ食物ノ採擇ニ注意シ甚シクシテ人間ハ尤モ之カ選擇ヲナス又人間ニテモ悪人ハ粗食ヲ多ク食ヒ開ケタル人ハ滋養物ヲノミ食フ様ニ之事実ヲ収メテ且甲ヨリ知力ヲ得ルモ此ト同一ナリ因テ良人ハ看察ニ長スルモ之ヲ材料トシテ且結果ニ推度スルノ力ナシ凡テ推理ノ力ナキノ証ハ例ヘハ甲ヨリ乙ヲ経テ丙ニ達スルヿヲ知ルモ之ヲ

墨守シテ甲ヨリ直チニ丙ニ至ル道ヲ老人ハ得サルノ類ナリ又旅行者ノ記セルヲ見ルニ蛮人ハ理屈ナキ連続シタル話シヲハ聞キ得サルノ類見ルヘシ又蛮人ニハ独創ノ見ヲ立ツルノ力乏シ此ニ於テカ他ヲ模倣シ他ニ動カサレ易キ黒人カ常ニ白人ノ真似ヲナスニ於テモ又ハ意見ノ有様ニ従テモ見得可シ ヒユーヂアンス人ハ此方ヨリ話シカケタル語ヲ更ニ其面顔手振リト共ニ真似スルトイフ直斯ノ如クナル理由ハ元来思慮力ト知覚力トハ相妨クルモノナルヨリ知覚力ガ心ニ明カナレハ思想ノ余地ナキニ至ルカ故ナリ要スルニ模倣ハ機械的ニ不知不識ナシ得ルモノナリ又蛮人ハ理屈ヲ解セズトイフト雖モ注意スヘキハ些細ナル八一寸シタル事ニハ頗ル怜悧ナルヿ之ナリ唯深邃長大ノ事柄ニ逢テ之ヲ解シ得サルノミ又旅行者カ往々蛮人ノ利巧ナルヲ記スルモ此類ナリ才覚ノ怜悧ナルモノカ却テ専門ノ学術ニ到達スルヿ能ハサルモ此理ニ由ルナリ又蛮人ニハ数ノ観念ナシ数ハ尤モ抽象ノ観念ナレハナリ五乃至十以上ヲ知ル能ハサルハ貿易ナトノ際ヨリ見ル所ナリ五トシ十トイフモ必竟手足ノ指ニ由リ具体的ニ之ヲ知リ得ルマデナリ又言語学上ヨリ蛮人ノ有様ヲ推知スヘキモノアリ例ヘハ何々ノ蝋燭ノ光トカ日ノ光リトカイフ如キ語ハ有スルモ抽象的ニ概般ニ光トイフ語ヲ有セサルカ如キハ甚抽象観念ノナカリシヿヲ証スルニ足ル又原因結果ノ理ニ於テモ何物何事件ノ因果ト一般ノ因果トハ其間

大善アリ而シテ吾人ハ個々ノ因果スラ十分ニ知リ得サルニ況ンヤ一般ノ因果ナドハ勿論知リ得サルナリ従テ吾人ガ因果ノ理法ニ合セサルモノヲ不思議トスルニ反シテ吾人ハ之等ノ自然ト不自然トニ区別ヲ立ツルヿヲ知ラズ出来得ヘキ事ト出来得ヘカラサルコトヲ弁別セズ而シテ何事モ出来得ヘシト思慮スル故ナリ狂覚ノ領是ナキガ如シ又其結果トシテ何事ヲモ軽信シ若シ人如何モ新奇ノ事ニ逢フモ只面白シト見ルマデニテ頓着スルヿナリ之ヲ研究セントノ心ナドハ勿論起サヾルナリ又吾人ニハ想像力乏シク大ナル事物ヲ想出スルナドハ出来ザルナリ又其関係ハアルニセヨ抽象的ナラズシテ具体的ニ個々ノ事物ニ就テ結構スルマデナリ扨テ一層良ヲ得シモ単ニ模造スルヿハ得ルモ之ニ自カラ改良発明ヲ加フルヿ能ハズ吾人ノ智力ノ有様ハ黒氏ノ如シ要スルニ不完全ニシテ且ツ進歩ヲ妨クルノ有様アルナリ

◎第二章　家族論

種族論ヲ分テ第一家族、第二種族即家族ノ集リテ部落ヲ為シタル様ナリノ二節トナス

○第一節家族論、吾人ノ家族ニハ今日ノ如ク父子兄弟ナドノ関係明ナラズ従テ之ヲ分テ説明スルヿ難シ未開時代ニハ婚姻ト他一切ノ人倫トハ相関係スルモノナルガ故ニ先ヅ婚姻ニ就テ説クヘシ左スレバ他ハ自カラ闡明セラルヘシ若シ今日ノ吾人ヨリ考フレバ父子兄弟ナドハ婚姻トハ直接ノ関係ナキガ如シト雖モ上代ニハ親子兄弟ノ別ナク相婚セシナリ今此等ノ事ヲ説クニ先テ一言

断ルヘキ其説中往々今日ノ道徳ノ標準ニ対シテハ没倫ノ甚シキモノアリテ口ニ上スモ快カラヌカ如キ事モアルヘシト雖モ唯是古代ノ有様ト今日ノ有様トガ如何ニ進歩ニヨリテ相異ナルカヲ看察スルノ材料タルヲ以テ暫ク之ヲ忍ブノ外ナキナリ

婚姻ノ起原ニ就テハ諸学者ノ説一ナラズ法律家ノ説ヲ聞ケバ法律ノ規定制度ノ下ニ起リト云フ而シテ之ヲ実際ニ徴スルモ統ニ之ヲ研究ノ事実ナキニアラズ即チ歴史上ニ見ユル如ク古代ノ賢君明主ガ法ヲ建テ男女ノ間際ノ取締ヲ為スガ如キ是レナリ例ヘバ印度ノハンバルト人ノ如キモ男女ノ間淫乱ヲ不法ナリトシテ Swetaketu ナル王ガ婚姻制度ヲ建テシカ如キ又ハ支那ノ伏羲氏ノ嫁娶ノ制希臘ノ Cecrops ノ如キラップランドの Njarrie ノ

合成等ノ婚姻法ニ依ル所ハ皆然ラサルナシ此等ノ傳説ヲ見ル時ハ法律家ノ説モ強チ無理ナラズト雖モ之ヲ大ニ注意スヘキハ本来人間ニハ廣漠ノ事ヨリ特種確定ノ事実ヲ好ムノ性アルガ故ニ漠然ト自然ノ趨向ニヨリテ生シタル事モ上代ノ人ガ特殊ノ賢君明主ナドニ附會スルノ風アリ之ナリ此理アルカ故ニ古人ハ婚姻ノ起原ヲ求ムル處ナキヲ法律ノ制定ニ帰スル能ハズ且ツ其ノ規則ヲ創リテ之ヲ採ラシムルニ人間ノ天性中已ニ婚姻ノ起ルヘキ要素ノアルヲ発見スヘキナリ人間モ實ニ一ノ動物ノ一種ニシテ其最高ノモノタリ而シテ動物ハ其種族繁殖上是非共婚姻ノ必要ナルヲ見ルナリ極メテ下等ナル動物ニアリテハ雑婚ナルカ故ニ両親共ニ育児ニ盡力スルヿナク只タ母ガ卵ヲ生ミ付クルノ場

場所ノ撰択ナキナキ他ノコトナレトモ魚類爬虫類ヲ経テ鳥類ニ至リテハ已ニ略一家族ヲ形成スルノ趣アリテ両親共ニ育児ニ尽力シ父ガ材料ヲ運ヘバ母ハ之ヲ営ミテ巣トナシ母ハ卵ヲ暖ムル間ハ父ハ外敵ヲ防クナド見ルヘシ而シテ育児ノ事済ミテハ共ニ解散スルモノ多シト雖モ中ニハ終生相離レサルモノアリ之等ハ明ニ婚姻ノ迹アルモノニシテ畢竟種族繁殖ノ必要上ヨリ来リシ自然ノ結果ト云フヘシ獣類中ニテモ尤モ人間ニ近キゴリラノ如キ又一夫一婦ノ迹アリテ父母共ニ育児ニ尽力シ中ニハ其児ノ成長後モ一家相離レス孫子数代相伴フテ家族ノ形ヲ完成シ居ルモノスラアリ人類ニ至リテハ母ノ子ヲ養フハ勿論ナレトモ父ニ至リテハ如何是迄ノ説ニ従ヘバ人類原始時代ノ有様ハ雑婚ニシテ従テ何レヲ父トモ定メ難キヨリ自然父ハ育児ニ力ヲ致スコトナシト云フニアレトモ近時ニ至リ之ト反対ノ説ガ勢力ヲ得タリ即右ノ説ノ如キハ人間ヲ余リニ見下シタル説ニシテ他ノ動物ニモ劣リタル様ニ考ヘシモノト云ハサルヘカラズ人類ノ原始時代ニハ已ニ婚姻ノ実行ハレ居リシナリ即チ天性ニヨリテ父母共ニ育児ノ事ニ尽力セシナリ中ニハ多少ノ雑婚ノモノモアリタルヘケレトモ概シテ見ルトキハ否ノハ雑婚ニアラズ只今日ノ如ク完全ニ父ガ妻子眷族ヲ保護スルト云フ程度ニ至ラザリシマデナルカ如シ現ニ二三ノ例ヲ挙ゲンニ未開ノ土人中ニハ一夫数妻ハ許スモ己レノ力ニ保護養育シ能フル程ノ多数ヲ持ツコトハ耻トナシ居タリ又今日世界中ノ最劣等ノ人種ト見做サルヽカリホルニアノ

パトリシ人ノ如キハ寧ロ他人種ヨリモ夫ノ妻子ヲ養育スル風
強キヲ見ル又~~其他~~「[illegible]」ノ土人ノ如キハ夫死スルトキハ妻ハ子ヲ
養育スル能ハズトナシ殺スモ差支ナシトスルノ風アリ其他蛮人
中ニハ夫タルモノガ勇気ヲ示シテ妻子ヲ養フニ足ルヲ表セザ
レバ娶ル能ハザルガ如キ若クハ略[illegible]法ト称シテ寡婦ヲ
保護スル制アルモノアルガ如キ皆之レ妻子ハ夫ノ保護ニ
依頼スルヲ必要トスルノ観念ヨリ来ルモノニシテ夫婦ノ関係
即婚姻ノ元素ハ之レ既ニ天性中ニ含ミ居ルハ疑ナラザレバ
アラズ但シ今日ノ法律上ヨリ道徳上ヨリ婚姻ノ定義ヲ
与フルガ如キ完全ノモノニアラザルハ言フマデモナキコトナレドモ古代ノ事
ヲ溯ルニ当リテ如シテ甫カリ八釜シキコトヲ言フニ及バザルナリ
時ニ於テカ知ル人間ノ婚姻ハ人間ト進化セシ以前ニ已ニ

其萌芽ヲ有シ人間ニ至リテハ天性上ヨリ之ヲ成スコトヲ得
ルモノナルコトヲ、婚姻ノ起原論ハ斯ノ如シト雖モ之未ダ唯
一ノ論ト言フベカラザルガ如シ吾輩ハ更ニ他ノ方面ヨリ考察シテ
自然淘汰生存競争ノ大法則ヨリ自然ニ起ラザルベカラザル
結果ナルコトヲ断言シ得ルナリ、蓋シ色情ノ点ヨリ之ヲ論ゼン
人間ハ他ノ動物ノ色情ノ時発的ナルト異ナリテ常時永
続シテ色情ヲ発スルモノナルガ故ニ婚姻ノ必要起リシナリ
ト云フモノアレドモ之ハ非ナリ蛮人ノ状態ニアリテハ他ノ動物ト
大差ナク色情モ時季ヲ定メテ発セシノ跡アルガ故ニ此永
続的ナラザル色情ニ永続的ノ性質アル婚姻ヲ帰スルハ
規ノ許サザル所トス是夫レ自然淘汰ノ法則ノミハ之ヲ
婚姻ノ由テ起ル所以ノモノトナスニ不可ナキナリ何トナレバ

生存競争ノ世界ニ立テ優者トシテ他ニ勝チ以テ己レヲ保
護セシメ是非共完全ナル養育ノ下ニ筋骨逞ウシモ
躰躯ト生成セザルベカラス之ヲナスニハ父母相寄リテ一定ノ
時期間之ヲ育成スルノ必要アルベク斯ノ如クニシテ
護リ育チタルモノハ生存ニ堪ヘサルモノハ絶滅スルニ至ルナリ
斯ク說ク余ハ此法則ノ何故ニ人間ニノミ行ハレテ下等動
物ニ行ハレサルヤノ問題起ルヘシ之ハ種族保存ノ道ノ
婚姻ノ一ニ限ラサルヲ知ラハ明カニ解シ得ヘキナリ
例ヘハ魚類虫類ノ如キハ多数ノ卵ヲ生ムカ故ニ縦
令一部ト絶滅セントスルノ運ニ際スルモ多クハ卵ガ生存シテ独
力ニテ発達スル様組織セラレ居ルカ故ニ両親ノ保護ヲ
要セサルナリ現ニ生物学者ノ説ニモ若シ此等ノ卵ガ全

リ無難ニ孵化スル時ハ全地球ハ此等ノ種族ニテ覆ハルヘ
程ノモノナリト云ヘリ之ニ反シテ婚姻ノ行ハルル動物鳥
ノ如キニ見ル時ハ是非共婚姻ヨリ引テ両親ノ保護ヲ
得ルニアラサレハ生存発達シ得サル様ニ組織サレ居レリ
巣トシテ孵化トシテ保育トシテ皆此レニ外ナラズ（哺乳
如キハ父カ母ノ保護スルノミナラス母因志相寄リテ保護スル
ヲ見ル）要之動物ノ組織カ特別ノ保護ナケレハ発達
スルコト能ハサル様ナリ居ルモノハ生存競争上自然ノ結果
トシテ是非共母ノ保護ハ勿論父ノ協力ヲ要スルナリ
此ニ婚姻ノ事情ヲ生スル所ニ至リタルナリ　周之観
是婚姻ト家族トノ至密関係アルハ明ニシテ又是
家族（団體）ヲ保護スルノ要アルヨリ婚姻ヲ来タス

ルナレバ婚姻アリテ家族起リタリトハ云フヘカラス之ニテ家族ノ中ニ婚姻ヲ生シタリト云フヘキナリ之ヲ実例ヲ挙レバ東部グリーンランドノ土人ガ小児ノ生レサル前ハ正当ノ結婚トセサルカ如キ若クハ小児ノ生ルヽニテ人妻ヲシテ其実家ニ置キ小児ノ生ルヽヲ待テ始メテ[illegible]娶ルカ如キ（婚姻）ノ古俗モ此類ニアラサリシカ皆家族先ツ成リテ後始メテ婚姻ヲ成新ルニ至ル[illegible]ノ証タルヘシ故ニ日ク婚姻ノ起点ハ保存競争自然淘汰ノ法則ニアリト、前キニモ述ヘシ如ク婚姻ノ起点ヲ色慾異性ノ時期アルモノト然ラサルモノトノ別ヲ立テヽ説キシモノアリ是意ニ謂ク人間ハ他ノ動物ノ如ク色慾ノ勃発スルニ一定ノ時期アルコトナク絶ヘス夫婦間ニ親密ノ関係

ヲ保チ得ルカ故ニ婚姻ノ事生シ得ヘシト雖モ之レハ今日ノ人類ノ有様ヨリ言フコトニテ初代ノ人間ニハ却テ他ノ動物ト同ク交媾ノ時期定マリ居リシ迹アリテリ今先ツ一般動物ニ就テ交媾ニ季節アルニ至リタル原因ヲ説キ次ニ人類ニモ初代ハ此事アリシコトヲ説リヘシ、交媾ニ季節アル理由ヲ説明~~書~~スルニ種々ノ論アリ或曰動物カ営養[illegible]ヲ得テ精鋭ノ勢力カ即交媾季節ナリ春ハ万物発展ノ時ニシテ精気[illegible]ヲ得易キニリ春カ交媾ノ季節トナリ居ルニテ[illegible]足テ此ニ依楽起ルトニフ有様ナリト然モ此説ハ取ルニ足ラス現ニ春ヲ交媾ノ期トセスシテ秋九十月頃ヲ期トスルモノ多クアルナリ故ニ吾輩ハ此交尾ニ一定ノ期節アルニ至

リタル原因ヲモ單ニ身体上ノ関係ヨリニアラズシテ種族
保存ノ自然淘汰ノ大則上ヨリ来リタルモノト云ハントス
ルナリ即チ交媾ノ結果トシテ生ズル小児ノ發育ニ
最モ恰當ナル時季カ自然ト懐胎期即チ交尾期ヲ
定メタルモノト謂フニアルナリ而シテ蛮人中カリホルニア土人
ノ如キハ交媾ノ季春ニアルヿハパワース氏ノ書中ニ記シ
アリ又多クノ蛮族中ニ祭礼ヲ一定ノ季ニ行ヒ此時ヲ
限リテ淫猥ノ事ヲ喜ブモノアリローマノ[illegible]祭ノ
如キモ猶此風アリ若クハ婚姻ノ時期ノ定マリ居ル
蛮人アルカ如キ皆其交媾ノ季節ノ定マリ居リタル
証ニアラザルカ且他小児ノ出産高ヲ統計シテ之レニ
一定ノ期アリテ増減スルヲ発見シタルハ前世紀ノ
ヿニテ Wargentin ナリ後 Wappäus ナル人ハ欧州全
体ニ就テ二三月及九十月ニ出産ノ最モ多キ期トシ北
部ニ於テハ此現象特ニ著ク春秋ノ両期中ニテハ秋
期ノ方ゾ盛ナリトナシ南部ニ於テハ之ニ反シテ春期ヲ
盛ナリトナシ又伊太利ノ国ニ就テ見ル時ハ北部伊太利ハ
二度ナルモ南部ニ至ルニ従ヒ一度春期ノミトナルノ傾
アルナリ即南部ガ早ク北部ニ至ルホド後ルナリ
米洲ニ於テモ同一ノ現象アリ故ニ之ヲ概言スル時ハ春
二三月ガ小児出産期タルニ近ク之ヨリ逆算スレバ五六月
頃ガ人間ノ色慾勃発期ナリシニアラザルカ殊ニ淫慾
之キハ此産出児中ニハ私生ノ児ノ多キ事之ナリ
如意色慾勃発季ノ遺[illegible]リタルモノタルヲ証スルニ足ル

或ハ色慾興発期ノ地気ヲ気候ト食物ノ饒多ナルトニ帰
スルモノアリ気候ガ多少之ヲ助クルノ候アルモ或ハ之アルヘシ
然レ之ヲ唯一ノ原因トハ看做シ難シ食物饒多ノ説ニ至リテ
ハ殊ニ甚シ然ラサルモノアリ北部ノ晩州ナトニ往キテ見ルモ食物ノ
最モ多キハ九十二月ノ頃ナルニ此ノ頃ハ却テ交媾少キナリ此ノ類
ノ事猶多々アリ又或ハ此ノ説ニ反シ交媾ニ食物ノ少ナキ
時却テ色慾ノ盛ナラシムルコトアルハ貧民ノ子多キニテ見
テ知ルヘシト論スルモノサヘアルナリ然レ此ノ説ハ毎ナルモノニア
ラサルヲ明ケシ要スルニ交媾期ヲ肉躰上気候上食
物上ニ起ルノ上ニハ過シルモノニアラスシテ自然淘汰ノ法
則カ作用セシ結果トミツヲ大ヒモ正当ナリトナス大ヒモ
太古天然ノ果物類ノミニテ生活セシ時代ヨリ今日ノ
如ク春ヲ出産ノ期トスルハ甚ダ不都合ニシテ秋ノ方ガ都
合ヨカリシナルヘシ故ニ此時代ニハ人秋ガ主ナリシモ人知進ミ
テ家畜麺ナドヲ畜フ様ニナレバ春ノ方ガ好恰ナレヨリ
之ヲ主トスルニ至リタルモノニテ秋ノ方ハ古風ノ遺リト見
ルヘキナリ 以上述フル所ニヨリテ見ルモ人間古代ニハ色
慾興発ノ時期アリシコトハ其ノ傍ヲ見テ得ヘシ然ルニ此
現象ハ世ノ進ムト共ニ薄ラギ行キテ遂ニ今日ニテハ別
ニ何時ト定マレル時ナクナリタルニテ古代ホド此時期ガ
顕著ナリシト断スルヲ得ルナリ 又之ヲ商業ヲ
主トスル国民ト農業ヲ主トスル国民トニ見ルニ農
業国ハ此ノ点顕著ニシテ商業国ハ然ラズ之レ商業
国民ノ人工的知識的ナルニ比シテ農業国民ハ自

些的太古的ナルヨリ古代ノ遺風モ自カラ多ク残リ居
ルモ由ルナラン之ト同一ノ現象ヲ都会ト田舎トノ間
際ニモ認メ得ルナリ
婚姻ノ起因果名ノ如シ之ヨリ其種類ニ就テ[redacted]
論ニ先ヅ家族ノ起原時代ヲ復言シ置ノヘシ
[redacted]婚姻ノ起原カ明[redacted]上一家族ノ
紀元[redacted]ノ如何ナル理由ニヨリ如何ナル状態ニアリシカ
ハ明カナラサルモ已ニ然ル上ハ其元始時代モ亦蛮人ノ如キ時ニ
アリシ[illegible]ヤ勿論ナリ故ニ上来述ヘシ如ク蛮人時代ニ已ニ子ヲ
生シテ後マテモ男女相離レス家族ノ形ヲ存セシコトハ
他ノ下等動物ノ状体ヨリ推論シテ信スルヲ得ヘシ加
之[redacted]蛮人時代ノ初ハ単ニ天然ノ果物ヲノミ食ト

セシモノガ進化スルニ従テ肉食ヲ為スニ至リショリ
此ニ一層家族ノ結合ヲ必要トナスニ至リタルナリ
何トナレバ始メハ肉食トスルト雖モ単ニ野獣ノ肉
ノミナリシヨリ之ヲ猟取スルニハ是非共強健ナル男
子ノ力ヲ仮ラサルヘカラス此ニ於テカ女子ハ食物ノ是
ニ於テモ亦男ノ保護ノ下ニ立ツノ已ムヲ得サルニ至ル
ベナリ若シ如此男子ノ保護ニヨラサレハ女子ハ
自然絶滅ノ運ニ至ルヘシ或ハ論者ハ此蛮人時代ニ婚
姻ノアリシ説ヲ非難シテ曰ク女子幼児ノ男子ノ保護
ヲ要スルハ勿論ナルモ之レ母氏ノミニテモ夫レモノガ之ヲ為ス
トハ限ラレズ現ニ古来幼児ノ後見スルニ母ノ兄即伯
父ノ[redacted]力ヲ以テスルノ慣ノ行ハルヽヲ見

テモ又如此保護セラレル幼児ガ後ニ其伯父ノ家産ヲ継承スルノ風アルヲ見テモ然ルヲ知ルヘキナリ於他ニ~~於~~母ノ財産ヲ處分スルハ伯父ノ権内ニアルノ風アル~~於~~~~於~~ノ「ボアジール」ニアル事ノ継様ノ如キモノアリ又ハ全ク父ガ権ヲ有セサルニハアラサルモ伯父ノ裁可ヲ得サレハ事断スル能ハサル風ノ行ハル、モノアリ何レモ皆父ヲ唯一ノ保護者トスルニハアラサルノ例ニアラサルヤト然モ上述ノ諸例ノ如キハ決シテ普通ノモノニアラズシテ一部若クハ一郡ノ特例ナルニ過キサルナリ世界中ニハ女ノ血統ヲ正系ト定ムルノ民族ハサカラサルモ此レトテモ多クハ父タルモノガ家政ヲ奉領シテ家族ヲ為シ居ルヲ見ル又上ノ如ク伯父ガ保護者ナリトスルモ之レハ伯父ガ（被保児ヨリ）母ノ兄モ即

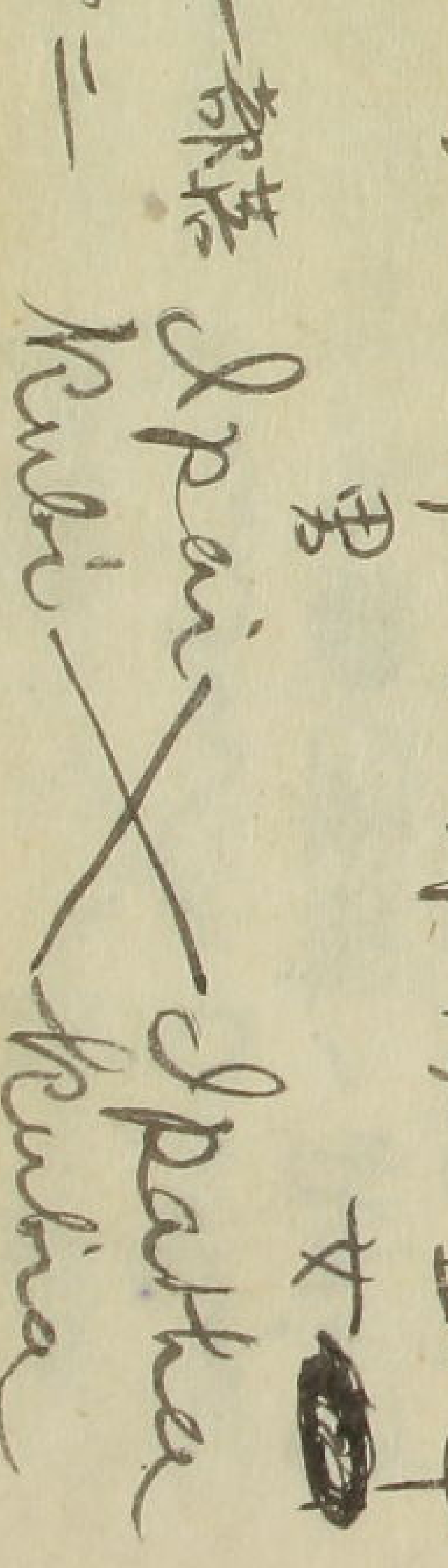
己レノ妹ト同居スル場合ニアラサレハ得ズ而シテ兄妹ナルモ同居ストハ限ラサル此事ノ如何ナル場合ニモ記ルヘシトハ云ハレサルコト明ナリ又他ニ一ノ論者アリ曰ク仮リニ父ヲ主ナル保護者トスルモ之ニ伯父ノ保護ヲ加フルハ如何更ニ善キニアラズヤト是ヲ考フルニ原人時代ハ真正ノ夫婦結合ノ家族ヲ為セシヨリモ寧ロ多数ノ男子ガ子母ト相結合シテ厖然タル団体ヲ為セシモノヲ初トスヘキナリト此説ハ近頃マテノ世ニ勢力アリシモノナルモ最近ノ学者ノ説ニテ破ラレタリ即今日何レノ蛮民ヲ見ルモ此様ニアラサル団体ヲ為スモノハ一モアルコトナキヲ全クノ空想トモセラレタリ於今ノ處初ハ矢張家族トスヘキガ如シダルウヰン

ナドハ前説即社会ノ初メハ必家族ニアラズシテ團体ナリトノ意見ヲ主持シタレドモ彼ガ人間ノ進化先前ノ有様ナリトシテ例証ニ引ケル四足ノ獣ニモ実際已ニ家族ノ有様ヲナシ居ルモノアルナリ ツマリ猿若クハ最モ人間ニ近シト云フチンパンヂー猿ノ如キモ多クハ皆婚姻ノ状態ヲナシ居ルヲ見ル 尤モスペンサーガ動物ノ相居リ群居シテ居ルハ單一ナル事情ニ由ルヲ得ヌ体ヲ防禦、食物ノ所在ナドニヨリテ定ムベキモノナリトノ説ハ真ナルベシ現ニチンパンヂー猿ノ如キハ食物ノ多キ時ニ限リ家族ヲ多クシ群居スルヿアルナリ然レドモ此禽獣類以下ノ動物ニシテ已ニ家族ヲ形成スル以上ハ一段進ミタル吾人ノ先祖タル人ガ獣類ヨリモ劣リタル團体ノ有様ヲナスヿトハ言フベカラザルナリ殊ニ進テ田舎ノ時代トモナレバ野獣ハ少シモ一所ニ集リ居ルト限ラザルガ故ニ之ヲ獲ルニ便ナル地ニ家族々々ト続アリテ散在スルニ至ルヿキヤ勿論ナリ 夫ノベツター氏引デルヒューゴーノ如キ杜野蛮ノ民スラ猶家族ニアラザレ團体ヲバナシ居ラザルナリ 其他又蛮人ニハ我侭ニシテ他人ノ覊束ノ下ニ立ツヲ欲セザルノ性アルガ故ニ永ク他ト親和シ居ルヿ能ハザル者ナリ又已ニ團体ヲナストキハ之ヲ統轄スルノ規制様ノモノナカルベカラズ吾人此等モノヲ作リ統ブベケレヤ又言語ノ異ヨリ見ルモ国体トナル以上ハ之ニ共通スルモノナカルベカラサルモ吾人ニ通用語ノ言語アリトハ言フベカラズ要スルニ

人間ガ團体ヲナスニハ知識若クハ物質的ノ進歩アリタル後ノ事故ニ夫婦ノ結合ハ自由来ヲ人間ト天性ニ有スモノナリ ラボツクナドハ之ト全ク反対ニ人間開化ノ度ノ低キ程大ナル團体ヲ為シ更ニ中ヨリ家族ヲ出スト云フトモ氏之ハ今日ノ人智ノ進ミタル上ヨリノ考ニシテ古人ハ古代ニアルヘカラザルヿ前述ノ如シ人智進ミタル状態トナラバ大部落中ヨリ争論ナトノ結果トシテ家族ヲ分出スルヿアルヘキモ之トテモ家族ガ最後ニシテ家族間ノ連鎖ハ天性ニ出ルカ故ニナシヨリハク砕ルヿハ決シテアルヘカラザルナリ

(1)
婚姻ノ種類、雜婚、新婚ノ何タルハ今復說クヲ須ヒザルヿ之ガ古代ノ原人及今日ノ蛮民中ニ專ハラ行ハレシトノ說ハ有名ナル社会学者 Bachofen; Mc Lennan; Morgan; Lubbock; Bastian; Lippert 等ノ氏迄信シ来リシモノニシテ未開時代ニハ凡テ此制ヲ行ナ[illegible]ルモ世ノ進化スルニ従ヒ定マリタル婚姻ノ有様トナルトノ考ナリ 此說近来ハ一ノ假定說ニ過ギザレドモ追々之ニ應スヘキ証據ナドヲ蒐メ殆ド一ノ真理ト認メラルヽニ至リタリ 若シ此說ニシテ真理動カスヘカラザルモノナラバ吾人ノ先キニ論断シタル社会ノ起原即家族ノ說モ誤リトナラザルヲ得ズ然レ𪜈最近ニ至リ此雜婚說ニ反対スル学者出デ、之ヲ破スルニ及ビタリ之ヨリ進テ雜婚[illegible]說ヲ駁セザルヘカラズ 吾人ガ結婚モト称スル題目ノ下ニハ雜婚ヲ含マザルヿ勿論ナリ

雑婚論者ノ所謂雑婚トハ一部落内ニ行ハルヽ所ノ一夫多妻一妻多夫ヲ混合シタルモノヽ謂ナリ故ニ又タラボックハ之ヲ共同結婚 Communal marriage ト氏称シタリ此等ノ説ニ見ルトキハ蛮人社会ニハ真ノ婚姻ハ絶エテナク又存在スル能ハザリシモノト云ハザルベカラズ然モ其実際上ヨリ道理上ヨリ必シモ然ラザリシハ吾輩ノ前段ニ詳論シタル所ノ如シ雑婚論者ノ根拠トスル所ハ(1)古代蛮人ノ雑婚ノ事ヲ記シタル書ト(2)近代旅行者ガ蛮人中ニ雑婚ノ遺風アルコトヲ記シタルモノニヨリ推論スル事ノ二者ナリ此根拠果シテ雑婚ヲ証スルニ十分ナルベキカ吾輩ハ之ヲ詳析セントスヘロドタスノ書中ニ Massagetae 人ハ一人ノ妻ハ[illegible]他人ガ共ニシテモ頓着[illegible]モセザルノ風アリト云フヿヲ記シ又タリビア人ガ雑婚ノ風ヲ有セシコトヲ記シタリ然モ此マサゲタ人ノ例ノ如キハ決シテ雑婚ノ証ニアラズシテ寧ロ婚姻ノ存在セシコトヲ証スルニ足ルベク唯夫婦間ノ規約ノ厳ナラザルマデナリ又ローマノ史家プリニーノ書中ニハガラマンチン人ガ雑婚セシコトヲ記セルモノアリ近代ノ書ニハブシメン人アンダマン島人トダス人南濠人ノカミラロイ人ナド雑婚ノ風アルコトヲ記セルモノ多シ殊ニカミラロイ人ノ如キハ四部落中部落ト部落ト男女相婚スルノ風[illegible]アリテ図ノ如シオ一部ノ男全体トオ二



部ノ女全体トハ何时ヤし
何處ニ出会モ自由ナリ

Mari ╳ Matha
Kumbu Butha

ニ相交ハリ得其他ニシ四部落皆直図線ノ示スガ如
ク相婚シ其部落中ニテハ別ニ個人各二夫婦ト定
マリタルモノナシ之ヲ部族婚姻 Group marriage
ト称ス此ハ Fison 氏ノ唱出セシ所ニシテ常ニ雜婚
論者ノ例トスル所ナリ其他結婚ナル言法ノナキ種族
アルヨリ結婚ノ事実ナカリシモノナリトスルガ如キハ不条
理ノ論ト云フヲ免カラズ又部族結婚モフヰゾン氏ハ
唯ビ此土民中ニハ父ト伯叔父、母ト伯叔母、兄弟ト従兄
弟、子ト甥姪ヲ同一ノ名稱ニ呼ビ做スノ風アルヨリ
推シテ部族婚姻ノ遺制ナリトセシガ誤リニテ未ダ必

シモ此以外ニ婚姻ノ存セザリシコトハ斷言シ得ヘカラズ現
ニ Curr 氏ノ如キハ濠洲ニ婚姻ノ行ハレザリシ民族
ハモナキコトヲ論証スルヲ見ル、ジオンニマシウモ古代モ雜
婚ナラザリシコトヲ言ヒ又傍ラニ部族結婚存セシトス
ルモ今ノ所謂雜婚トハ大ニ其趣異ナリテ部族ト
部族トニモセヨ定婚ノ分子ヲ含ミ居リテ規律的ナ
ルガ故ニ唯一ノ雜婚ノ例証トスルハ不都合ト云フベシ
カラズトナス人ガ一家ノ男子ト他家ノ女子トヲ限リ
テ雜婚セシムトスルモ之亦未ダ雜婚ノ純粋ナルモノニ
アラザルコト明ナリ 雜婚論者ガ解釋上ノ誤謬ヲ
ナスコト以上ノ如キモノアリ加之彼等ガ事実トシテ引用
スル事柄自身モ亦謬傳虛構ニ出ルモノ勘ナ

カラズ ベルシアー氏ハアルガーリンニー人ニ結婚ノ行ハレ居ルヿヲ云ヘトモ マリ氏ハ全ク之ト反対ニ此土人ニハ定アリテ婚姻ノ行ハルヽノミナラズ夫婦間ノ論ハ少ナキヿハ却テ他人種ヨリモ甚カラザリ 又ブレフレ人ノ如キ ラボック ハ之ヲ結婚ノ例トセルニ係ラズ多クノ書ニハ婚姻ノ状態ナルヲ記セリ 其他此ノ如キヿ多クアリ 以テ引證ノ軽々信ズルニ足ラザルヲ知ルヘキナリ 而ニ古人ガ書キ傳ヘタル書中ノ事実モ亦余ノ信ヲ置キ難キハ 夫ノ プリニー ガ ガラマンチレ人ノ結婚ノ事ヲ記シテ其書中ニ ブレミアン人ハ頭ナクシテ胸ニ鼻目アリト記セルカ如キヲ見テモ知ルヘシ 古人ハ人種学ナドヽ云フモノヲ知リ居リタルニモアラサレバ素案ノ緻密確実ナラサルノミナラズ往々右ノ如キ無稽ノ事ヲモ書キ傳ヘテ控ニセサリ 加之婚姻ナル語ノ範囲モ定カナラサルカ為メニ古人ト今人ト其用ヒ方ヲ異ニスルノ嫌アルナリ 即チ今日學術上ニテ用ユルカ如キ学術的ノ意味[illegible]ニハ実際真ノ結合ト婚姻ノナカリシコトモアラン 蓋シ古代ノ事ハ必ズシモ紀律的ニ行ハレシモノニアラサルヘシ 古人ノ書ニ結婚ト称スルモノモ実ハ廣義ノ婚姻ノ意味ナルヤモ知ルヘカラザルナリ 試ニ今ノ書中ノ事実ノ確カナラサルヿ及之ガ推料断定ノ法ノ正シカラサルヿトヲ挙ケテ結婚淵源ノ根底ノ恃ムニ足ラサルヲ説キタリ 元来一事実ヲ取リテ之ヲ人間進化ノ次第ニ照シ必ス一度ハ経過シタルモノト断定スルハ現在若クハ過去ニ動カスヘカラサル明ノ例ヲ求メ其上ノ事トセサルヘカラズ 又今ノ場合ニ於テ仮リニ一歩

ヲ擬リテ今日ノ蛮人中ニハ実際ノ雑婚ノモノ多シトスルモ之ノミニテ直チニ古代ノ原人モ雑婚ナラサルヘカラス今日ノ雑婚ハ原人一般ノ風俗ノ遺リシモノナリ雑婚ハ一層未開ノ人民ニ就ルヘカラサルノ状態ナリトノ結論ハ為シ得サルナリ現ニ印度ノヴッデァス人ノ如キハ大ニ開ケタル種族ナルモ猶ホ雑婚ノ風アリテ却テ世界中最蛮野人ト目セラルヽベンガリー人ニ婚姻ノ風行ハルヽカ如キ其他始ニハ婚姻ノ習俗ナリシモカ開化之民即白人種ノ下等賤民カ入込ミシト共ニ却テ雑婚ノ風トナリシモ南濠及ハワイ諸島ノ如キアルナリ原人豈必シモ雑婚ナランヤ雑婚論者ハ又今日ニ遺レル諸種ノ習慣ヲ見テ雑婚ノ俤ナリトスルモノアリ習慣ニ就テノ研究ハ當ニ今ノ場合ニ於ケル駁論ノ為メニ必要ナルノミナラス社会学ニハ最モ関係厚キモノナルヲ以テ之ヲ一々雑婚論者ノ所謂習慣ニ就テ其由来スル所ヲ研究セン之ニ雑婚論者ハ婚姻前ニテハ男女雑居シテ憚カラサルノ習慣ノ蛮人中ニ行ハルヽハ雑婚ノ遺風ナリトセリ矣民之状ナリ蛮人ノ道徳ノ標準ハ開明人ニ比シテ下卑ナルヘキニハ相違ナキモセハトテ蛮人必シモ開明人ヨリ淫猥ナリトハ云フヘカラズ現ニ亜米利加印度人ノ如キハ男女ノ際ノ厳ナルハ支那ニ似タルモノアリト云フカフィル人其他此例ハ多クアルナリ本来或ル程マデハ開化ハ却テ淫猥ノ風ヲ媒成スルノ看アリテ也技上開化ノ度高キ都会ノ却テ田舎ヨリモ淫褻ノ甚シ

キヲ見ルニ欧州ニテモ都会ノ地ノ私生児ノ数ハ田舎ノ倍数ニ上リ其中ニテモ開化ノ度高キ国ニ至ルニ従ヒ其此現著ルシク行キ仏国ナドハ都会ノ私生児ト田舎ノトハ十五ト四ノ比例ヲ示シ更ニ甚シキニ至リテハ嫡出ノ児ヨリ私生児ノ多キモノスラアリト云フ所謂開化セルモノガ雑婚結婚ノ区界線ヲ[illegible]シテ却ッテ益々進ムニ従テ風儀ヲ乱スノ実アルヲ知ルベキナリ又他面ヨリ云ヘバ風俗ノ壊乱ト雑婚ト離ルベカラザルノ関係アルモノニハアラズトモ云フヲ得ベシ風俗ハ壊乱ノ極ニアルモ雑婚ハ之ト共ニ起ルト限ラズサレバ支那内地ノ有様ヲ見テ知ルヲ得ベシ加之雑婚諸族ハリビア人ノ[illegible]ジルル人ナドノ間ニハ結婚ノ前夜ニ花嫁ヲ来賓ノ客人ニ振舞ヒテ之ガ弄玩ニ供スルノ習慣ビヱス、プリメー、ノアリチス（結婚前夜ノ規則）ノ行ハルヽガ如シ、バビロニア人サイプロス人ナドハ神意ヲ喜バシムル為メニ結婚ノ前花嫁ヲ宮殿ニ出シ当道キ参詣ノ公衆ニ玩バシムルノ習慣アルアリテ直ニ雑婚ノ遺制トモ見ルベキ佐証之モ亦此ナリ神意ヲ慰ムル為メニスルノ例ハ大ニ進ミタル宦族中ニ見ル事実ニシテ印度人ハ阿利耶経文中ニハ僅カニ此習慣ノ兆候ノ見エ居ルアリシニ後ニ至リテハ甚ダ盛ニ行ハルヽニ至リタリ以テ如シモ蛮人ノ特相ヲアラサイテ知ルベシ又来賓ニ振舞フベキノ例ハ之ヲ行フ蛮人ノ心事ニ立チ入リ考フレバ単ニ其夜ノ饗応ノ為メナル意ニシテ決シテ古代ノ雑婚[illegible]ニ系統ヲ引クノモノニアラザルカ

如シ夫ノ客ヲ歓待スル為メニ己レノ妻ヲ寝ニ侍セシムルカ如キハ未開人中ニハ行ハルヽ事ニシテ我国ノ古代ニモ或ハ此例アリシニアラザルカ而カモ甚シカラストスルモ婦人ヲ以テ他人ヲ饗スルハ今日ニテモ往々行ハルヽ事実ナリ何ソ独リ蕃人ヲ俟マデ或ハ此妻ヲ客人ノ饗膳ニ供スルモ共雑婚ノ遺風ナリトユフモノアレトモ決シテ然ラズ其間柄ノ親密ナル及尊敬ノ意ヲ表スル為メナルノ実例ハ世界人中ニハ朋友間ニ此式ニヨリテ信用ヲ表セラルヽ程ノモノニアラザレバ世間ノ交際モ出来兼ヌルノ風アリ其他チボットグリーンランドナドニモ同様ノ風行ハルヽトユフ数見ヘキナリ然ニ他ノ一面ヨリ見ル時ハ此シュニプリーダキスハ雑婚ノ遺制[illegible]トミルヨリモ寧ロ古代他部落ヨリ妻ヲ奪ヒ来リテ之ト結婚セシノ遺風ナリト謂フベキカ現ニ或地方ニハ他部落ヨリ妻ヲ奪ヒ来リタル時其事ニ与リタル人々ニ結婚ノ祝振舞フノ風アリシト云ヒ又ワタイ州人中ニハ今日ハ実際ニ奪妻ノコトナキモ儀式トシテ婚姻スベキ婦人ガ其席ヨリ態々逃去ルノ様子ヲナシ之ヲ追ヒ掛ケテ連レ帰リタル人々ガ此振舞ヲ受クルノ風遺リ居ルヲ見テモ知ルベシ又所ニヨリテハ多数ノ人ニ振舞フニ及ブサヘモ酋長ハ僧侶或ハ医者ナドニ翫弄セシムルモノアリ蓋シ此花嫁ヲ酋長ト振舞フハ腕力的優勝劣敗ノ法ノ行ハレタル遺制トシテ強者ノ権利ヲ認メ若クハ之ヲ敬フノ表章ニ外ナラザルベク或史家ハ此例ハ欧州ニ見ルベカラストモイヒ或史家ハ中世紀仏国

ノ一部ニ行ハレタリト云フ又或ハ此俗ガ更ニ轉ジテ單ニ
酋長ヨリ婚姻ノ許可ヲ得ルノ風ト變ゼリト云フ亞比西亞
ニハ今猶此習慣ニ似タルモノ行ハル 即地主ガ其地内ヲ巡
視スル時ハ常ニ其ノ從人中ヨリ見目ヨキ婦人ヲ撰[illegible]
之ガ寢室ニ侍セシムトカヤ 次ニ僧侶ニ振舞フハ全ク
之ヲシテ神聖ニシ幸福ニセントノ意ナルヘク却テ夫タルヘキ
男子ヨリ金銭ヲ出シテモ猶此事ヲ為サシムルコアリ 次
ニ医者ニ振舞フハ夫ノ一般[illegible]佛或者ナドガ云フト同ク
婦人ハ不浄ノモノトノ考ヨリ医者ニ接セシメテ之ガ
不浄ヲ拂ハシトノ曖昧ナル意ヨリ來リタルモノナルヿ明カナリ
以上何レノ点ヨリ見ルモジュスプリマノクテスガ雑婚ノ遺制
ニアラサルコトヲ知ルニ難カラサルヘシ」第二ニ雑婚論者

ハ蕃人中情婦トモイフヘキ定夫ナキ婦人ガ正妻トナリタルモ
ノヨリモ貴ハルノ習慣アルヲ見テ雑婚ノ遺風ナリト云ヘリ
其要ニ曰ク古代ハ一部落中ノ婦人ハ共同雑婚ノ妻ニ
シテ特ニ他部落ヨリ奪ヒ来リタル婦人ノミガ其男子ノ定
マリタル妻トナリシヨリ自然定夫ナキ方ノ婦人ハ貴マレ妻ト
ナリ居ル婦人ハ囚人モ同様ノ身トテ他ヨリ賤視サレタル
ナリト 然ドモ此推論ハ牽強ニ過キタリ 此ノ如キ習慣ハ
古ヘ印度雅典ナドニモ行ハレタルモノニシテ畢竟定夫ナキ婦
轉婆娘ハ却テ大藝ノ点ニ於テ利巧ナルモノ多キヨリ
自カラ他人ニ貴マレタルモノト謂フ 希臘ノ昔ガ雑婚ニ
アラザリシハホーマーノ詩句ニ生スルモ明カナリ 加之今日佛
國ナドニテモ彼ノ定夫ナキ娼婦人ガ却テ交際社会ニ貴ハ

沉ハノ傾キアルヲ見ル論者ハ之ヲ以テモ亦雜婚ノ遺風ナリト云フカ其論ノ浅弱ナルヲ知ルヘキナリ 茲ニ雜婚論者ハ血族ノモノヽ呼稱方ノ一樣ナルモノアルヨリ之ヲ雜婚ノ遺物トセントナリ モルガン氏ガ百三十有餘ノ民族ニ就キテ調ベタル所ニヨレバ呼稱方ニ二アリ [illegible]記載的呼稱方ト分類的呼稱方ト之ナリ 甲ハアリアン人其他開明人中ニ多ク行ハレ乙ハアメリカ土人マレイ人ナドノ未開人中ニ主トシテ行ハル 甲ハ正系即チ夫婦親子兄弟姉妹ナドニ個々ノ別名ヲ附シ傍系血統ノモノヲバ其數ニ從テ此正系親族ノ名稱ニ他ノ字ヲ附加シテ呼稱スルノ法ナリ 乙ハ之ニ反シテ一方ノ血族ヲ幾種カニ分類シテ之ニ大名ヲ附シ其各部類中ニハ別ニ個々ノ呼稱ナク皆同樣ニ呼ブノ法ニシテ尤モ發達セザル呼稱法ナリ マレイ人ノ如キハ血族ヲ五別シテ兄弟姉妹從兄弟從姉妹ヲ同一ノ名ニテ呼ビ父母伯叔父母甥姪ヲ同一ノ名ニ呼ブノ類トナリト云フ 之ヨリ漸次進ミテエスキモー カルデア人ノ如キハ僅カニ二三ノ差異ヲ除クノ外殆ド記載的呼稱法ニ異ナラザルナリ モルガンハ之ヲ以テ古代ノ[illegible]人ハ未ダ同種中雜婚セシ證トセリ 然モ熟ラク之カ相違ヲ研究スルニ是等ノ呼稱ハ必ズシモ血族上ノ関係ノミヨリ來レリトハ言フベカラザルカ如シ 加之言語ノ由來ハ正ニ其事物ノ性質上ヨリ出ヅルモノトハ信ズベカラズ 呼稱ノ便ナルコト種々ノ名ヲ用ユルノ例ハ夫ノ父母ノ呼稱方ガ東西畧相似テ或ハパパト云ヒマヽト云ヒチヽト云ヒハヽト

イツカ如ク小児ノ呼ヒ做シ来タマヽヲ称トスルノ要ヲ見ルヘキナリ故ニ己カ父ト同年輩ノ人ヲ見ル時ハ無心ノ小児カ之ヲモ父ト同様ニ叫ヒトカ呼ヒトカ云ヒシモノハ直ニ残リシモノ国アリトモハ論者ハ之ヲ見テ直チニ雑婚ナリシ証ナリト云ヒシトスルカ直論ハ取ルニ足ラサルヘシ若シ仮リニ（雑婚ノ為メ）父ノ定マラサルカ故ニ何レヲモ父ト呼フニ至リシトスルモ小児ノ認ルヘカラサル母ノ名カ同様ニ多クノ婦人ニ應用セラルヽ訳ハ如何ニ解スヘカラサルニ至ルヘシ殊ニ親族ヲ見ハ其ノ法ハ呼ヒ掛ケノ言葉ナルコ疑ナシアリカ土人ノ中ニハ他人ト交際スル時ニモ親戚間ノ呼称方ヲ以テスルコアリ又開明国ニテモ他人ノ名ヲ呼フコハ稀ニシテ多クハ別ニ呼称方ヲ設ケテ尊敬親愛ノ意ヲ見ハス故ニ往々親族間ノ呼称方ト混シモセシナラン如上ノ如ク異ヲ見ルモ親族呼称方ノ異ナルニヨリテ雑婚ノアリシコトヲ証スルハ誰モ未開人未開ノ時代ニハ計算ノ術ヲ知ラス思フ様ニ出来サリシトスルコトアランヤ何ヲ以テカ幾年代ノ血族ヲ分別統計シテ数ヘヨリテ之ニ呼称方ヲ与フルノ余地アランヤ如意雖自然ノ成行モ上両カナリシノミ今試ニ之ヲ呼称方混合ノ原因ヲ挙クレハ左ノ如ク別ツテ得ヘシ(1)男女両性ノ別ニヨリテ区別ノ名称アルノミナルコ(2)年令ノ長幼ニヨリテ区別ノ名称アルノミナルコ(3)社会的ノ地位ノ関係ニヨリテ区別ノ名称アルノミナルコ之ナリ又絶テ呼称方ノ混同ヨリ推シテ雑婚ノ在リシ

ツヨ断言セヌト云ルモ其ハ現ニ今日ノ開明國ニモ往々
呼称方ノ混乱セルモノアルヲ直チニ雑婚ノ証トナサヾル
カラズ系統ノ論ト云フヘキナリ 第五ニ雑婚隠若
ハ蛮人中ニ女系ヲ重ンズルノ風アルヲ見テ雑婚ノ遺
物ナリトセリ マクレナン 其人ハ蛮人中ニ女系ヲ正系トナス
ノ事実アルニヨリ以テ上ニ之ガ起点ヲ雑婚ノ時夫ナル
モノガ定マラザルヨリ自然ニ帰リ系ヲ以テ相続スルニ至リタル
モノトノ事由ニ帰セリ 然モ女系相続ノ事ハ必シモ
古代一般ニ行ハレシモノニアラズ 唯其一部ニ行ハレシモノナリ
故ニ直ニ之ヲ以テ蛮人中ニ一般ニ雑婚ノ行ハレシ証
拠トハナシ難シ バレオフェンノ如キハ之ヲ女子ノ勢力
隆カリシニ由ルトセリ 又女系ノ事ハ[illegible]欧州開明国

ニモ行ハレタルモノアリ 我国ニモ古代ハ女系相続ノ法
行ハレシ跡アリ 又現ニ婿入リト称スルハ女系相続ノ遺風
古嫁入リ即男系相続ノ法ト并行ハレタリ 然モ多
クハ男系相続ニシテ間々下等賤民中ニ女系相続ノ
法行ハレシコト見ユ 日本紀ニ良男良女共所生子配其父
若良男娶婢所生子配其母 若良女嫁奴所生子
配其父 若奴婢所生子配其母トアリ 其是
所謂配之トハ族ヲ識カシムルナリ 鮮ナル者ハ獣類ガ
事ニ其子ヲ母ニ属セシムルヲ見テ賤民モ之ニ比ヘテ
母ニ子ヲ属セシメタルナトモ云フヘシ 又貴賤ニ古代女系ノ
統法ノ行ハレシニ係ルニアラザルナルカ 借又バレオフェンガ如テ
女系ノ事ヲ発見セシハ古代ニ明カニ此事ノ行ハレシナリトノ

説ヲ根トシテノ事ナレバ實際ハ古代ニ此事行ハレシヤ
否ヤ頗ル不明ナリ古代傳ノ大家タリシモ古代サリトモ
説例ニハ母系相続ノ事行ハレシコトナシト云ヒ博言学者
マクスミュラー氏ハ古代ニ此事アリシヤ否ヤ、今日断言スルニ由ナシ
トシ、リ又或程論者ノ言ノ如ク父ヲ認定スルハ母ノ
直接ナルニ比シテ多少カ困難ナルヨリ其違ナカルベキモ尤
シバシバヨリテ蛮人ハ如ニ皆母ノ方ヲ重シタリト言ヒ難シ
種族ニヨリ或ハ子供ハ則ハモ母ニ直接ノ関係アルガ故ニ
母ノ恩重シトスルヤ或ハ父ヨリ気性ヲ享ケ母ヨリ胎
ヲ享クルカ故ニ父母同一ノ恩アリトスルモアリ或ハ
父ハ不慥ナルガ故ニ直接ニ身体ヲ与ヘタル母ノ恩重
シトスルモアリ或ハ父カ胎ヲ与フル耳ニテ母ハ單ニ之ヲ取
[illegible]スル迄ナリセバ父ノ恩重シトスルモアリ希臘ノ悲劇
人ノ如キモ時景後ノ考ヲ抱キタリ其他子ノ生レ
ケル父スルベキモノハ断食スル風アリシナドニテ之レモ
父ノ恩ヲ認メシサルト限リアラザルヲ知ルベシ従テ母系
相続ハ父ノ定マラザルガ為ニシテ父ノ定マラザルハ雑婚ナリシ
ガ為ナリトノ推論ハナシ得ザルナリ然ラバ母系相続ハ何
ニヨリテ起リシカ案スルニマクレナン等ノ母系相続ナル語ノ
内ニハ母方ノ家名ヲ冒スコト、母方ノ財産ヲ継グコトノ
二件ヲ含ムモ時ニ於テハ之ヲ別々ニ説明セシニ(一)母方ノ家名
ヲ冒スハ必シモ母ノ系統ヲ重シテトイフ譯ニアラスシテ
凡テ子供幼年ハ父ヨリモ母ニ関係密ナレバ、離縁
ナドノ時モ常ニ子ハ母ニ属スルナリ一夫多妻ノ場合ニハ母ノ異

ナルニ従テ各處ニ於ル所ノ母ヲ区別スルノ要アルハ

ノ一夫カ婦ノ家ニ同居スルノ風アルニ由ル

ヲ有ス 母方ノ姓ヲ冒スニ至ルモノト謂フヘキナリ

稀ニナレトモ一夫多妻主義ノ行ハル、亜非利加黒奴中ニ

モ多クノ母系ノ家族形成シ法行ハレ一夫一妻ナル即

濠洲土人ニハ此風行ハレサルヲ見ル (二)母方ノ財産ヲ

譲受ノ風ハ場所ノ関係上ヨリ或ハ意アリ居ルトカ什

ヨリ居ルトカノ為メ有産者ノ深キ方ヨリ之ヲ譲

リ来タルニ至ルモノト云フヲ得ヘシ

上来述ヘ来タル所ニテ雑婚カ古代一般ノ風俗ニアラサ

リシヲ明ニシ了ル又 人間繁殖ノ大本ヨリ考フルモ正

婚ナラサレハ人口ノ繁殖スル事ヲ得テ望ムヘカラス危シヘシ嚴

流リ来キ結婚ヲ奨励シタルニテ人口ノ増加ヲ計リシ国

モ少ナカラサルナリ 又係リニ雑婚ナリシトスルモ嫉妬危キニ重

人ノ常ナルカ故ニ夫レニテ之ヲ平常不断ノ風トシテ持続

シ得ヘキモノニ非ス 強者カ已レノ好ム婦人ヲ已レノモノト定

メハ遂ニ有妻ニ一定婚ノ様トナルヘキナリ

他ノ動物ニアリテハ婚姻ハ一男一女カ一男多女ナルモ人

間ハ一夫一婦、一夫多妻、一妻多夫、及ヒ節ナシニ雑婚ア

リ 此点ノ学者ノ考ハ先ツ雑婚行ハレ次テ一夫多妻ア

リ次テ一妻多夫 最後ニ一夫一婦ノ婚姻行ハルトセリ 然

レトモ雑婚ヲ最初ト又至ノ婚姻トスルノ非ナルハ巳ニ

論シタリ、一妻多夫婚ノ一夫多妻婚ニ比シテ幼

稀ニシテ欠点多キハ夫一子孫繁殖上ニ不都合

アルヿ知ニ、然丹ノ風俗モ多夫尤丈ケレ多スキヿ淫ノ
呈ヲ見テ明カナリ 竜氏サヘケ之レノレニテ輕々前
後ヲ斷スルハ早計ナリ 現ニ一夫一妻一夫多妻ニ一妻
多夫ノ三婚並ト行ハル國俗モアリケレ者ハ
互ニ相關係シ管見ニ互先後ノ次第ヲ定メ難
キ 某氏概見スル所ニテハ一夫一婦先ヅ起リ民度
ノ進ムト共ニ一夫多妻一妻多夫ナドノ制起リ更ニ
進ムニ從テ再ビ旧ノ一夫一婦ニ復シ一ルノ趣アリト
謂フヲ得ベシ

(2)
一夫多妻婚ハ古モ弘ク行ハレシモノニシテ同化人中ニモ
行ツルハ、カ メキシコ 支那、朝鮮人 猶太人 思々ま
徵古代ノアツリア人 希臘人ナド其例ニシテ思々教

ノコーラン經文中ニハ明カニ四人ノ正妻アト隨意ノ妾
トヲ許セリ 其他耶蘇教以來ノ歐州人中ニモ公許
セザルコテモ此風一般ニ行ハレシ三十年戰爭後ノ狀況
ニテハ人口繁殖ノ目的ヲ以テ一夫二妻ヲ公許セルヲ
見ル 未開人ノ例ハ枚擧ニ遑アラズ 尤モ此ニ注意
スベキハ蠻人中ニハ全ク一夫多妻ノ事ヲ知ラザルモ
ノ又ハ之ヲ且嚴禁シタルモノアルコニテ カリフオルニア土人
濠太利土人アイヌ人ノ如キ之ナリ 此等ノ土人ハ最
未開ノ狀態ニアル中ニ一夫多妻ハ未ダ起ラザリシ
ヲ窺觀モ得ヘキナリ 又蠻人中ニ此制行ハルヽモ全
般ニ行ハルヽニアラズシテ且ツ部分カ此風アルコテナ
リ 一夫多妻ヲ以テ有名ナル アフリカ土人中ニテモ又ヽ

(3)

全体ガ禁ルニアラザルナリ古代ノマホメツト人印度人ナドニモ然アリシト云フ其如此ナルハ畢竟男女ノ数ノ比例トモ思ハレシカラザル‖ニ由ルヘク又ナルモ一夫一妻ノ自然ニ近キニ如カザルナリ蓋ニモ由ルヘシ斯リニテ一夫多妻制ノ行ハルヽモ遂ニハ又一夫一妻ニ趣リノ迹アリ即チ多妻ト云フトモ此其中ノ最初ニ娶リシ又若クハ法規上ノ一人若クハ夫ルモノニ恋モ寵愛セラルヽ一人ガ最高ノ権力ヲ有シテ他ヲ壓シ支配スルニ至リ真実一夫一妻ト異ナルコトニ及スベカラ又多妻ト云フモ通常ハ二妻ニ超エルコトナシ其以上ヲ有スルハ余程贅澤ナル身分ニ限ルコトナリ

一妻多夫婚ハ前者ニ比シテ希有ノモノタリ併シ

古今此風ノ行ハレ、民族少ナカラズ印度ノ古典（ヴエダ）マハバラタナドニ其実例ヲ記スルニ足ルハノ文句アリ其他メシア人ブリトン人スカンヂナビア人ナドノ古代ニモアリキト傳フ現代ニテハエスキモー タスマニア ホツテントツト、中央亜細亜地方特ニ西蔵ニ盛ニ行ハレ、一妻多夫ニ二様アリテ一ハ各夫間ニ何ノ関係モナク全タノ他人同志ガ一妻ヲ共ニスルモノ他ハ各夫間ニ親戚兄弟ノ縁故アルモノガ一妻ヲ共ニスルモノナリ今日ニ博ク行ハルヽハ後者ナリ又一妻多夫婚ノ別種トモ見ルベキハ婚姻期ニ達シタル婦人ガ五六才ノ幼児ト結婚シ其幼夫ノ成長スルマデハ自在ニ幼夫ノ親戚ノ男ト通ジ之ト同住スルヲ得ルノ制ニテカク

ニテ幼夫ノ成長セシ暁ニ婦ガ老去シタル[illegible]中ハ夫タルモノハ他ノ幼児ノ婦トナリ又ハ女子ト同住スルナリ要スルニ一妻多夫婚ハ極メテ少数ノ人民中ニ行ハルヽモノニシテ富ノ程度ノ高キ地方ニ行ハルヽハ[illegible]財ヲ若男子ニ分散スルヲ厭フノ念ヨリ来リタルモノトモ見ルヲ得ベク富ノ程度ノ低キ地方ニ行ハルヽハ[illegible]各男子別々ニ妻ヲ迎フルノ余力ナキヨリ共有妻ヲ以テ事足レリトナシ来リタルモノトモ謂フベシ其他長男ガ家系ヲ継ギ他ノ兄弟等ハ之ニ従属スルヨリ妻ヲモ長男ノ分前ニシテ満足スル等ノ事情ヨリ起リタルモノモアルベシ一妻多夫婚モ一夫多妻ト同様母ノ権力ニシテ多夫中ノ一夫ガ最高ノ地ヲ占ムルニ至リ一夫一妻ノ実ト大ノ[illegible]

（七）一夫一妻婚ニ就テハ今後多ク説クヲ須ヰズ前段ノ条下ニテ蛮人中ニハ如何ナル程度マデ此制ノ行ハルヽヤヲ知ルベシ要之人類ノ婚姻中ニテハ表面上一夫多妻ガ尤モ多キ様見ユレドモ実際ハ一夫一妻ガ最モ普通ノモノトシテ広ク古今ニ行ハルヽナリ

以上ニテ婚姻ノ種類ヲ説キ了レリ之ヨリ婚姻ノ此ノ如ク多趣ナルヲ得タル理由ヲ説明スベシ固ヨリ徹底的ノ理由トシテハ見出シ難キモ之ヲ[illegible]センニ足レリ

或ハ男女両性ノ数ガ相如キモノナルガ故ニ人類ハ是非共一夫一妻婚ナラザルベカラズト云フモノアリ

然氏之非ナリ男女ノ数ノ如キニシテモ相違ニ甚シキ事ハ明カナル事実ニシテエスキモーカリフォルニア等ニハ女ノ数多ク濠太利ノ如キハ之ニ反シテ男ノ数多シ欧州ニテハ十五才以下ハ男子多ク二十才以下ハ男女相当シ其以上ハ女子多シ日本ノ如キハ男子ノ多キ国ナリ以上ノ如ク男女間ノ数ニ差アル原因ハ諸多アルベケレド（1）男子ガ生存上危険苦労ノ地ニ立ツモノ故自然早ク死スルヨリ女子ノ多キニ至ルモアルアリ（2）女児ヲ殺スノ風ト女子ガ男子ヨリモ家内生活ノ為メニ苦心スルコト多キヨリ男子ノ多キニ至ルモアルアリ右ハ生産後ノ事由ナルモ更ニ溯リテ出生児ノ数ニ見ルモ男女ノ数ニ差異ナリ欧州全体ニ

△今ヤ亜洲中ノ二三ヲ除ケバ第一〇

統キテ言フ時ハ男児ハ女児ヨリモ生ルヽコト百分ノ五ダケ多シ然レモ国別スル時ハ又多少ノ差違アリ又之ヲ私生児ト正生児トニ分チ見ル時ハ私生児ノ内ニハ男児多キ比例ガ下ルナリ此ノ如ク生出児ニ男女多少ノ差アル原因ヲ論シタルモノ多シト雖モ孰レモ牽強附会ニシテ取ラズ又実際ノ統計ニ照シテ反対ノ成績アルモノ多シ論者ハ多クハカトレルナドハ夫ノ年令多ケレバ女児生ルヽトシ其他或ハ夫婦間ノ年令ノ差ノ関係ニヨリテ一定セズトナシ或ハ夫婦間ノ年令ノ差ニ少ケレバ女児多シトシ云フモ何レモ当ラズ第二ニ曰ク一夫多妻婚ナレバ女児ノ生ルヽコト多シト某氏之ヲ実際ニ照シテ反対ノ現象多シ（モルモン宗徒ノ如キ其例ナリ）

カムベルノ調査ニ由レバ一夫多妻ナルシヤム人カラ州ル人ナド家ニモ女兒多シト限ラレザルナリ且他英國ノ競馬用産馬ノ成績ニ見ルモ亦然リ某氏ノ説ニ[illegible]ヂュシン氏ハ云ク動植一切ノ物ノ男女性ハ自然淘汰ノ法ニヨリテ其數ノ比例ヲ定ムルモノナルガ故ニ尋常ノ場合ニ於テハ自然ニ男女ノ數ハ權衡ヲ得ルモ一旦非常ノ事アリテ何レカノ其數ヲ減ズル時ハ自カラ其少キ方ヲ補フ様ニ生ルヽナリ又同様ニ自然淘汰ノ理ニヨリテ食物饒多ニシテ生存ニ容易ナル時ハ種族ノ繁殖ニ都合好キ様女性ノ多ク生ルヽヲ見ル之ニ反シテ生活困難ノ場合ハ繁殖ニ不適當ナル様男兒ノ生ルヽコト多シト此説ハ獨乙

ヂュシングニ始マリシ（尤モ信ズベキニ近キ説ナリ論者ハ）又[illegible]許多ノ著書事實ヲ引証セリ其一二ヲ舉ゲンニ食物ノ多少ト女兒男兒ノ多少比例ト並行スル事實ハ獸皮産出ノ上ニ見ルヲ得ベシ即チ食物多キ地方ヨリ出ス皮ハ女獸ノモノ多ク食物ニ乏シキ地方ノハ男獸ノ皮多シ又人間ノ上ニ見ルモ都鄙ノ比較ニ其事實ヲ示スナリ食物ノ豐富ナル都會ハナベテ女兒ノ生ルヽ方多ク粗食ナル田舎ハ男兒ノ出産多シ又一國ノ上ニ見ルモ食物ノ好キ國ニハ女兒ノ生ルヽコト多ク食物ノ悪キ國ニハ男兒ノ生ルヽコト多シ又貴賤ノ分際ニ見ルモ貴人ニ女兒ノ生ルヽコト多ク賤者ニ男兒多シト此等ノ例ノミニテ直ニ斷案ヲ下スニハ非ザ

ト為氏之ヲ人種学上ノ事実ト迄ニテ能ク符合セルヲ見ルナリ已ニ食弱ト女児出生ノ少キト并行スル中ハ

又食弱ト一妻多夫婚トノ并行モ自然ノ順序ハ一ノ実際ニ此例行スルハナリ但シ直ニ食弱ナル故ニ女児少クナルカ女児少キ故ニ食弱ニナルカ何レカ原因ナルカハ知リ難キモ此事実ハ動カスヘカラス此近ノ学者ハ女児ノ少キ事実ノ原因ヲ解シテ女児ヲ殺スノ風アルカ故ナリトセシモ然レモ之ノミニ限ラサルナリ現ニ近頃ト判人ニ就テ実験セシ所ニ由ルモ女児ヲ殺スト認メラレ居リシトモ又其ノ結果出来セシナリ 又一妻多夫ニ有名ナル西藏ニハ女ノ尼トナルモノ多キヲ以テ女ノ数ヲ少クシ従テ一妻多夫トナレリト謂フモノアルモ之モ非ナリ西藏ノ一妻多夫ハ佛教ノ入ラサル前ヨリアリシト云フ特ニ其首府ニテノ統計ニモ明カニ女児生出ノ數少キヲ示セリ其他土地ノ高キ程男児ノ出生多シトノ説アリ之モ事実ニ合スルガ如シ又上ノ自然淘汰ノ説ハ同族結婚ノ場合ニモ適用シ得ヘシ親族結婚ハ生存上ニ不適当ノモノナルカ故ニ常ニ男児ノ出生多キヲ見ルナリ又植物ノ上ニ見ルモ同株ノ雌雄蕊ノ交ハル時ハ結実十分ナラサルナリ又馬ノ場合ニ於テモ同シ毛色ノモノ即同種ノモノ相交ハル時ハ雄生シ異種交ハル時ハ雌馬生ルト謂フ同様ノ結婚ヲ以テ有名ナル猶太人ニ於テモ男児ノ出生多キヲ見ル其他男女ノ割合ニ同族結婚多キカ故ニ自然男児ノ生ルヽコト多シ之ト反対

對ノ事実ハ異邦人ノ夫婦間ニ生レシ合ヒノ児カ女児多キコト之カ一トダルベダスナドノ人民ハ結婚部落ナドニ限リ其範囲極メテ狭隘ナルヨリ男児ノ生ルヽコト多シ此等ノ事実ヨリ帰納スル時ハ同系婚姻ニ男子多ク異系婚姻ニ女子多キハ争フヘカラサルノ事実ナリ又デウシングハ私生児カ正児ニ比シテ女児ノ数多キヲモ攷覈シ私通ハ衣食アリ余ル贅沢ノ輩ノ事ナルカ為ナリトセリ然吾男女生出数ノ比例ハ自然淘汰ニ由ルヿ疑ヒナシ雌雄ノ比例ハ成長ノ後ニテモ持続スルヿ當然ナリ國ニ諸多ノ事情ノ為メニ殺是掩殺アリテノ特例ノ比例ヲ失スルニ至ルヿモアルヘケレハ現在ノ男

女数ヨリ直チニ婚姻ノ有様ヲ推定スルヿ難シ間々全ク反對ノ例モアルヿナレハナリ併シ概シテ曰フ時ハ男女ノ口数ノ比例ト婚姻ノ性質トハ並行スト云フテ可ナリセルビヤノ如キハ二者ノ間何ノ関係モナシト云フトモ尽信ズルニ足ラス已欧風開化ノ行ハレザル国ニアリテハ通常女多キ所ニ一妻多夫、男多キ所ニ一夫多妻婚ノ行ハルヽナリ而シテ一妻多夫婚ノ原因ハ貧弱ト同系結婚トニシテ貧弱モ同系結婚モ共ニ繁殖ニ不都合ナルヘキモノナリ自然淘汰ノ理ニヨリテ女ノ少ナカルヘキヲ要シ女ノ少キヨリ一妻多夫トナル或ハ之ヲ解シテ貧弱ナルカ故ニ直チニ人口ヲ殖サヽシト欲シテ数夫相倚リテ一妻ヲ娶ルナリト云ヒ或ハ貧弱ナルカ故ニ夫タ

ルヘキモノカ各自ノ妻ヲ迎フル資ハナキカ又ハ妻ヲ買
フノ資ナキニ由リテ一妻多夫ト云ヘルモノア[illegible]
此俗ニシテ正当ナル中ハ一妻多夫婚ノ国ニハ婚ヲ得[illegible]
サル婦人アルヘキニ実際然ルヿナク又一妻多夫制カ
如キモ資力并下賤ノモノノミナラスシテ富貴ノ分際ニ
モ行ハルヽヲ見テハ此又財論ハ立ツヘカラサルナリ然ニ一
夫多妻婚ノ起ルニハ自然淘汰ノ法ノ外ニ男ノ
色慾モ之ニ加ハルヘシ即チ一夫カ多妻ヲ得ントスルノ慾
念ニシテ之ニモ多ク種アリ或ハ偏ヘニ多淫ナルカ為ナル
モアルヘク或ハ度ニ妻ヲ改メテ変化アランヿヲ欲スル
カ為ナルモアルヘク或ハ蛮人ノヿトテ産後ノ妻カ子ヲ育
ツルニ長キ日月ヲ要スルヨリ其間色情ノ堪ヘ難キカ為
ナルモアルヘク或ハ子ヲ設ケンカ為メナルモアルヘク或ハ財
産権力ヲ得ンカ為メナルモアルヘシ子ヲ設クルハ尤モ必要ノ
条件ニシテ男児ノ生レサル限リハ幾度モ妻ヲ更フルモ
亦家人ノ妻ヲ重ヌルモ可ナリトセル民族多シ又赤道近
キアフリカノ土人中ニハ最少数妻アラサレハ遂ニ人種
絶滅ニ至ルヘキモノアリ、故ニ財産ヲ得ル為メトハ
蛮人ハ妻ヲ持テバ持ツ程富ムカ故夫タルモノハ妻ヲ手
ニテ農具トモ云ヘル有様ニテ開化人カ妻ヲ持
テバ手足纏ヒトナリ反テ負担ヲ増スト云フト反対ナリ
之蛮人ノ妻ハ男子ト同様ノ働作ヲナシ協力モ婢僕
ノ役ヲナスカ故ナリ権力ヲ得ントハ蛮人ハ奴隷多
ケレハ実際ノ勢力モアリ又他ヨリモ立テラルヽヨリ可成

多妻ヲ娶リ子ヲモ生セテ家族ヲ多カラシメントスルノ謂ナリ 一夫多妻婚ノ起ルヘキ自然ノ原因ハ上ノ如シト雖モ社会ノ事情ニヨリテハ人為ヲ以テ之ヲ妨ケサル得サルコト多シ即僻陬地方ニヨリテハ国法ヲ以テ多妻ヲ禁シ若クハ上流ノ人ニノミ許スモノアルカ如キ之ナリ今ヤ其如此ナラシムルヲ得ルニ至ル所以ヲ案スルニ男女ノ数ノ比例ハ一切ノ男子ニ多妻ヲ許ス程懸隔アルコト能ハサルニ由ルコトモアルヘク又蛮人カ猟シテ生ヲ営ム時代ニハ女子ハ其業ニ助力スル能ハサレハ余程有力ナルモノニアラサル限リハ自然多妻ヲ帯ヒ得サルコトモアルヘシ又稍進テ牧畜農業ヲ事トスルニ至リシ人民ニハ女子ノ要アルハ勿論ナルモ此時ニハ又要用ノ多キヨリ自然女子稀高トナルコトモアルヘシ又夫カ婦ノ家ニ多年同住セサルヲ得サルノ風アルヨリ之ニ阻マレテ多妻ヲ帯フル能ハサルコトモアルヘシ又女子ニモ選擇ノ念アリテ可成地位財産ナドノ秀テタルモノニ嫁セントスルノ傾キモアルヘシ 右等ノ事情ヨリ一夫多妻婚ハ国法ニ禁セサルマテモ多クハ上流富貴ノ人ニノミ行ハレテ貴人階級ノ標章トナルコトアリ 其他一夫多妻婚ハ漸ク減少ニ傾クノ理由ハ(1)一夫ニ多妻アルトキハ自カラ愛ヲ多方ニ分ツヨリ婦人ノ感情ヲ害スルノ恐アリ之ヲ避ケントスル足ヨリシテモ一夫多妻ハ廃スルニ傾クナリ 現ニ蛮民中ニハ多妻ヲ別居セシメ又ハ姉妹ヲ娶リテ以テ多妻間ノ衝突ヲ避クルモノアルナリ 若シ夫ガ婦ノ感情ノ如何ヲモ顧ミサルノ風アル民族ニ会ヘバ以テ其婦人ノ地位ノ

如何ニ低キカヲ要スルニ足ルヘシ併シ英民必シモ皆婦人ヲ尊バザルニアラズシテアメリカノイロコイス人ノ如キハ婦人ノ勢力却テ男子ノ上ニアルナリ然レモ此例多シ(2)情慾ノ上ヨリ見ルモ一夫多妻ノ廃セラルヘキ理由アリ未開ノ人民ニ只管獣慾ニノミ耽リシ夫婦間ノ愛ハ外貌ノ如何ニヨリテ変移セシモ漸ク進ムニ従テ精神上ノ愛ヲ主トスルニ至レバ甫カク變轉常ナキノ状ヲバ脱スルニ從ヒ従テ多妻ヲ許セサルニ至ルヘキナリ且ツヤ人間ニハ本来[illegible]的ニ奮ノ交ハラントスル性アレト同時ニ一面ニハ之ト反対ニ一物ニ偏執スルノ性アルモノニシテ愛ノ如キモ一旦定婦ニ注キタル上ハ時ト共ニ其婦人ガ他ノ婦人ヨリモ美麗ナルニ至リ必シモ多妻ヲ要セサルニ近ツクヘキ筈也

次ニ一妻多夫婚ニ就テ言フ時ハ女子モ本ヨリ男子ト同ク多夫ヲ欲スルノ情アルヘケレド此場合ハ一夫多妻ノ時ト事情ヲ異ニシテ男子ハ女子ヨリモ体力ニ於テ精神ニ於テ勝ルガ故ニ甘シテ多夫ノ下ニ立タズ従テ容易ニ一妻多夫ノ実ヲ挙ゲ難キナリ一妻多夫婚ノ行ハルヽ国ハ男子ノ気風ノ極メテ柔弱無気力ナラサルヘカラズ其他一妻多夫婚ノ起ルヘキ原因ハ財産ノ分割ヲ防ク為ニスルモノモアルヘク人口ノ比例上ヨリスルモノモアリ一夫ノ他行中保護スヘキ為男子ヲ要スルヨリスルモノモアルヘシ

以上ニテ婚姻ノ種類原因ハ説キヲハリタリ此ヨリ婚姻制度ノ行ハレシ時代ノ先後ヲ述ブヘシ(1)一夫一婦婚ハ尤モ野蛮時代ニハ普子ノ行ハレシ

タルモノニシテ此時代の蛮民ニハ直接産業上ニ女子ノ要アルヲ以テ婚姻ハ単ニ情慾上ヨリノミ来ラ故ニ酋長多妻ナリシハ尤ヘシ(2)稍進ミテ一夫多妻トナルハ夫婦ノ間ガ情誼ノミナラズシテ職業上ノ関係ニモ由ルヨリ多妻ヲ要スルニ至レルカ為ナルヘク又民度ニ上下ノ階級アルノ事情ハ益々之ヲ奨励スルナリ(3)此ノ一夫多妻婚ハ用ヒ一夫一婦婚ニ復ルノ趣キアリ之レ畢竟戦争殺伐ノ事少ナクナルト共ニ男子ノ跳梁モ少クナルヲナキノ為モ完ノ又婦ガ子ニ哺乳セシムル期間ハ男子之ニ觸レズナドイヘル迷信ノ存セルカ為メニ或ハ婦ノ児ヲ養育スル時期ノ[illegible]ヲ短縮スルカ為メニ或ハ妻ノ外貌ニノミ止マラザルカ為メニ或ハ徒ニ

子孫養護ノ多キヲ以テノ勢ヲ張ルノ要アリタナリシカ為ニ或ハ開化ニ趣クニ從テ婦人ノ容色ノ容色老衰スルヿ晩キカ為ニ如斯モ多妻ヲ要スルノ念起ラサルニ至ルナルヘシ而シテ將来ハ果シテ此一夫一妻制ガ一般不変ノ制トナルヘキカ之ニハ多少討論者モアリルボンシヨペンハウエルノ如キハ配偶ノ将来ニハ一夫多妻ヲ要スト云ヒ多婚起ウエスターマークノ言ヘル如ク到底一夫一妻ニ帰スルヲ夫ノ進化論者スペンサーノ説ノ如クナルヘキカ(4)一妻多夫婚ヲ他ノ婚姻制度ヨリ先ナルモノトスル学者アリシモ然ラズ今日ノ現状ニ見ルモ全然蛮野ノ状ニアルモノニハ此制ヲ行ハシ居ラズシテ多少進歩シタル民族ニノミ行ハルヽナリ蓋シ知識境遇ノ進ムト共ニ一夫一妻婚ヨリ生

出スルモノトミナスヘシ以上ニテ婚姻ノ紀元、種類、種類ノ因、沿革ヲ述ヘタリ其他ノ事項ニ入ルニ先テ之ニ属スル事ヲ一言ニ置クヘシ

○蓋シ婚姻ヲ求ムル事ハ常ニ男子ヨリ発御スルモノナルコトハ下等部族及亙人ノ比較ニ於テモ然リトナルヘシ今日ニテモ此方多シ[illegible]女子モ全ク装飾ノ地位ニ立ナキニアラス直ヲツトメ夫ノ身辺ヲ装飾シテ他ニ誇ヲ惹カシトスルカ如キハ此類ヲ蛮人ニ見ルモ文身ナドスルハ多ク婚姻期ニ達シタル婦人ニ於テ然ルヲ知ルヘシ又婚姻ヲ申込ムハ男子ヨリシモ之ヲ許否スルノ権ハ女子ニ在リ一見ヲ蛮人ノ比較ス蛮人ハ女子ヲ略物圖

様ニ取扱フトミツモ如シテ発達セシナリ且開化精進ニ随先崇拝ノ風行ハルヽト共ニ父権ノ強大トナルヨリ子女ガ婚姻ノ[illegible]許否匹偶ノ選択モ挙ケテ父ノ手ニ委ネシニ至ルコトアリシカ此家長制度ハ羅馬印度ナドニ盛ニ行ハレシモノニシテ日本ノ今日モ此余弊ハ遺レリ開化ノ進ムト共ニ用ヒ此ノ壓制ハ緩ニ行リノ傾アリ併シ今日ノ欧洲ノ如ク全然自由結婚トナルヲ極致トナスヘキヤ否ヤハ断言シ難シ

○蓋シ雌雄淘汰ノ法ハ自然淘汰ノ法則ト並行スルト説クモノアリ然リト雖モ斯ノ如キニ非ス即チ二者ハ正反対ノ結果ヲ生スルモノニシテ自然淘汰ハ個身ニ対シ自己ヲ保護セシ為メニスルモノナルカ故ニ実用的ニ低キ雌雄

論法ハ之ニ反シテ自己ガ種族中ノ他ヨリ秀出センカ為ニスルモノ故自然ノ装飾ニ似キ点アリ又前ノ者ハ外界ト同化シテ従テ外敵ノ注意ヲ免レンコトシ後者ハ外界ヨリ超出シテ他ノ注意ヲ引カントスルナリ又前ノ者ハ同種族全体ノ生存繁栄ヲ目的トスレド後者ハ同種中ニテ他ヲ壓倒セントスルナリ社会ハ此ニ反対法則ノ相依リテ発達スルモノナリト云フニアリ吾ハ此論ニハ議スヘキ点アリテ此ノ権衡法モ必竟ハ適者生存ノ自然淘汰ノ大法則ニ包含セラルヽニ過キストモ云フヲ得ヘシ序ニ述フヘキハダーウヰンノ美ノ標準ナリ氏ハ美ヲ先在ノモノトシ且標準ハ地方々々ニヨリテ異ナルモ兎ニ角其地ニ適シタル美ノ大標準アリテ之ニ向テ人間其他モ帰向セントスルカ如ク自然淘汰ニヨリテ異ナリタル外貌ノ人間ヲ生ズ之人種ノ別ノ生スル所以ナリト然レドモ此説モ吾ヲ安ンゼザルカ如シ美ト実用トハ其区別アレド同一ニ帰スルカ故ニ実用ノアル所即美ノアル所ナリ蓋シ外界ノ美ニ従テ人種ヲ異ニスルニアラズシテ生存ニ適スル様自然淘汰ノ法ニ従ヒテ人種生シタルヨリ従テ美ノ標準カ異ナリタルナリ換言スレハ美ノ標準先ツ在リテ之ニ従テ人種ヲ生シタルニアラズシテ先ツ人種アリテ之ニ應スル美ノ標準ナルナリ而シテ人種ノ先ツ在ルハ適者生存ノ大法ニヨリテナリ

第三　同類ノ法ト称スルモノアリ即チ一切ノ動物ハ自己ト異類ノモノト交尾スルヲ忌ムノ性アルコトナリ之モ

自然淘汰ノ大法ヨリ来ルニテ男女両個ノ子ハ発達セル
ヲ自カラ之ヲ嫌フ様ナリ来リ但同一人種中ノ異人
種トシテワカレキハ式ナリ又カリ男女両性交ハルコトヲ忌ムト同
時ニ之ト正反対ニ同血族ノ交尾ヲ忌ムモ自然淘汰ノ
法ヨリ来ルナリ所謂直血族ノ交ハ一ナラサルモ先ツ最モ
避クルハ親子次ニ兄弟次ニ従兄弟ナリ[illegible]同姓
名ヲ有スルノミニテ之ヲ忌ムアルモ之ハ其始メ同血族ヲ忌ミシ
ノ余風カ迷信トナリテ之ヲ忌ムニ至リシモノナルヘシ同血族内
ノ子ハ不完全ナルモノ多クシテ発達ニ適セサルナリ『但シ
此性種淘汰ノ法モ愛情同情思想ナドノ変化ト
共ニ変形スルニ至ルハ必至ノ事ナリトス』

『此間ノ一項ハ第二性種淘汰ノ部ニ入ルヘキモノ』

第四 結婚ノ法方ヲ一言スヘシ前ニモ述ヘタル如ク女子
ノ同血族ナルヲ厭フト又一旦其子女ヲ他ニ嫁セシムレハ自
家ノ財産ヲ失ヒシモ同様ノ結果トナルヨリ婚姻スヘ
キ婦人ヲ得ルニ難キノ事情ヲ生スルヨリ終ニ蛮人中ノ
婚姻ハ奪掠ニアラサレハ成立セサルニ至ル奪掠婚姻
ノ例ハブラジル、カリフォルニアノ土人ノ如キ之ナリ
其后世勢漸ク進ミテ凡テ己ノ欲スルモノハ他人ノ
手ニアルヲ腕力ヲ以テ奪フノ風失セ之ニ代ルニ賣買及
交換ノ法ヲ以テスルト同時ニ結婚モ奪掠ヲ交換
売買ノ様トナリ又更ニ進テ人間ヲ物品ト同一ニ取
扱フヲ忌ミセルニ至レハ初メテ真ノ結婚起ルナリ但
カク変転スルニモ一切ノ進化ノ法ニ従テ甚シクノ時代
ヲ経過スルモノニテ決シテ旦夕ニ起ルヘキモノニアラズ又

現ニハ奪掠ノ事ナキモ此風ヲ擬シテ戦ヒ式トナスガ如キ若クハ売買交換ノ事ナキモ結納金品ヲ贈擬ハスガ如キモ皆過去ノ俤ヲ残スモノナリ此結納ハ時トシテハ婦人ノ身元金トナルコトアリ

第五 結婚式 蛮人中ニハ此式アルコトナシ其起ルハ漸ヲ追テ起ルモノニシテ結婚ノ人身ニ重大ノ事件ナルコトヲ知リタル上ノ事ナリ故ニ結婚式ノ進ミタルハ以テ結婚ヲ重ンズルノ度ノ進ミシヲ證スルニ足ルヘシ此式ニモ多ク様アリテ普通ニハ饗應ヲナス事アリ二三日乃至十日十五日ニ亘ルモノアリ之モ前段ニ述ヘタル売買掠ノ遺制ト謂テ可ナリ其他諸種ノ式アルモ多クハ相互間ノ約ノ堅キヲ証スルカ又ハ女ノ服従ヲ証スルカニアラザルハナシ或ハ飲食ヲ共ニシテ結婚ノ式トナスアリ或ハ同坐シテ手ヲ把リ合フアリ或ハ帯ナドヲ取替ハスアリ或ハ互ニ血ヲ塗リ合フアリ之ヲ耕傳ニテハ紐ヲ用ユルノ風[illegible]トモナリ[illegible]リトミルコトヲ得ヘシ此等ハミナ夫婦約ノ堅キヲ表スル為ノモノナリ服従ヲ表スルモノハ或ハ女ガ火ヲ里ヨリ持参スルアリ或ハ女ノ手製ノ食物ヲ食セシムルモアリ或ハ夫ガ女ノ身体ヲ撃ツモアリ或ハ女ガ娘ヲ打ツ為メニシテ其鞭ヲ夫ナルモノニ贈ルモアリ其他今日ノ欧米ノ人中ニモ[illegible]ト称シテ特ニ婚姻ノ燕席ニテ辱遇スルモアルハ古ヘ奪掠ニ加印セシモノヲ辱遇セシ余風トモ見ルヘシ又結婚式ニテ

宗教上ノ式ノ加ハル事多キハ必竟婚姻ヲ重ンセルカ故ニ其絶期ナカランコトヲ神ニ祈ルニ出ルナリ之ニモ或ハ僧侶ヲ招クアリ或ハ社中ノ長者カ夫婦ノ手ヲ把リテ之ニ豚ナトノ血ヲ注キテ其幸福ヲ神ニ祈禱スルアリ或ハ陰陽師ヲ招キテ神意ヲトセシモアリ（我国ニ於テナトモ此例アリ）或ハ星宿ヲ観シテ吉凶ヲ定ムルアリ或ハ宗教ノ加味スルニ至レルハ常ニ人文ノ進ミタル後ナラデハ起ラヌモノニテ欧州ナドニテモ千五百二十二年此頃ハ此事ナクテ済ミシモノカ耶蘇モ之ヲ必要ナリト説キシコトナク只其弟子ノ如キハ多少婚姻ニ事務ノ関係スヘキヲ説キタリ下リテルーサーニ至リ再ヒ此事ノ不必要ヲ説キ又下リテ佛国革命ノ後ノ法令ニ至リテ全ク此関係ヲ断チテ民法的ノモノトナリタリ佛教ニテハ本来女人ヲ不潔ノモノトシタルヨリ婚姻ニ関係スルコトナシ但シ時トシテハ僧尼ノ之ニ與カルコトモアラサリシナリ

以上ニテ婚姻ノ事ヲ了ヘ次ニ家族ノ事モ述ヘ終レリ

○第二節 種族論

種族ノ性質起原ハ前ニモ述ヘシ如ク人間ノ最始ノ状態ハ漫然タル雑居ト乱婚ニシテ家族ノ有様ナカリシトスル時ハ種族ハ家族ニ継キテ来ルモノトハ云ハルヘカラズ或ハ種族ノ起原ハ家族ノ起原ト同シクシテ最初ノ雑居ヨリ一ハ家族

分レ一種族ニ別レタリトスルモノアレ𪜈最初ノ状態カ雑居ニアラサリシヤヲ知ラザレバ此説ハ成立セザルナリ今日ノ状態ヨリ見テ種族社会ガ家族ヲ単位トセズシテ個人ヲ単位トスルガ如キモノアルヨリ直ニ種族ハ家族ノ進化ニ因リタルニアラズト云フハ非ナリ現ニ我国ノ如キハ明カニ家族ヲ単位トスルナリ夫ノ氏ノ長者ト称スルモノハ其好例ナリ要スルニ種族ノ単位ハ家族モ[illegible]ノモアリ個人ノモノモアルナリ又種族ノ起原ヲ相互保護ノ目的ニ帰シ家族ノ広大ナルヨリモ個人間ノ相互保護ニ先ツ必要トナルヘキ皆ナシ[illegible]經テ種族ノ単位ハ個人ナリト説クモ非ナリ種族ノ必シモ相互保護ノ約束ニ出デザルコトハ種族ノ酋長ガ必シモ個人間或ハ家族間ノ選挙ニ出デザルニヨリテモ明カナリ然ラバ種族ノ起原モ家族ノ起原ト等シク生存競争自然淘汰ノ大則ニヨリテ来リタルモノト云フノ外ナシ然𪜈一面ヨリ見レハ人間ノ種族ヲナシ社会ヲナスハ其社交的天性ノ発揮スルモノトモ云フヲ得ヘシ[illegible]ガ人間ノ原始ヨリ戦闘ノ状態トナシ之ヨリ発達シテ契約ニ基キ始メテ社会ヲナスニ至レリトノ説ハ事実ヲ誤レルモノニシテ取ルニ足ラズカク自然淘汰ノ法ニヨルト人間ノ天性ニヨルトハ二者反対スルモノニアラズ[illegible]勿論ナリ此ニ述フル所ハ種族ノ分配ナリ

種族ノ分配、何ニヨリテ人種ト称スルモノハ生スルニ至リシヤハ今日ニ於テ定説アラサレ𪜈今[illegible]ノ

書ニ因リテ一説ヲ述ヘタシ吾人種ハ元ト同一ノ種子ヨリ起リタルナリ但シ同一種子ヨリ起リタルモ一夫婦ヨリ起リタルノ意ニアラス人間ノ原始ヲ猿トスルハ甚種子ニ二様アリトスルノ意ニシテ甚分派ニハ至リシハ猿ノ時代ニアリシカ人間ノ時代ニアリシカ難問題ナリ今日ノ実際ノ状態ヨリ見ルモ到底吾人種ハ同一根トハ云ヒ難シ必ヤ分派ハ人間時代以前ナルヘシ本来人間ノ人間タルハ実ニ言語アルニ始マル而シテ博言学ノ研究ニ由レハ人間ノ言語ハ到底同一原ヨリ分レタルモノトハ云フヘカラス故ニ言語アル以前即チ人間以前ニ人種ノ分派ヲナシタリトスルテモ可ナリトスルナリアガシ氏ノ説ナトノ

妄ナルハ言フマデモナシ抑モ種族ノ起原ヲ一遠祖一種族ニ帰セシトスルハ猶ホ一国人ヲ一夫婦ニ帰セントスルノ類ニシテ進化ノ法則上許サヽル所ナリ已ニ一社会ヲナス以上ハ之ヲ作ル分子ノ散在シタルモノアリテ之ヲ結合シテ始メテ社会ノ成ルト同理ナラサルヘカラス今人種分派ヲ人間時代以前トシ発原ノ場所ヲ問ハヽ果シテ今日ノ大陸中ニ非ス南亜細亜及亜非利加ナル所大本ハ今日ノ印度洋中ニアリシナリ動物学上ノ研究ノ結果ヨリ此地ヲLemuriaト名付ケタリ此處ヨリ分岐シ行クノ形勢ヲ地図ニ作リタルモ地ヨリ如何ニシテ全亜細亜ノ人間窟ト猿ガ海

山岳甲ヲ越ヘテ移住スルヲ得タルカノ問題ヲ
解スルニハ地球ノ状態、行路ノ難易モ今日
トハ異ナリ居リシコトヲ知ラザルベカラズ而シテ
分散スルニモ食物ヲ追フテ浪々スル古昔人ノ
方ガ寧ロ適当ナリシヿヲ思ハルヽカラ多人数ノ
相率ヒテ長途ヲ往来セシヿハ之ヲ歴史後ノ
事実ニ些スレバ古代ニハ少ナカラザルガ象ノ軍隊ヲ率
テアルプス山ヲ踰ヘタルカ如キ近代ニナポレオンモ
亦之ヲ踰ヘタルカ如キハ言フニ及バズ又陰南ノ砂漠
ヲ横行シ匈奴ノ山河ヲ跋渉シタルヿ多ク
亜州ヨリ今ノ魯領ヴオルガ地方ニ移住シ再ビ
六十万ノ大衆ヲ以テ支那地方ニ大困難ヲ

ヲ経テ帰リタルガ如キ其例ナリ或ハ陸地上
ノ旅行ニハ猛獣ノ害アル可シト云フモノアレド
ケダシ元人間ガ猛獣ヲ自己ノ食物トナスニ至リシハ
余程古キヿナルベシ此杞憂一要ナシ人間ノ陸地
ノ旅行ヲ妨ケ得ベキハ同シ人間アルノミ又或ハ水ヲ越
ヘテ移住スルハ非常ノ難事ナリトモ云フモノアレド
之モ非ナリ独木舟ニ由ラズシテ割木或ハ筏ニ乗テ
潮流ニ任セ陸風ニ追ハレテ隔絶シタル陸地ニ
移住セシヿアリ又一定ノ潮流風向モ時ニヨリテハ
変化スルヿアルガ故ニ其方向ニ逆フテ方角ニモ
移リ得ルナリ亜米利加ニ殖民セシガ如キハ亜人
ノ水ヲ越ヘシ好例ナリ亜米利加ニ渡リシ人民ハ

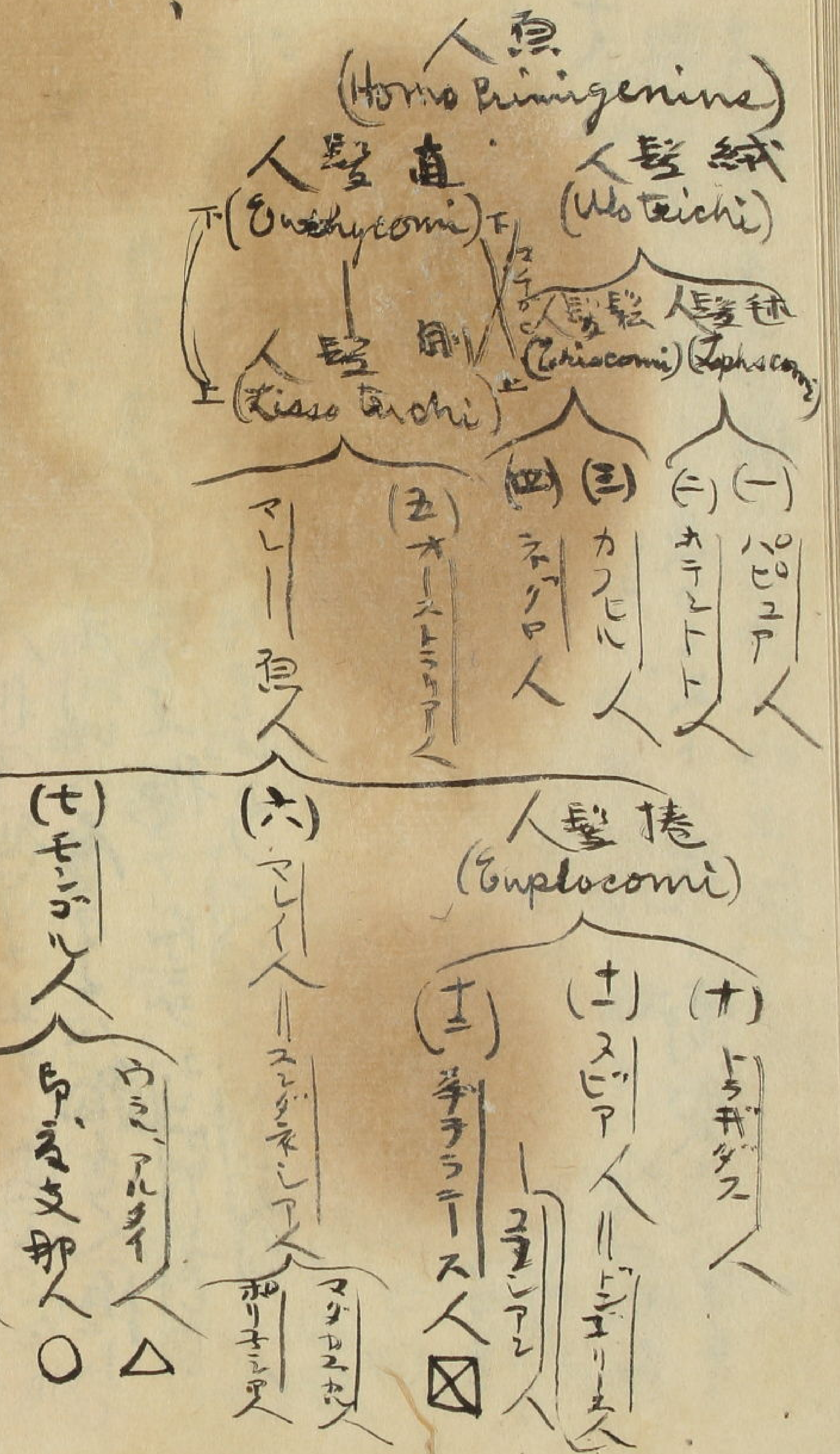
三方ヨリナリシトスル即チアフリカ、亜細亜東部、
及欧羅巴西部之ナリ 然氏陸ニ水ニ人間ノ古
代ニアリテ移住展転シツヽアルヲ否ムヘカラズ人間ノ根
本ハ最古ノ時代ニアリテハ一箇處ナリトスルモ不可
ナキナリ

人種ノ別ハ人種間ニ劃然タル界限アルニアラズ
唯漠然ト其著キ所ヲ揚ゲテ之ヲ分チシモノナリ故ニ其
中間ニ至リテハ何レヲ何レ氏断シ難キモノアルナリ
独乙ノブルーメンバハハ五ニ別シテ黒人、褐色人、黄色人
銅色人白色人トセリ 然氏カク皮膚ノ色ノミニ因
ニテ分ツハ不都合ナリ 皮膚ノ色ハ地勢ニヨリテ如
何ニモ変ズルモノナレバナリ 又頭蓋ノ形ニヨリテ之ヲ分チ
テ長頭短頭中位頭ノ三トナスモノアレ氏之
将タ不精密ノ誹リヲ免レズ 毛髪ノ模様ニヨリ
骼ノ形チニヨリ言語ニヨルモノアリ 此内毛髪ト言
語トニヨルモノヲ尤モ精確ニ近シトナス 毛髪ノ性
質ハ遺傳シテ人工ノ動カシ易カラザルモノ 之ニヨリテ十
二種トナス 其内毛髪ノ種類ハ四ニ過ギズ (1)房ノ
如ク固マリテ生シタルモノハホッテントット、ファピア人ノ二
人種 (2)皆等ニ満遍ニ生シタルモノハ黒奴カフル人、
(3)直髪ノモノハ濠太剌亜人マレー人モンゴリア人、北極人、
アメリカ土人ノ五人種 (4)捲縮シタルモノハドラビダ人
ヌビア人地中海近辺ノ人民ノ三人種合シテ十二人種
トナス 更ニ言語ヲ以テ之ヲ分テバ右ノ内ファピア人ノ

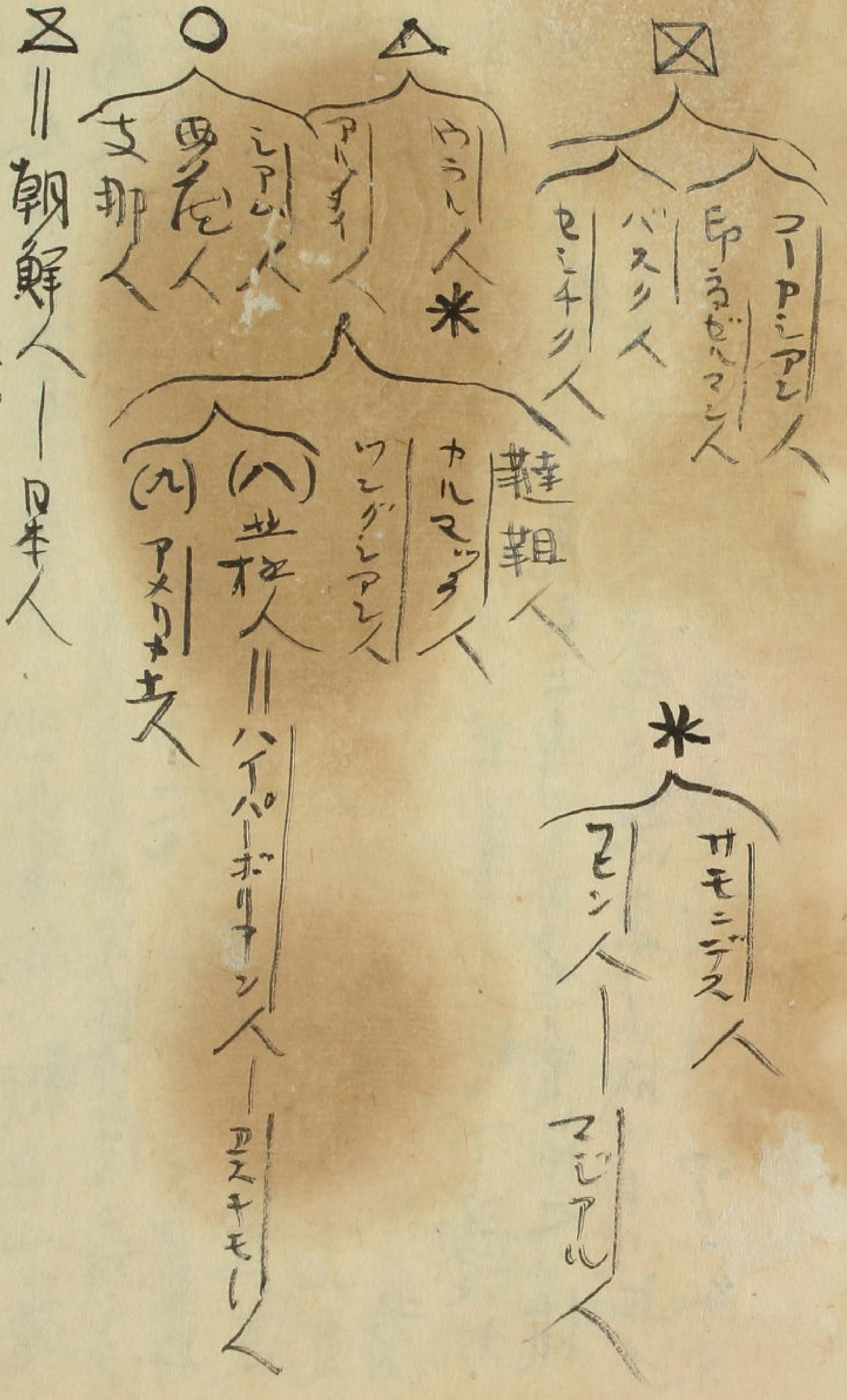
言語ハ一根ニ出デホテントットノモ一原カ併シ人ノモ同
様思ハノ言語ハ一根ニアラズシテ諸多ノ古代ノ言語
混合ヨリ起シ濠太利人ノハ一原ヨリ人ノモ一原蒙古
人ノハ一原ニアラズトノ説多シ疑問ナキニアラズ土種
人ノモ一原ナリヤ否ヤ疑フベシアメリカ人ノモ同様未
定ドラビダス人ノハ一原ヤ又セアル人ノハ疑ハシク地中海
人種ノハコーカシアン、セミチク、バスク、ヒンドスノ四種
アリ今更ニ四種ノ毛髪ノ形質ヲ纂メルニ先
ツ直髪ト獣毛趣似ノ髪トニ分シ次ヲ前者
ハ直髪捲髪ニ分シ後者ハ房生、簇生、長髪ニ分
シ之モ先ヘシ以上ノ区分ハ尤モ精密ナルモノニテ
ヘッケルモ之ニ依リ居ルナリ乃チ此十二種ヲ更ニ

別シテ都合三十六人種トナシ下ニ図示スル図ノ如シ此内
注意スヘキハアウストラリア人種ト彼等ガ西方ニ進ミテ今ノ
ノ杜洋人種トナリ又ハ西方ヤリ北ニ廣マリテ八銅色人種ニ
ナリタルナリ直他ト同シク蒙古人種ノ内ニテ[illegible]
等ニ濫アリタルモノアリ又地中海辺ノ人種ハ[illegible]
ドラビダス人種及アフリカノヌビア人種ト同系ニ属シテ
皆同直髪人種ナレ氏蒙古人種ト甚ダ相関セズシ
シテ印度[illegible]コーカシアン、バスクセミチク等ノ分子ヲ含
ム以上ノ二説モ其以前代人間以前ニアリトスルモノ
ナルガ故ニ夫ノダーウィン等ノ今ハノ社会ノ如キハ如何ヤ己ニ
数在ミ先人種十ガ九ツカラズトノ説ト衝突スルナキ
ナリ扨テ十二人種ノ系統ハ如此図

下図ニ移ル


人原
(Homo Primigenius)
人髪直
(Euthycomi)
人髪縮
(Ulotrichi)
下
上
人髪剛
(Lisso trichi)
人髪羊
(Eriocomi)
人髪毬
(Lophocomi)
(一) パピュア人
(二) ホッテントット人
(三) カフヒル人
(四) ネグロ人
(五) オーストラリア人
マレー｜原人
人髪捲
(Euplocomi)
(六) マレー人‖ポリネシア人
マダガスカル人
ポリネシア人
(七) モンゴル人
ウラル、アルタイ △
印、支那人 ○
朝鮮‖日本人 ⌛
(十) ドラヴィダ人
(十一) ヌビア人‖ドラヴィダ人
(十二) 地中海人
ユダヤ人
ミッテルラテース人 ☒

三十六　人種表ハツダラヌモノト見、視テ猶


☒
コーカシアン人
印度ゼルマン人
バスク人
セミチック人
△
ウラル人
アルタイ人
シベリア人
○
西蔵人
支那人
⌛‖朝鮮人｜日本人
＊
韃靼人
カルマック人
ツングシアン人
(八) 北極人‖ハイパーボリアン人｜エスキモー人
(九) アメリカ土人
＊
サモエデス人
フィン人｜マジアル人

種族ノ状態ハ之マデ述ベシ諸種ノ中ニテ自カラ明

カクノ如キハ今又言ハヾ唯一ノ注意スベキハ所有トイフ看念ガ動産ノ所有トイフ看念ハ狩猟人種即遊牧人種ニモアリ得ベシトモ、不動産ニ対シテノ所有トイフ念ハ已ニ農業ニ社会ノ状態ヲナシタル上ナラザレハ起リ得ザルモノニテ、即チ土地ノ所有ハ一處ニ定住シテ約束トイフ看念ガ生ジ社会形ヲナシタル後ニ来ルベキモノナレバナリ。故ニ不動産ノ所有ノ看念ナルハ社会ノ組成セシ上ノ事ト知ルベシ。或ハ土地ノ所有権ノ起リハ先占ニアリトイフモノアレ氏之ハ非ナリ。占トイフ事ノアルハ已ニ約束ノ成リタル上ノ事ナルナレバ先此ヨリ不動産所有ノ初メハ約束ニヨリナリトイフテ不可ナシ

◎

第二、社会ノ発達

◎第一章 社会発達ノ要素

社会ノ発達ヲ研究セントセバ先ヅ之ガ要素ヲ知ラザルベカラズ。要素ニニアリ。第一ヲ先在ノ要素ト称シ之ヨリ社会ノ現象変化ヲ生ゼシムルモノナリ。第二ヲ後在ノ要素トナシ、第一ニヨリテ成立シタル社会ガ作リ出シタルモノトス。換言スレバ社会ヨリ出テ、反射シテ社会ニ影響ヲ及ボスモノ之レヲ後在ノ要素トハイフナリ。更ニ之ヲ分類シテ

◎第一節 先在ノ要素

ヲ[redacted][redacted]内外ノ二ニ分チテ[redacted]

第一項 外部要素ヲ

（一）気候ノ変化ノ多少（二）地勢即チ肥瘠ノ割合、度合、山川分配ノ模様（三）[redacted]植動物ノ分量種類

五種類ノ多サ等トナシ第二項内部要素ヲ
人間ノ身体感情知力ノ性質等トナス。マタ
[illegible]第二節　後在要素[illegible]
[illegible]ナリ(一)森林ナトヲ排セシ為メニ気
候ノ変更ヲ生シ溝渠ナトヲ通セシ為メニ掘乾ノ地味ヲ
変セシモノヽ如キ之ナリ凡ソ文明ヲ論スル元人間ノ力カ
[illegible]自然ヲ征スル事カ重要ノ一因トナレルヲ言
ルカニ又實ニ山川ヲ左右スルノミナラス植物界動物
界ニモ同様ノ勢力ヲ及ホスナリ(二)社会ノ人口ノ増
大ト共ニ其組織カ複雑トナリ従テ作業ヲ生シ
政治文学ノ如キモノアルニ至レリ(三)社会ノ全体カ個
人ノ家族ニ対シテ影響シ又ハ家族カ社会ノ全体
ニ影響ス(四)社会ト他社会トノ関係ヨリ社会ノ状
態ヲ進化セシムルノ効アリ(五)社会ノ産物即政治
工業言語文学等カ社会ニ影響ヲ及ホスナリ以
上諸多ノ要素相寄リテ社会ヲ進化セシムルナリ之ヨ
リ更ニ之等ニ就テ詳述セントス

○第一節　先在要素

此ノ項外部要素、(一)気候、モ注意スヘキハ温
度ナリ元来動植物ノ生活ヲ為シ得ルハ或ル程
限内ノ温度ニシテ極寒ノ地ニ於テ看ルニ大小ノ
獣類魚類ノ棲在スルハ主トシテ暖潮ノアルカ為ニシテ
之ナキ時ハ此等ノ動物ハ決シテ生存スルコト能ハサ
ルヘシ従テ之ヲ食トシ居ル極洋人種モ存在スヘ

キニアラズ又北極住人種即チエスキモー人種ノ躰
軀極メテ矮小ナルハ寒気佐ノ甚シキニ因ルニシテ見
他繁殖力ノ点ニ於テ繁殖ノ点ニ於テ乱ソノ同一ノ状
態ニ止ヨリテ進ムヲ絶ツガ如キモ之中毒セズ之レ全身ノ
力ヲ防寒ノ為ニ費サシヲ得サレバナリ南極ノフェーゴ島ノ
人モ同様ナリ熱帯ノ地ニ於テハ寒帯ト反対ノ
現象アリテ古代ノ文明国ハ常ニ熱帯乃至之
ニ近キ地方ニ存在セリ地球上ノ熱気ノ方ハ寒気ノ
如ク人身体ニ害ヲナスコト甚シカラザルモノト云ベシ毫モ
人ノ今日ノ状態ヲ見ルモ寒帯地方ノ蛮人ヨリモ熱帯地
方ノ蛮人ガ進歩シ居ルヲ見ル夫ノサンドウヰチ島民
ノ如キ好例ナリ 然シ人間社会ノ進歩ハ可成外界

ヨリノ妨害少キ地ニ盛ナル可キ理ニシテ最初ノ社会ハ
寒気ヲ防クカ為メ或ハ食ヲ求ムルカ為メニ力ヲ費スコト
ノ必要ナク天産物多キ地寒気ナキ地ニ発達ス
ヘキナリ 然レトモ社会精進シテ余力アルニ至レハ熱帯ノ
地ヨリモ一層身体ニ好都合ナル温帯地カ経ヒ多キ
ノ発達ノ妨害トナルモ適当トナルナリ、殊ニ乾湿
モ注意ヲ要ス地球ノ湿度大ナルハ人間ノ体気ノ新
陳代謝ヲ鈍クシ萎弱ナル気力ノ民トナルモ乾
燥ナル地ハ之ニ反シタル結果ヲ生スルナリ エジプト、
アッシリア、バビロン人等ノ古代開明国民ハ常ニ乾
燥ノ地ニ出デ又古代ノ征服民種アラビアヤセミチック
アッシリア人ノ如キモ世界乾燥ノ地ニ出デタリ 此等

ノ民種ニハ躰の格上ニハ別ニ著差ナキモ元気ガ非常ニ乏キナリ 此等ノ例ニヨリテ見ルモ空気ノ乾湿ト元気ノ消長トハ並行スルヲ知ルベシ 又空気ノ乾燥ナルタメ皮膚ノ色沢自ラ近シ ~~有~~ 有名ナル旅行者ナルリビングストンノ話ニモ亜非利加土人の皮膚ノ黒キハ単ニ熱帯ノ日光ノ為メノミナラズシテ湿気アルガ為メナリト云ヘリ 其他皮膚ノ色ノ佳キタケ武勇ニシテ他ヲ征服話脱セルノ例多キナリ 然ルニ空気ノ乾湿ノ社会ニ及ボス力ハ大ナリト云フベシ

㈡地勢 之モ社会ニ及ボス効果至大ナリ 即チ臣意ヨリ見レバ地形ガ或ル一部ノ人民ヲ一纏メトナシテ統制シ教養セシメタル様ニナルニ過ギ先ヅ地形ナラザルベカラズ 若シ一局ニ区劃セラルヽナリ 一面平坦ノ地形ナレバ牧畜ヲ好ム蛮人ガ団結シテ社会ヲ起スハ出来得ヘカラザルナリ 又唯ニ平地ガ不利ナルノミナラズ山岳畳重ノ地形モ不可ナリ 山岳ナル限リハ何處ノ山岳ニモ食物ハ得ラルヽコトノ心アル人少シ必處ニ住在スル覚束ナキナリ 古来山岳ニ住セル人民ハ他人民ト団結スル難キ傾キアリ 夫ノマセドニアノ強大ナルニヨリテ常ニ之ニ合併セズシテ之ニ敵セシハイルリア山民ナリシトイフ 又稍場合ヲ異ニシモ欧州中ニテ常ニ征服併呑セラレヘキ場國ニアリナガラ而カモ独立セシハスヰツランド山国ノ人民ナリシナリ 故ニ必要ナルハ地形変化ノ度合ナリ 而シテ行ハ宜リ 変化ナキ単調ノ地ナラセバ動植物ノ種

穀ノ如キハ之ナラズ世ニ植物即チ今ノ麦ナドモ種類多
リ従テハ人間ノ生存ニ対スル経験知識モ様々ナル一ノ
延テハ社会ノ文化思ハシカラザルナリ　其例ハロシアノ北部ノ
高原ノ如キ之ナリ　又亜米利加ノ大平原ノ如キモ其数
ニシテ今日世界ニ開明国アルハ天然自成ノ開明国ニア
ラズシテ移植ノ開明国ナルナリ　今ノ農国豊亜米利加ノ
農国ナラズヤ　之ニ反シテ古代ノ開明国タル埃及
バビロニア　アッシリアノ如キ其皆地形ノ変化甚多ナルナリ　又地味ノ肥
磨ノ社会ノ発達ニ大影響アルハ勿論ナリ　或地味ノ
非常ニ肥饒ナル所ハ食物ノ収多ナル牛ハ開化ハ発達セズト
スルモノアレド極端ニハ南米ノ如ク得サルヤ明ナリ　古代ノ
開明国ハ凡テ肥豊ノ地ナラザルハナシ　蚯ニ此ノ場合モ亦

気候ノ場合ト同シク或ル程度マデハ自然ノ抵抗少キ
食物饒多地味豊富ノ地ニアラザレバ社会ハ成立セズ
然レドモ甚ダシク之ニ達スレバ上ニ述ベシ如ク自然ノ抵抗ア
ル方ガ智力経験ヲ錬磨スルニ必要ナリ　今日
食物ヲ得易キ時ハ怠惰ノ気分ノ人民ニ上ルナリ
須ク地味ノ変化ガ必要ナリ　甲地方ニハ甲種ノ食物豊富
ニシテ乙地方ニハ乙種ノ産物豊富ナル方カ多クナラザル
ヘカラザルナリ　(三) 食物ノ多少ガ開化ニ影響スル
ハ見易キ理ナリ　エスキモー人ノ如キ極寒ノ地ナル
ガ故ニ植物希少ナル　従テ文化ガ発達セザルナリ　器具
ヲ作ルニモ家屋ヲ建ツルニモ凡テ氷又ハ獣骨ヲ以テセ
ザルベカラズ　到底文化ノ来ルベキ筈ナキナリ　又鳴

太利土人ノ蠻風ニ居リナガラ文明ニ赴カサリシモ之ハ為メナリ次ニ植物ノ種類ノ多少モ影響大ナリ饑饉ノ害アル時ハ一種ノ植物ハ宜シカラサルモ他種ノモノハ実モツアルカ故ニ之ヲ避クルニ易キナリ又種類多ケレハ之ヲ取ルニ於テ多ノ[redacted]方法ヲ要スルカ故ニ從テ發達シ智識モ多クナルヘキナリ又植物カ余リ過多ナル時ハ却テ害ヲナスコトアリ或ハ之ヲ開拓スルノ力ナキヲ或ハ日光ノ通ルヲ[redacted]ヲ或ハ猛獸毒蛇ノ害アルヲ到底人ハ之ニ棲息シテ繁昌スルコト能ハサルナリ次ニ動物モ其有害ナルモノハ多少有用ナルモノヽ多少種類等ニ關スルコト至大ナリ

第二項　内部要素　(一)社會内部ノ機關ノ組織ヨリ研究セニ之ハ動植物ノ場合ト相適スル故之ヨリ推究シ得ヘシ動植物ノ機關ノ發達ノ順序ヲ案スルニ先ツ内（面）部ト外界ニ關スル[redacted]部トノ二ニ分岐シ來ルヲ例トス外圍的トハ食物地勢ナドニ凡テ外圍ノ方面ニ當ル役ヲナス部分ナリ内面的トハ外界ヨリ得タル食物ヲ料理シテ自身全體ノ營養ニ供スル~~者ナリ~~ノ役ヲナス部分ナリ換言スレハ前者ハ食ヲ得ル為メニ働クモノ後者ハ得タルモノヲ調理スル為メニ働クモノナリ此二分業起リテ始メテ發達ノ途ニ上ルナリ之ト同一ノ法ヲ以テ社會ハ主人ト奴隷トノ二途ニ分ルヽヲ最初ノ發達ノ順序トスルナリ主人ハ外界ニ對シテ敵ヲ防キ自家ヲ保護スルノ任ニ當ルモノ即外

目的ナリ奴隷ハ其内部ニ食物需要ヲ供給スル
モノ即内目的ナリ而シテ此分岐ハ初メテ劃然ト見
ハルヽニハ非ラズ主人ノ未ダ野獣ヲ猟リテ食トスルニ過ギザ
ル状態ニアルニ当リテハ外敵ヲ防グト獣ヲ猟ルトハ其間
大差ナキモノ主人ガ獣ヲモ猟リ敵ヲモ防ギ奴隷ハ唯
之ガ手伝ヲナスニ過ギザルナリ然ルニ此状態一変シテ農業
牧畜ニ生活スルニ至レバ此ニ始メテ二者ノ職業ニ明カ
ナル限界ヲ生ジ主人ハ唯ダ外敵ヲ防グト唯シテ家
業ノ指揮ヲナストノ役ヲナスノミトナリ元来獣猟
ノ業ハ主人ノ武ヲ錬達セシムルモノ故奴隷ニ之ヲ
任セテ置クトキハ謀叛ヲ起スノ憂アル点ヨリ云フモ固
獣猟時代ニハ[illegible]食ヲ求ムルノ業ヲ奴隷[illegible]ノ

ニ為サシム可カラザルナリ主人奴隷ノ関係ハ農業時
代ヨリ起ルモノナリ而シテ又此ヨリ二段ノ関係ニ岐レタリ
人民ヲ更ニ第二ノ征服者来リテ打チ従ヘタル時ハ
此ニ二段ノ階級トナルナリ後ノ征服者ガ真ノ主人ト
ナリ前ノ主人ハ中位ノモノトナリテ外交ニモ内治ニモ携
ハルコトナクシテ漸近ニ社会ハ複雑ノ階
級ヲ成スニ至レルナリ故ニ此主人奴隷ノ二関係ガ社
会ノ進ムト共ニ之ヲ媒介スル中間ノモノヲ要スルニ至レバ
所謂商人ノ一階級生ズルナリ初代ノ状態ニテハ人
々自ラ満足シテ居ル間ハ貿易ノ事アルナク従テ商人
モナカリシナラン此ヨリ推スニ其時ハ商人ハ内トハ外交ノ間
ニ起リタルモノナルベキモ後ニハ内治ノ関係間ニモ移

ニ至リタルナリ右ノ主人ノ役ヲナスモノヲ整調ノ系統トシ又奴隷ノ役ヲナスモノヲ生産ノ系統トシ又商人ノ役ヲナスモノヲ分配ノ系統トス　此三系統実ニ社会ヲ発達セシムルノ大本ナリ　而シテ其生シ順序ハ前ニモ述ヘシ如ク先ツ第一第二ヲ生シ後ニ第三ヲ生セシナリ　故ニ已ニ商人ノ出ル社会ハ決シテ最下ノ社会ニアラスト云フヘキナリ　又此分配ノ系統トテモ初メヨリ雑多ナルニハアラス社会ノ進ムト共ニ複雑トナリ行クナリ　之ヲ此ニ詳説スヘキナリ

(一)生産ノ系統ガ第一ニ生スルハ動植物ノ場合ニ見ルモ明カナリ　今植物ノ営養機関ニ就テ見ルニ根ハ地中ヨリ営養分ヲ得葉ハ空中ヨリ営養分ヲ取ルヲ見ル　即チ富ニヨリテ生産系統ノ職ヲ異ニスルナリ　而シテ社会ニ於テハ如何ト云フニ同様ニ直接ニ土地ニ産スルノ有機無機ノ産物ニノ種類ニヨリテ生産ノ種類定マリ諸ニ其産地ノ遠近ニヨリテ生産ノ種類定マルナリ　カノ生産系統ノ分科モ発達ニ行クハ調整系統トハ全ク独立シテノ事ナリ　其証ハ何レノ国ニ見ルモ生産上ノ分業ト政治上ナドノ区劃トハ相違シ居ルナリ　蓋シ所以ヲ来スルニ生産上ノ区劃ハ前述ノ如ク外界ノ天然ノ事情ヨリ来ルモ政治上ノ区劃ハ之ニ反シテ主トシテ人為ノ事情ヨリ来ルガ為メナルヘシ　勿論政治上ノ事ハ常ニ天然ノ事情ニハ関係セニ

ドハ云ヒ難キモ先ヅ概シテ別ナシトモツテ差支ナキ例
ハバ村ノ別、郡ノ別ノ如キ、政治上ノ区画ニテモ
夫然ノ産物ノ如キ、如シモ之ニ伴フテ別アルニハ
アラサルノ類ナリ、偶然ニ生産上ト政治上ト相一致
スルハ理事者ガ土地ノ状勢ヲ監シテ政治ヲ施シ
タルカ如キ場合ナリ

(二) 政治ノ分配ノ手続 ノ条件 ニアリ 交
通ノ普 開ケテ之ヲ生ズル 及ビ 道路 運
開キ 通セラル貨物 之ナリ 部落 ニ人民増殖シ各部落 相
交通スルニ至ルハ
異ナル事業ヲナシ及ビ其部落ニ安住スルニ
及テ ノ事ナラザルベカラズ而シテ道路ノ起ル始

メハ始メヨリ立派ナル大道アルニアラズシテ人民ハ異
ノ通リ人ノ通リタル跡ヲ追フテ政ニ通行スル
モノ多クナルニ及テ始メテ道アルナリ 故ニ道路ノ
分明ニ他ノ地方ヨリ区分セラルヽハ大モ其人ノ交通ノ
頻繁ナル所ニアリ之ヲ発達シテ今日ノ鉄
路ニマテ進ミシナリ又道路ノ発達ノ始メハ主モナル道
ナド直線ニ近ク且ツ大ナルモノトナリ程度ノ下ルニ従テ
益小ニ益屈曲シ行ク傾キアリ 元来道路ノ沿
革ハ一国ニ就リテ見ルモ必要アリ 道路ノ歴史ヲ作
ラハ以テ一国ノ商業ノ発達ヲ明ニスルヲ得ヘシ我国
ノ如キハ道路ノ発達シタルハ維新以後ノ事ニシテ
封建時代ニ到底道路ハ発達セザルヘキナリ 此

是ノミヲ云ハ封建ハ有害ノモノナリシカ如ニ然氏我
国ニ封建ノ必要ナリシコトハ他ノ是ヨリ断言シ得ヘシ
ナリ直路ノ~~徒~~紀息ニ従テ一条ノ他社会トノ競争
上或ハ兵備ノ為メ或ハ通信ノ為メニ必要ナルヨリ起
ルモノナリ[illegible]軍事上ノ道路ト云フ結局大直路
ノ起ルハ平和上~~兼用~~要結ノ理ヨリ来リヌ
ルモノト然ルニ軍上要結ノ理ヨリ来リタルモノトノ二種
ヨリ成ルナリ此ニテノ大直路ハ勿軍事上ヨリ来ルモ
ノ多シ加之海路ノ発達ハ陸路ト事情ヲ異ニ
シ地形上~~[illegible]~~上ノ進歩ニ伴フモノナリ備テ此
直路上ニ通達セラル、貨物ナドノ流通ハ如何
トスルニ之レモ社会進歩ノモサレハ盛ナラサル可

済ナリ然ルニ経済ノ度モ初メノ内ハ極メテ少ナカリシモ
進デハ経済ノ繁ナリテ遂ニ日々ニ到ルコトテ及ハザリテ又
之ガ方向モ~~[illegible]~~社会ノ進ムニ従テ一定ノ方向ニ帰ス
ルナリ又未開ノ社会ニハ市ト称シテ定期ニ売
売買場アルモ文明ニ赴クニ及テハ市ハナクナリテ
常住売買ヲ取リ行フニ至ルナリ加之貨物ノ
事ニ就テ云ヘハ貨物ノ発達ハ前キノ生産ノ系統
ト直接ノ関係アルナリ貨物ノ精巧ヨリ多ク種
々ナルヨリ分配ノ道開ケ分配ノ道開クルハ益々
生産ノ系統ヲ発達セシメ互ニ相因果シテ行ク
ナリ例ヘハ分配ノ系統ハ一大流河ノ如ク生産
ノ系統ハ之ガ中ニアル淵ノ如キナリ要スルテハ

（四）之ヲ精製シテ再ビ出スナリ又分配ノ系統ニモ競争ノ起ルアリ二者互ニ拮抗シ居ル間ハ益々発達ヲ促カスモ若シ一方ガ敗レテ一方ニノミ貨物ノ集マル片ハ萎靡不振ノ状ニ至ルコト猶人ノ脳部ナドニ血ノ集リ過ギテ他部ニ貧血ヲ現スルニ至レバ卒倒スルガ如キモノアリ故ニ注意スベキハ社会全体ヲ恰統一的ノ有機動物ニ比論スルコトスベカラザルノ如キ至リテハ往々錯誤ニ陥ルノ恐アリ唯説明ノ方便トシテ随時ニ用ユベキノミ

（三）調整ノ系統ハ前ニ述ベシ如ク外ニ対スルト内ニ対スルトノ二用アリテ自己所属ノ団体ヲ統率シ外敵ヲ防グモノナリ例ヘバ動物ガ他ノ獣ノ害ヲ避ケ国ハ他動物ヲ捕ヘテ己レノ食トナスノ用ヲナス機関ニ当ルナリ今之ガ起原ヲ案ズルニ一国体ノ人民ニ統裁ノ体ヲ具フルニ至ルハ多クノ他部落ト戦争ヨリ来ルナリ統裁アリテ始メテ相共同シテ外敵ニ当リ得ルナリ此系統ノ発達ト生産ノ系統ノ発達トハ相伴フヲ見ルナリ結局戦争ハ社会ヲ為スニ必要ノ条件ナリ次ニ注意スベキハ統御ノ機関ナキ場合及之ガ生ズル有様ノ如何ナリ統御機関ナキ一人民ノサキ場合ハ住所ノ離隔シ居ル場合、及共同働作ノ妨ゲラレ居ル場合等ナリ又同一人民ノ性質ガ初ヨリ社交的ノ性ナキモノ猛獣ノ如キモノミアリナバ到底酋長様ノモノハ生セズ従テ統

御ノ系統ニ起ラサルナリ　是等ノ事情ナリテ
人民ノ性ハ於テ安略ニ且ツ一處ニ同住シテ人數モ相應
ニ在ル時ハ之ニ外界ヨリノ刺戟即チ~~国~~共同セサレハ
他国体ニ征服セラルヽ云フ~~戦争~~カ如キ事即チ戦争
ノ力加ハリテ初メテ統御ノ主統起ルナリ今此ノ
不羈自由ノ状態ヨリ統御ノ状態ニ移ル間際ノ
状態ヲ案スルニ平和ノ時ハ仍ホ独立シテ自由ニ御サ
戦争ノ時ハ武勇ノ経驗アル一人ノ首長ヲ立テヽ統
御セシメテ衛ル有様ナリ約言スレハ事アレハ統御
ヲ建テ事止メハ統御モ止ム此ノ状態ナリ又此法
則ハ實ニ一国体ノ共同ノミナラス一国体ト他国体ト
ノ共同ノ場合ニモ適用セラルヽナリ即チ首長トナルモ
ノハ武力トカ権謀トカ総力ノ勝レタルモノカ一時之ニ立テラルヽ
ナリ一旦以上ノ如キ社会ノ状態ヲナスニ至レハ之ヨリ
真ノ政治上ノ統御ノ起ルハ容易ナリ即チ前キノ
軍事上ノ一時ノ王タルモノカ盛ニ戦争アルカ為メ或
ハ戦争ノ起ラントスルノ際アルカ為メニ何時カ政治上ノ王タル
ニ至ルナリ政治上ノ統御ノ初メモ亦戦争ニヨルナリ
古今ノ国家ヲ見ルモ軍事上ノ勢ト政治上ノ勢力トハ并行シ
テ進ムモノナリ此統御ノ系統ノ發達ノ次第ヲ
見ルニ先ツ複雑ニ成ルカ如キナリ複雑トナルニハ必スヤ
之カ分子ノ~~[illegible]~~相違セルモノアラサルヘカラス區別ヲ
現スハ一物カ他物ヨリモ秀テシテ際立ツニ始ルナリ
故ニ換言スレハ複雑トナルニハ一部落カ他部落

ニ互ニ勝リタランヿヲ要ス然レモ若部落ノ酋長ガ他部落
ノ酋長ヲ推シ除キテ全ク之ヲ横領スルハ恐ラク初ノ状態ニ
ハ至難ノ事ナリ故ニ先ツ般ノ封建ヲ郡縣制ヨリモ未開
ノ状態ナリトスル蓋シ此理ナリ故ニ初メハ全体ヲ支
配スル主権ハ漸ク権力少ク各地方ノ小酋長
ガ勢力アルナリ然ルニ社会ノ進ムト共ニ中央ニハ益勢
力ヲ集メテ終ニ遂ニ郡縣ノ制ニ及バサルヘカラズ又初
メノ社会ニハ軍隊ト人民ト別アルニアラズシテ平時ハ農
野耕ハ兵ノ務ヲナセシガ故ニ軍事上ニ肝要ナル
事件ハ政治上ニモ肝要ナリ例ヘバ軍事上ニ不平均
即大将士卒ト階級アルヿ力量モ必要ナルト共ニ
政治上ニモ同様此不平均即服従ガ行ハルヽナリ故

時ノ制ガ平和ノ時ニ適スルナリ而シテ中央点カ次第ニ重複ト
ナリ遂ニ中心ニ附属スルハ小中心ガ幾ラモ出来ルナリ
カクナルハ遂ノ中心機関ハ益拡大複雑トナル而シテ
始メハ一人乃至数人ニテ事ヲ済セシモノガ追々ト
多クノ人数ヲ要シ且ツ其事業モ著ク分レヲ生スルナリ
換言スレハ主命者ガ直ニ命令ヲ軍ニ執リセシニ反シ或
ハ冊事地方ノ事件ヲ報シ試ミ之カ為メ多クノ補
手ヲ要スルニ至リ遂ニ組織シテ政府トナルナリカクシテ
中央権ヲ握ル機関ガ下等ノ機関ヲ服スト
併合シ遂ニ一民ヲ一手ニ握ルガ政治機関
政治ニ於テ之ト共ニ其中央権ヲ握リテ機関（発達）力
益下情ニ遠ザカルハ免レザル所ナリ
如此一方ニハ

握ヲ集メ一方ニハ下情ヲ離ルヽノ有様ニテ調和スル
ハ実際上政府ノ事ト見エ氏発達ノ途ニハ右ノ如キ
キヲ免レサリキ而シテ[illegible]中央主権者ハ下情ニ
遠カルト共ニ其方ニ於テノ事務ハ益形式的ニ傾キ
其下ニ隔タル事相識ハ更ニ下リテ其下級ノ人ガ
実際ノ職務ヲ執ルニ至ルナリ整調機関ノ由
来ハ以上ノ如シ従テ考フヘキハ大数ノ調和機関タル羅
ヨリ下ミノ人民ニ至ルマデ会ヲ通達スルノ有様ニテ
此通信ノ為方ハ中央機関ノ起ルト共ニ政府上皇
共起ラサルヘカラサルモノニシテ其具部ハ律大ニ発達シテ飛脚ノ法
急事ナドヲ報知シタリシナリ更ニ進ミテハ電信ノ如キモノ
トナリ即刷物頒布トナリ遂ニ

方電信ノ如キ其之ヲ生セシメシ許ニテ足ラス
以上ノ事柄ナリト云ハンヨリハ古来通達ヲ貴ブハ政
治上ノ事件ヨリ先キナルハナシ今日ノ状態ニテハ通
信ノ進ミタル結ト動物体視ノ五感通信ニ
異ナルコトナシ故ニ整調系統中ニ神経之
ヘ其直接機関ガ内部ト西部ニ別ルヽコトヲ内部
ニ於ケル事ニテ生理モ外界ニ対スルモノヲ関
スルモトハ有様全ク相異ナシ一ル動物ニ上
千蔵ハ献ヲ避ケ動物ガ外界ニ対スル働作即
ノ働作ハ[illegible]モ変化自在敏捷如意ナラザルヘキモ補フル[illegible]
~~[illegible]~~ 又其機関ハ部分モ多数ナラザ

一カラクリ且多部分ハ相一致セザル一カラクリ又先見ヨリ
ナラザル未来ヲ慮ラザル一カラクリ約言スレバ偶然ノ御
作アルナリ内部ニ於ケル御作ハ之ニ反シテ單調緩
静ノ趣アリ唯一般ノ秩序平衡ヲ失ハザル様注意
スレバ足ルナリ（之アリテ）脳髄ノ高尚緊密ナル仕事
ヲナス部分ト精脳脊髄ノ方寸繊細ナル仕事ヲ
ナス部分トハ大ニ異リ先ヅ見レバ社会モ実ニ如此
外界ニ対スル機関ハ尤モ敏験ナラザル一カラクリ退練
ナラザル一カラクリ一詳ニシテ手足ノ如ク御カザル一カラクリ之レ践
外ニ於テ元師ナ要スレ陸機雅毒ノ雷作ヲ要スル
所以ナリ内界ニ対スル機関ハ之ト反シテ変化ハ
極メテ緩漫ニ自然又射的ナリ何トナレバ社会ノ

内部ノ事情ナレドモ甚事化決シテ急速ナル一カラクリモ
ノナレバナリ故ニ此場合ニハ非常ノ手段又ハ非常ノ精
密ヲ要スルコトナキナリ内部機関ノ善異ハ如シ
分レテ調整ノ機関ハ進歩スルト共ニ益分業
ニ分岐スルナリ今此ニテ各自職トスル所ヲ見ルニ又内部
ニテハ益々変化サリ調理セラレ依テ信用トイフモノ
目覚ヲ来リ又テハ銀行ナドノ様ノモノ生シ益分配
通ヲ借カニスルナリ
江上ニテ之機関ハ男ホ説明シタレ氏~~之ハ~~象物ガ
生存スルニ必要ナル条件ナリ社会ニ応用セシモノニテ
社会ニ又社会ノ特相アル故之ニ相応スル特種
ノ機関十カラクリ社会ノ異級ノ自ラ有セル

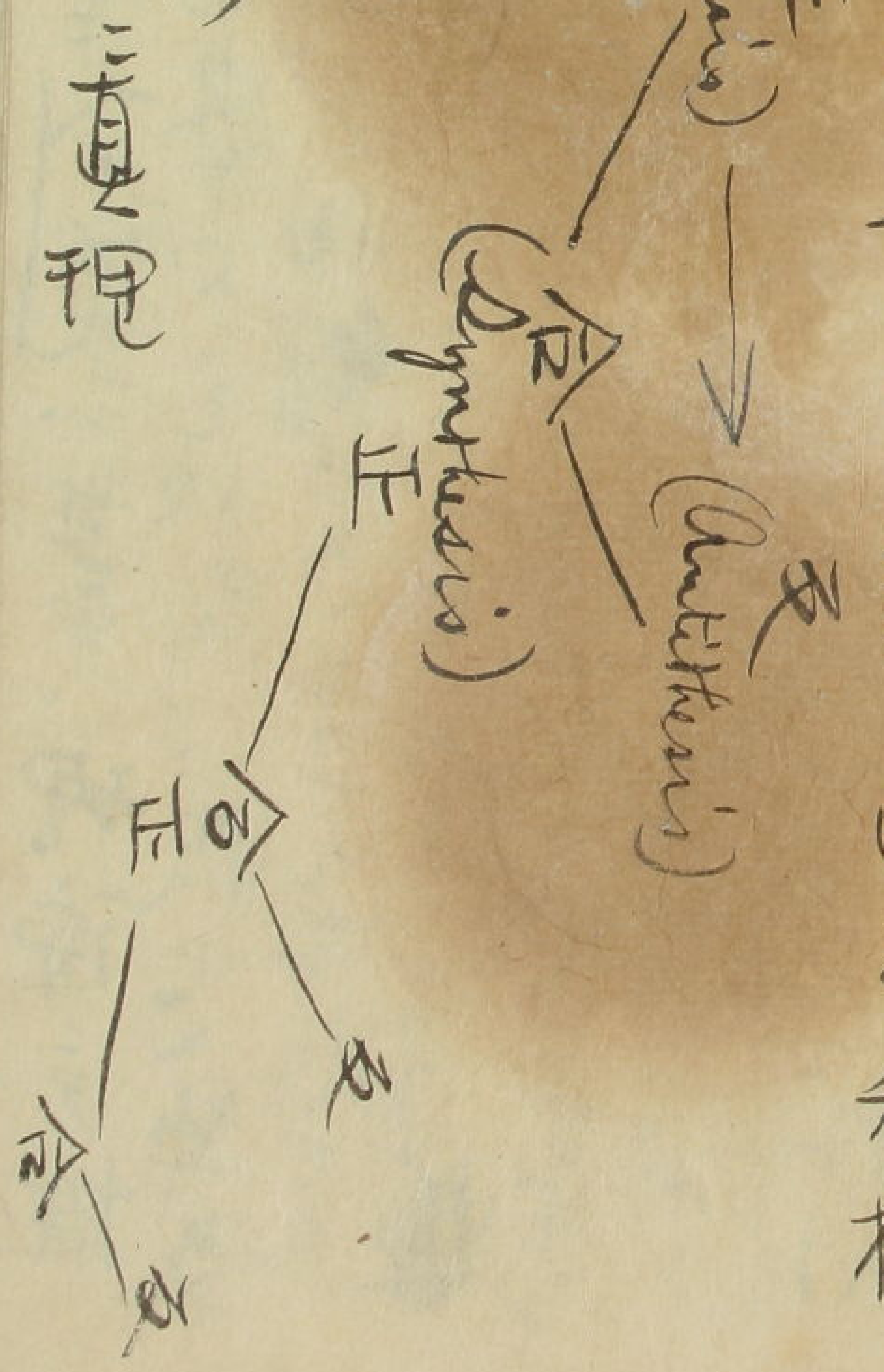
人生ノ最終目的ノ有無ト同シク論難多ケレバ
之ハ措クモ史ニ用ヒシ系統ハ人ガ之ヲ改良ノ系統
Amelioration ヲ當テシ
(四) 準改良ノ系統ハ進化法則ハ一般ニ行
ハレ居ルニ則遵ナキモ直行スルニ形ハ多様ニシテ一ナラズ
無機物ニハ無機物ノ進化法アリ有機物ニハ有機物
ニハ有機物ノ進化法アリ又直有機物中ニモ下等
動物ト人間トニハ直進化ノ趣異ナル一ケノ單
ニ一貫ノ進化ノ大法ヲ以テ上下ノ差別ナク一切ノ
モノヲ律セント欲セシトスルハ非ナルガ如シ現ニ進化論
者ハ社会ヲ以テ人間以上ノ有機物ト見做シナガラ
別ニ直特種ノ性質ニ於テ法則ヲ説カズシテ
單ニ一切動物ノ進化法ヲノミ之ニ適用シテ満足
セントセルハ何ソヤ之即チ單ノ此改良ノ系統ヲ立ツル所
ニアリ此系統ヲ立ツルトキハ社会上至要ノ現象ニシテ
屬スベキ系統ナキニ至ルベシ此論ヲ社会ノ生存シ行ク
ノミナラバ前段ノ如キ系統ヲ定ムベケレ共試ニ之ノミ
ニテ他ニ一物モナシト仮定セヨ社会ノ社会タル所以何
處ニカアル社会ハ實ニ下等動物ノ機械的生活ト異
ルナキニ至ルベキナリ此理ヲ知ラントセバ先ヅ下等動物
ト人間トノ間隔ニ見ヨ四肢五体ハ敢テ異ナル所ナキモ
其心的関係ニ至リテハ大ニ径庭アルニアラズヤ下等動
物ニハ僅ニ感覚アルノミナレ共人間ニ至リテハ靈魂
アリ此一点ガ如何ニ人間ニ至大ノ結果ヲ因生スル

カヽル思ハシ此ノ王妙ナル霊魂アル人間ノ結合体ナル社会ニ之ニ應スル学説ノナカルヘキ筈ナキヲ悟ルヘシ加之社会ハ更ニ人間ノ個々ノ御作タリモ異ナリテ宗教上学問上善悪道徳上教育上ノ本義ニ於テ見ルモ如斯ニ人ニ止ル相関ノ事件ニシテ個人ノ上ニハ決シテ見ルヘカラサルモノアルナリ今余輩ノ改良ノ学説ト云ヘルハ即此等ノ宗教学問ヤノ類ヲ指セルナリ之等ハ単ニ社会ヲ改良スルノミナラス一個人ハ之等ガ社会ノ内部ヨリ発展シ来ルノ及社会ハ之ヲ為シテ自カラ集ムモノ大ナル社会ノ一機関ニ由リ擁キテ皆ナルモノヲ務ムルナリ約言スレハ社会ノ精神的教育ヲナスモノニシテ之ヲ為スニハ促急唯一ノ

成果ヲ望ムヘカラサルモノナシ改良ノ学説タルモノ数ノ事業ヲ施設トナスノ学者古来多シト雖モ既ニヨリ解論取ルニ足ラサルナリ右ニモ述ヘシ如ク精神上ヨリ社会ヲ進歩セシムルハ此等ノ事業ノ力ニシテ之ナキトキハ社会ハ冷ナル死物即機械的ノモノト固ナリタルナリ又経済学者中ノ保護論者カ動モスレハ不生産的ナリトシテ之ヲモ顧ミス民ニ之ヲ知ラシメ実々ノ中ニ社会ノ組織ヲ為シ施ス直接至大ノ効果ヲ奏シテハ此レニ於テ之ヲ結局社会ノ社会タル真面目ノ宜シ此ノ系統ノ在ルナリ此系統ノ発達ノ結果ヲ要スルニ前ノ系統ニ先テ此系統ノ存在スルハ勿論誰モ見ルヘキナルモ二系統具ハリテ社会ヲ為

之上ハ其他共発生シ来ラサルヲ得サルモノ二三ノ一旦
発生スレバ年月ト共ニ分岐発展シ来ルモノ
以上ニシテ今社会ノ発達ノ事情ノ綱概ハ述ヘ
タリ若シ更ニ之ヲ詳述セントセバ生活ノ系統
ニハ衣食住ノ歴史説起ノ次第ナドヲ説キ之ヲ配
ノ系統ニハ道路交通ナドノ歴史ヲ説キ調和ノ系
統ニハ政治法律其他ノ歴史ヲ説キ以テノ系統
ニハ学問美術文学宗教ノ歴史ヲ説カザルベカ
ラズ之等ノ中必要ナルモノヲ之ヲ各論トシテ説クベシニ
至テ前四系統ヲ総スヘキ社会進化ノ論ヲ古来ノ
学者中ヨリ挙示スルニ
引用ノ論ヲ疑問、確定（一、二、三、）ノ説ヲ引

判ノ進歩ノ説ハ已ニ説キタリヘーゲルハ以テ社会ノ
進歩ハ三段開発ノ法ニ従フト云ヘリ即チ初メ
一事起レバ必ズ之ニ反対ノ事起リ遂ニ二者合シテ再
ヒ初メニ帰リ又之ニ反対ヲ生シ又合シテハ帰リ三段ニ循
環シテ極リナキモノトシ世ノ中ノ事ノ進歩ノ有様
ナルコト図ノ如シ
而シテ社会ノ
真理ハ決シテ初メ
ヨリ全ク発露シ来
ルモノニアラズシテ無究
ニ此三段ノ法ニ従テ
進ミ々々無究ノ後ニ真理



ハ表ハレ来レルナリト故ニヘーゲルハ世事ハ理論ニテ推究シ得ベシトシ歴史ナドニモ独断ニ流ルヽ弊多シ然シ此論法ハ兎ニ角動カスベカラザル法則ナルニ似タリ古来ノ歴史ヲ見ルモ其ノ段ヲ経タル跡モ少シモ逆ヲ不為其ノ間ノ如キモ一定シ居ラザル明カニ凡眼ニ知リ得ラレザルノミ　次ニハルトマンノ説ヲ述ベンニ氏ハ元来厭世家ニシテショペンハウエルト等ノ厭世家ナリ且厭世看ヨリシテ社会ノ進化ニ三階アリ之ヲ説キテ曰ク初メハ一切ノ事喜ビニ満タサレシガ二ハ之ニ反シテ辛苦ヲ感ジ将来ニハ喜ビノミノモノアルベキ望ミヲ掛ケガ三ハ終ニ至リテ始メテ到底社会ニハ辛苦ガ多クシテ喜ビハサナキモノナルヲ悟得スレナリト此説ハ感情ヨリ立論シタルモノニシテ其ノ第三階ハ如何ニモ真トハ一定メ難キモ第一第二階ハ動カスベカラザルノ真面目ナルナリ

之ヨリ言語学並美術文学ナドノ発達ヲ主ニ述ベ又他ノ政治ナドノ事ハ世間ニ之ヲ説キシ書多ケレバ略ス

言語ノ発達

(4)(1)言語ノ効用　(2)言語ノ紀元　(3)言語ノ発達
言語ノ種類ト様ニ分類スベシ

第一　言語ノ効用

言語ノ人間ニモ必要ナルハ言フマデモナキ事ニシテ

古来幾多ノ学者ガ人間ト他ノ動物トノ界線
ハ言語ニアリト云ヘルヲ見テモ知ルベシ言語ナクンバ
人間ノ智性ノ発達セザルナリ 言語ハ内部ニ向ヒテハ
自家ノ心性ノ発達ニ必要ナルト共ニ外部ニ向ヒテハ相互
間ノ関係ヲ結識シテ社会ヲナスニ必要ナリ 言
語ガナキタメニ発達モセン限リハ各個人ノ思想ガ如
何程マデ進歩シタレバトテ社会ハ進歩セザルナリ
[illegible]アリ言語ハ実ニ不可思議ノ
ノ器械ニシテ人間一切ノ事物ヲ気体トナシ
テ見ハシムルハ言語ナリ捉フベカラザル思想其他ノ
モノヲ出現セシムルモ言語ナリ過去未来ヲ其
時ノ流ニ従テ幾[illegible]ノ影画ニ描出スルモ言
語ナリ雖不鮮明不明一切ノ事件ヲ詳シクニ
見ハスモ皆言語ナリトシテ言語ノ効用ノ如何ニ
大ナルカヲ見ルベシ

第二 言語ノ起原

言ニ諸説アルモ古説ニシテ取ルニ足ラザルハ夫
ノ神造説ナリ前ニモ述ベシ程微妙ナル言語ナ
レバ到底人間ノ作リ得ベキモノニアラズ之ヲ以上
ノ神ガ造リシモノナリトノ説ナリ此説ノ信ズルニ
足ラザルハ前ニ人間ノ紀原ヲ神造ナラズト云ヘ
ルト同様ナリ 畢竟之等ノ説ハ理学ノ進歩セザル
前ノ事ナリ サレドマクスミユランナドモ此ノ如キ説ヲ
執スル故此ニ一寸一言シ置クナリ 次ニ人間ヲ本

来リ常ニ高者ノモノトナス所ノ哲学者間ニハ
言語ハ人間ノ理性ヨリ構出シタルモノナリトセリ
然レドモ近ニ近来ノ説アリテ理学者言語学
者ナドハ却テ言語ヲ理性ヨリモ先在ノモノ
トセリ言語アリテ始メテ理性生ズルナリ此ニ従
ハ何レカ先作レサルノ事ズ今語及動物ノ状態
ヲ案ズルニ下等動物ガ言語ヲ有スルニ至
ルコトハ思識スカラズ人間ニハ最モ共ニ言語ノ起ル
ニ走ルヲ待推ナカルベカラズ斯リ言ヘバトテ此持性
ハ絶チ理性ナキトハ言フベカラズ今テ仮リニ人間ヲ単
独孤棲ノ状態ニ在リトシテ推想スルニ一人限リナ
ルノ上ハ決シテ言語ヲ成スベカラズ動物ノ如クナラン
ヲ発スルコトハアルモ言語ニ至ラサルベキナリ勿論内ニ
理性ノ思想ノ構動タルモノアルヨリ之ヲ言語ニ
発セントハスルナルベキモ之ヲ発セシムベキ縁ナカルベカラズ
此縁ヲ何ゾト尋ヌルニ結句人間ニ社会的性質
即チ諸人ノ交際ノ必要アルヨリ言語ヲ発スルニ至リタルモ
ノト言ハサルベカラズ約言スレバ思想アルコトハ主
因ニシテ社交的性質ガ客縁トナリテ始メテ言
語成立スルナリ備テ言語ノ起原ノ因ヲ此ニ始
ンスレバ其起原ノ状態ハ如何ナリシカ
或ハ言語ノ始メヲ Sign language ト
即チ gesture language トシ符号ヲ作リテ
互ニ思想ヲ通ジタルモノトシ言語ノ始メナリト

然氏此説ハ破セラルヽナリ然ハ其ノ起原ハ多クハ
言語ノ分子アリテ後ニ之ヲ由ナリ一国体中ニハ
言語様ノモノアリテ之ヲ他国体ト交際スル場合
ニ通シテハ用ヒ難キヨリ之ヲ解セ便ナラシメン為メ符
号ヲ設ケタリ故ニ此説ハ言語ノ起原説トハ言
ヒ難シ真ノ起原説トモ言フヘキモノ二アリ一ハ
曰ク全ク諸物ガ外物ニ觸ルレバ音ヲ発スルガ如ク
人間モ外物ニ觸接スレバ声ヲ発シテ交際スヘシ
言語ノ起原ナリト此説ヲ字ニテ Ding-dong
theory トエフ此説ハ今日ノ学者ノ排斥スル所
ナリ畢竟空想ニ止マリテ論据ノ確タルモノアラサレ
ナリ全ク其ノ場合ハ如何ナル場合如何ナル時ニテモ畧ボ
似タル声音ヲ発スルニ人間ノミハ如何ニシテ異ナル雑
多ノ声音ヲ発スルヤ疑フヘキノ極ナリ他ノ一説曰
〇ハ前説ニ対シテ Bow-wow theory ト字ス
〇 Onomatopoetic theory ト称ス即チ名ヲ作ルトエフ
義ニテ模倣説トエフモ可ナリ人間ハ言語ノ起原
ヲ自然界ニ発スル諸多ノ声音ヲ模倣スルニアリトス
ルノ説ニシテ尤モ明確ニ近シ東西各国共ニ此
自然音ヲ模倣シタル言語多キナリ例ヘハ動物
ノ名目ノ如キ其鳴声ニ擬シテ附シタルモノアルカ如
キ之ナリラテンニクークートエヒ英ニカクートエヒ日
本ニホトヽギストエヒ支那ニ郭公不如帰トエフガ
如キ此好例ナリ其他カラストエヒ[illegible]トエフ

ガ如キ皆是リ又物ノ運動動作ヲ形容スルニ
モ直ニ此態ヲ擬模セシモノ多シ枚挙スルニ遑アラス
ナリ或ハ此模倣説ニ反対ノ論ヲ主スモノアリ曰ク
若シ果シテ言語ガ模倣ヨリナルトスルナレハ国ノモ
ヲ模セシナラハ各国共ニ同様ナラサルヘカラサル
ルニ実際ハ相同シカラサルハ何ソヤト甚タ攻撃
説ハ非ナリ本来模倣トスルモ受響的ニ精密ニ
有ノ儘ヲ寸分違ヘス模倣スルノ謂ニアラスシテ単ニ
畧ボ之ニ似タル意ヲ写シ以テ其本意ヲ思ヒ出サ
シムル組織ナレハ各々ニヨリテ真似ノ仕様又ハ始メヨリ
ノ聞キ様ナドモ多少相違アルヘキ筈ナリ約言
セハ受響的模倣ニアラスシテ人為的模倣ナリ

ナリ（マツスミユラン）モ模倣説ニ反対ノ論者ニシテ
牛ヲ小児ニ告ゲルニモーナル名ヲ以テスルニ実際牛ヲ
カウトカ ゲリトカ ゴートカモウノ所ニ之カ理由
トセリ然ニ此説ノ非ナルハ前述ノ説明ニヨリテ十分明
白ナルヘシ中ニハ単ニ其物ノ模倣ヨリモ一段廣義
ノ意味ヲ含ムモノアレドモ本トハ云ヘルモノ模倣ヨリ来
リシニテ夫ノ鳥トイフ英語ノ叫声トイフ意ヲ
含ミ之ヨリ鳥トイフ意ヲ示シタリト云フガ如キモ其本
鳥ノ叫声ヲ擬セシ方カ本ナリトイフヲ適当トス
又比喩ヨリ来レルモノ多シ例ヘハ加フルニ色ヲ換ヘ
モシ言語ナルモ之ヲ他ノ声トカ形トカニ転用ス
ルカ如キ之ナリサレド之モ亦直接ノ所ハ模倣

ニシテ似タル所ヨリ之ヲ使用スルニ至リシカ又感
歎詞ハ何レノ国ニテモ且始メ感動ヲ起ス叫声
ニシテ各相似タル所アリシ後代ニ及ラ之ニ種々ノ意
味ヲ附セシナリトモノモアルナリ以上ノ理由ナルヲ以
テ結局言語ノ起原ハ模倣説ナリ最モ確カナルモ
ノトナスモ尚他ニモ諸種ノ原因アルヘキハ勿論
ナルモ最大ナル原因ハ此所ニアルヘキナリ而シテ模倣ニ起
リシ其人ノ言語ハ世ト共ニ発達スヘキハ勿論ナ
ルカ故ニ時世ト共ニ変遷シテ便宜ノ為メニ或ハ
割キシ或ハ略サシ漸ク簡単ニ赴キテ原形
ハ跡ナキニ至リタルモノモアルヘシ又ハ原意ヲ
移リクテ他ノ意味ニ用ヒラルヽニ至リタルモノ例
ヘハ「パパト云ヘル語ノ如キモノモアルヘシ此例ハ言法ハ
ハ本来父トイフ意思ニシテ小児カ尤モ開口第一
ニ唱ヘ易キ語ナルカ為ナリサレト後ニハ父ハ子ヲ保
護ストイフヨリ転シテ保護トイフ意トナリ
タリサルヲ笑フヘキハ反対論者カ却テ之ヲ例トシテ
父母ト個ナル語ハ其本保護トイフ語ヨリ来レリトイ
フ之ナリ本末転倒ノ論トヤ云ハマシ

次ニ言法ノ発達

言法ノ発達ヲ攷スルニハ如何ナル種類ノ言法ノ発
達セシヤヲ究メサルヘカラス凡ソ未開ノ社会ハ之ニ相應
シタル言法ヲナシ人心ノ発達ト共ニ言法ノ状態モ
進マサルヘカラス思想ノ発達ノ順序ハ常ニ具ハ

体的ヨリ抽象的ニ赴クモノナルガ故ニ言語モ之ニ伴テ古代ハ抽象的ノ事ヲ見ルノ言語又ハ総括スルノ概括セラレタル者ヲ見ルノ言語ハナキナリ例ヘバ個々ノ牛ノ名ハアレドモ其種類ノ本ヲ総稱スル名ハナキガ如キ之ナリ 其他色ニテモ総名ナシテ単ニ赤色トカ黒色トカ云フモノアルガ如キモ其例ナリ

又古代蛮人ノ時ニハ区別ノ判然ナラザル言語アルナリ例ヘバ黒色ト青色トヲ混シテ一様ノ名ヲ用井タモノアルガ如キ之ナリ 現ニ日本ナドニテモ馬ノ黒キヲ青毛ト云フ類アルナリ 以テ言語ノ数ノ少ナカリシヲ見ルベシ 其他形容詞ナドハ尤モ抽象的ナルガ故ニ至リテ始メテ起ル 又後レトカ遠ヒトカ云フガ如キ語ナキナリ 又喜ビ情ヲ表スル語ハ大ニ発達シテ同情或ハ情ノ生ズルニアラザレバ起ラザル一キガ故ニ蛮人中ニ之ニ当ル語ナシ 又助動詞ハ蛮人中ニハナシ之ガ為非常ニ困リ遠キ語ヲ用フルニ至ルナリ 又副詞モ蛮人ニハナキナリ 其後見テ動詞ニ締メサスルガ故ニ動詞ガ長短ノモノトナレリ 又接続詞前置詞モアルヲ異ニセリ 已ニテ居詞ガナキヲ以テ文法上ノ形モ繁多ナラザルナリ 故ニ注意ス可キハ数詞ノ発達セザルコトナリ 蛮人ノ甚シキモノニ至リテハ一ト二ノ数アルノミ之算ハ二以上ヲ数フル人頗ル稀ナリ 又蛮人ノ数ヲ数ヘ得ルハ多ク手足ノ指ニ依ルナリ 故ニ十ト云フ時ハ手ト云フ語ヲ以テ表ハシ 二十ト云フ時

ハ手足トヲフ語ハ一人トヲフ語ニテ表ハシ民ト
言フ時ハ五人トヲフガ如クスルナリ結合セル言語ノ[illegible]数
ノ多少ナル民ハ発達シタルモノナリト云フ[illegible]
言語ノ意味ハ以上ノ如クナルモ其形即音声
ノ上ニテ言ヘバ国ニ亦時ヲ追テ音声ノ変化シ
従テ変化スルナリ夫ノ音便ノ如キ之ナリ此ノ如キハ
言語ヲ断片撰一ニ為サルトスルノ依テ来ルナリ
又言語ノ変遷ヲ助クルモノハ異言語人民ノ結交
ナリ之ヲ為スニ新来ノ言語モ混入スルアリ
モノモアルニ要スルニ言語ノ発達ハ初メ変化セシ
生シ之ヲ集メ之ニ意味ヲ附シ次ニ之ニ語根ヲ附加ノ
語声ヲ加ヘテ文法ヲナスニ適セシメ漸次ニテ言語

Central words
Sporadic 〃

ヲノ統[illegible]ニ此ノ如ク結合セシメタシ
語ヲ分解シテ諸種ノ独立ノモノトナスナリ結合シ
ト分解トノ二時代アリト知ル[illegible]勿論書紀見界
線ヲ引キ得ルニアラサルナリ
故細ナル言語ノ名数
言語ヲ分ツテ其発音ノ異同ニ因ルモノモアリ
意味[illegible]ニヨリテモ数モ之ヲ[illegible]文法上ヨリ
文字[illegible]ナルモナシ得ベシサレド今ハ其事
ノ巨細[illegible]ニシテ言語学者ノ部類シテ
従ツテ~~[illegible]~~概説スベキナリ言語ヲ大別シテ
ニトナシ得ベシ第一ヲ集中語第二ヲ分散語トナス
第一ハアリアン語~~[illegible]~~セルチック語ニシテ其ハ

Berber

他ノ言語ハ凡テ第二ノ部ニ入ル、非アリアン語ヲ
ハ又之ヲ別シテ(1)印度語(2)メドーペルシク語(3)スラボニック
語(4)チユートン語(5)ケルチック語(6)グリスコラテン語ノ六種
トナス、是等ノ言語ヲ用ユル人民ハ欧洲ノ殆ト全
部ト[illegible]…次ニセミチック語ヲバ五ツニ別ツ
テ(1)古昔ノアラビア語[illegible]アッスリア語(2)古代ノカナン
地方ノ語即ヘブリユー語[illegible]アラミアン語(3)古代ノ
アラビア語(3)此語ハマホメッド教ト共ニ之ヲ弘ク播
布セシメタル故ニ今日モ残リ居ルモアリ(4)古代埃
及語(5)ベルベル語トナス、今数語ノ中ニ亜非
利加語ウラルアルタイ語ナドハ言ニ此中ニモ研究
ノ行届キ[illegible]語ナク之ヲ分類

ニテ(1)チャイニーズ語(2)インディアン語(3)韃靼語ニ蒙
古語(4)タルタンノ語等トナス、尚此他ニモウラル
アルタイ語ニ属スルモノニテ研究ノ未ダ至ラザル語例ヘバ
アメリカ語ニアル語ナドアルナリ、支那語モ説ニヨレバ
此部ニ属セシムルヲ得ベシト言フ、我国及朝鮮ノ
語ハ文字モ大ニ異ナル所アリテ何レニ属セシムベ
キヤ詳ナラズ亜米利加土人ノ語ハウラルアルタイ語
ノ類ニ入ルベシトノ説アリサレド或ハ地方ニヨリテハ大
ニセミチック語ニモ似タル所アリテ未ダ明カナラズ故ニ
言語ノ分類ハ學上ノ如キニ之ニヨリテ又人類分種
ノ區別ヲモ推量シ得ル、畢竟比較言語學上ノ所
得ニ外ナラズ此分類法ノ外或ハ言語ノ構造

音ノ畢復トカ銘尾ノ書代トカニテ分ツコモアレモ之等ハ俳題ニ流ルヽヲ免レズ

以上ニテ言語ノ説ヲ了ヘ尚之ニ至密ノ関係アル文字ノ事ヲ一言スヘシ文字ノ起原ヲ案ズルニ彼ノ起原ノ模倣ニアルカ如ク文字ノモ亦模倣ニ出ルモノトミツヘシ今日ノ支那文字ガ象形ナルヲ見テ未開ナリトシ西洋ノ文字ハ音ヲ現ハスモノ故之ヨリ高等ナリトミルモノアレド西洋ノ文字トテモ固ヨリ其始メハ模倣ニ出テシナリ象形ニ出デシナリ換ヘ倣セシ形ガ時ト共ニ変遷シテ今ノ発音ノミニ言フモノトナリシモノ即アルハベト乃至いろはナリアルハベトヲ始メテ音表トミシハ余ノ臆ナリ

リ吾国ノ文字ノ形ノ多少相違スルハ直ニ民ノ性質ニ由来スルナリ猶直枝藝ニ巧拙種々アルカ如キナリサレド文字之ヲ書記スル器械ノ性質ニヨリテモ相違スルナリ例ヘバ鐘ニカナドニテ刻ムヲ常トセシ文字ハ自然楔形文字トナルガ如キナリ又文字ノ変遷ハ人民ガ未見ノ新物ガ象ヲ見テ在来ノ形象ヲ変セシニ由来スルコモアルナリ

○宗教ノ定義

宗教ノ事ハ頗ル大且困難ナリ近時宗教学ナルモノ起リタレモ未ダ其内何レヲ正トスルヤ判断ニカヽラズ今先ツ宗教ノ何者タルカノ説クニ宗教ノ定義ハ古来多ケレモ一致セズ又其

国民ノ宗教ノ異ナルニ従テ相違シ居ルナリ畢竟宗教ノ複雑ナルハ其事柄ハ研究ノ複雑ナルニ依ルナリ今吾等宗教ニ力アル人ノ説一二ヲ述フニシカレハ宗教即道徳ナリトヤリ[redacted]其意ニ曰ク吾人ノ義務ヲ知ルニ之ヲ神ヨリノ命トシテ知ルコトニハ宗教ナリト之ニ全矣又別ニ之レハ補ヒテナリ曰ク宗教ハ実際的ノモノニアラズ寧ロ認識ナリ而カモ尤モ高尚ナル智識ヲ云フナリ自[redacted]ノ尤モ深遠ナル精髄ヲ悟得スルモノナリ自己ノ心[redacted]ノ高尚ナル満足セシムルモノナリト此説ハ宗教ノ本来ニ近キモ知レズ次ニシュライアルマヘルナリ此人以為ラク

人間ハ或ル一物ニ規定セラルヽモ我等人間ハ之ヲ規スル能ハザルモノナリ故ニ人間ハ此物ニ絶対的ニ依頼スルノ的ナリトノ意識即宗教ヲ唱ヘタリト此説ハ基督教ニ尤モ能ク適セリ次ハヘーゲルナリ曰ク宗教トハ完全ナル自由ナリ又然ラザルベカラズ何トナレバ世人ノ覚醒ナル霊ナリ無限ノ時間ニ其作ヲ断見ニ表セナリ而シテ人間ハ実ニ此霊ト致スルモ故ニ唯一ノモノガ制限セラルベキ理ナシ従テ完全ナル自由ヲ有スルナリ之レ宗教ナリト之ハ純粋ナル抽象的ノ推理ヲ運用セシナリ空漠ニ失シ之ノ上ノ説ハ皆実際ノ宗教ニ適セズ之レ箇ノ説ナリ

一括シテ見ルモノニ近キ定義ヲナシタルハ佛国ノ
オーギストコント及他ノホ井ルバハナリ此二者ハ
多少相違アルモ畧ボ同一ノ説ヲ持チシ其
意ニ曰ク人ノ尊崇スル所ノ宗教モ究竟ハ自己ナリ
故ニ宗教ヲ尊崇スルト同時ニ自己モ又尊崇ノ
目的物トナルナリ　自カラ作リテ自カラ崇拝ス
ルナリ元来人間ハ人間以上ノモノヲ知ルコト出来
ヌガ故ニ最上ノモノトシテ信仰セラルヽモノモ此ノ範
囲ヲ出デズ但シ宗教[illegible]ノ神トシテ崇拝スル所ハ
個人ニアラズシテ概括シタル人間即チ人間ノ種族
ヲ崇拝スルナリ―ト故ニ斯ルトキハ宗教ハ必竟自ラ
己レヲ尊崇シテ之ヲ満足セシメンカ為メニ作

人間カ作ルモノナリトセリ此他哲学的ナラザ
ル普通ノ定義ハ神ヲ世界ノ支配者ト人
間以外ノ根元ナル無上ノ意思者トシ之ヲ崇拝セ
シ是レモミル氏[illegible]ヲ云ヒ又ハ人間ト人間以上
ノ勢力ノ関係ナリ[redacted]人間ノ及ハサルモノ
（但シ必シモ人間ニ存セザルモノトノ意ニハアラズ唯人間
ヨリ勢力ノ大ナルモノヲ云フナリ）ヲ崇拝スルナリトモ云
フナリサレド宗教学ノ創立者ト云ハルヽマクスミュ
ラー曰ク宗教ハ必シモ一定ノ義ヲ与フベキモ
ノニアラズ時ト共ニ発達進化スルモノナレバ随
意ニ生シテモ明カナリ故ニ定義ハ与ヘ難シ只
発達シ尽シタル上ニテ始メテ知リ得ベキナリ

ト[redacted]実際ハ誠ニ其言フノ如キ状態
ナレド研究スルニ當テハ一通リ之カ定義ヲ標ニ置
カザル可カラズ唯哲学的ノ定義ガ[redacted]ニ
[redacted]理ニ於テハ正当ニ近キカモ知レネド実際ニ合
セザルモノアルヲ知ルヲ要ス故ニ左ニ挙ケタル
最後ノ定義即チ人間ノ必要ヲ充シテ人間
ノ結果ナル心ニ満足ヲ与フルモノトスルト云フ説ヲ
取リタルナリ次ニ宗教ノ全体ニ就テ其性質
ヲ述ブヘシ
宗教ハ人間ニノミ限ルヘキカ動物ニハ之ナカルヘキ
カ一見スル所ニテハ動物ノ場合ニ宗教アリトハ
云ヒ難キモ進化ノ法則ヨリ見ル時ハ或ハ之
アルモノトモ云ヒ得ヘシ夫ノ犬ガ善ク主ニ服スル
場合ノ如キ之レ宗教的関係ナリト云フモノモアレ
ナリ然ドモ多数ノ学者ハ動物ニハ宗
教ニ似タルモノハアルモ宗教ナシ宗教ハ高等
ナル人間ノ心ニ至リテ始メテ発生セシナリトノ説ヲ採
レリ之ヲ今日ノ普通ノ説ナレド猶ホ十分ノ研究
ヲ要スヘシ次ニ宗教ノ所在如何如何ナル
関係ニモ古今東西常ニ存在スヘキカ此問題
ハ宗教ノ定義[redacted]解シ様ニヨリテ異ナリ
タル答ヲ得ルナリ狭義ノ宗教ヨリ見[redacted]宗
教ナキ国民アリトスル学者アレド廣義
ノ意味ヨリ見レハ苟クモ人間タル限リ

ハ在リトノ説無理由ナル迄モ宗教ガ人間ニ在
ラン限リハ在リトセバ以上ハ其発生ノ時代ハ
古キコトモ固ヨリナリ（マリスミュラン）ハ現今ノ世界
井トハ其古キサナ算シウルモノト思ヘリ
又ソレ宗教ガ如何ニ人類ニ勢力ヲ及ボセルカハ明
（ニシテ言フコトモナク如何ナルモ一宗教ヲ奉セサルコトナシ）
モ胸ノ内ニ已ニ其ニ宗教ノ勢力ヲ受ケ居レ
カ（マリスミュラン）ハ通リ人ガ宗教ノ力ヲ受ケズトスルモ
其人ハ不知不識ノ裡ニ之カ勢力ヲ受ケ居ルナリ
ノナリト要スルニ宗教ヲ有セサルモノモ其ノ感化ヲ受ク
宗教アルナリ又縦ヒ多人数ノ団一宗教ニ帰依
シ居ルモ各人自己ノ看念アリトコフコトカラナリ

何トナレバ人ノ性質習慣ナドニヨリテ其異ナル所一ナ
ラサレバナリ

宗教ノ起原　之ニ就テモ古来通俗ノ説宗教ノ
説甚タ多シ通俗ノ説ニハ或ハ宗教ヲ人間ノ発明ニ
帰シ古代僧侶人君ナドガ其土地ニ居ルモノガ下民
ノ人民ヲ籠絡スル手段ニ作リタルモノト[illegible]此説ノ
採ルニ足ラサルハ明カナリ世事多クハ自然ノ順序ヲ
通ニテ出来ルモノニテ突然一二ノ人力ニテ成就ニ
得ヘキモノニアラズ或ハ已ニ在ル宗教ノ素材ヲ集
メテ確カナル基礎ヲ立テ或ハ無形ノモノヲ有形
文字即経文ナドニ組織スル事ハ一二ノ人ノ手ニ
成ルコトモアルベケレド其本トハ之等ノ人ト

由テ成ルニアラザルナリ次ニ通俗ノ説ハ曰ク宗教ハ本来人間ガ野蛮ニシテ狂気ナリタル時ニ発スル幻象的ノモノニシテ健全ナル人間ノ心ヨリ出ルニアラズ宗教ハ病理的ノモノナリ神経病ト密接ノ関係アルナリト仏家ニテ古来一宗一山ノ開祖トモ呼バルヽ人ハ多少ノ狂気ヲ帯ビタル所アリテ或ハ神ト託語シタリナド言フモノアレドモサレバトテ之ヲ以テ宗教ノ起原トハ云フベカラズ中ニハ極メテ温静ナル性質ノ宗教モアルナリ其他竟上ノ学説的ニ宗教ハ純原ナリト説明スルモノアリ即チ人心ノ感情意識ノ作用中ノ一ヲ捉ヘ来リテ之ヨリ宗教ヲ生ズト説クモノナリ

其一ハ之ヲ智力ニ帰シテ曰ク人間ハ諸物ノ原因又原因ト追求シ極マル所宗教ノ如キ迷玄ノモノヲ生ズルニ至ルト此説ハ深奥ナルガ如キモ実際古代未開ノ状態ニアル世ノ宗教ノ起原トハ考ヘ難キガ如シ或ハ一部ノ原因ナルカハ知レネドモ唯一ノ原因トシ難シ其二ハ人間ノ恐怖心ヲ宗教ノ起原トナシテ曰ク人間ハ体力ニ於テモ心ノ力ニ於テモ微々タルモノニテ天地ノ高大ナル事ニ対シ到底自力ノ如何トモナシ難キヲ知リテ此ニ恐怖ノ心ヲ生ズ之レ宗教ノ起原ナリト極メ古来「始メテ神ヲ作ルモノハ恐怖ナリ」(Primae in orbe Deos fecit timor. — Fear made gods primary in earth. ナル場アリ此説モ両因ノ一部ナルヤ否ヤハ知ラズ氏唯一ノ共同因ト云フト雖ドモ他ノ説ハ曰ク宗教ノ源泉ハ精神ノ凡テノ能力ガ相寄リテ~~製~~作ル所ニアリ~~[illegible]~~

~~[illegible]~~トサレ氏宗教ノ紀元ガ徹頭徹尾主観的ニシテ客観的ナラズト断言シ得ザル限リハ此説モ完全ナラザレナリ宗教ノ事ヲ一ニ心ノ内部ヨリ生ズルモノトシ外界ヨリノ影響ハ更ニ無キモノトナスハ非ナリ宗教ノ起元ハ如何ニヤ主観客観相連シテ生ズルニアルベキナリ故ニ畢竟ハ此二者ヲ合シテ始メテ宗教発生スト云ハントス換言スレバ人間ノ内部

essence of wish
essence of nature

ノ情熱即チ希望ヤ恐怖ヤ等自ラ之ヲ起コス外界ノ経験~~ト~~ガ相合シテ宗教ヲ生ズルナリ故ニ一面ニハ人間ノ欲望ノ精髄ヲ又一面ニハ自然ノ精髄ヲ生ズト称スルハ可ナリ此ニ一モ因説ナリ此他宗教者ハ宗教ヲ神ヨリノ造レルモノトセリ之ヲ文字通リニ学理的ニ解スレバ言フニ足ラズ説ナレド之ヲ深奥ナル意味ニ解シ人間ノ節神ノ心故神力造リタルモノナリトセバ常ニ一カラザル真理ノ一部ナリ故ニ之ヲ宗教学者間ノ説ハ文字通リノ解釈ニテ非難スルハ無理ナリ科学的ニアラズシテ宗教的ナレバナリ依テ之ヨリ宗教ノ起原ヲ歴史的ニ研究シテ試ミム

一此方法ハ或ハ発達ト紀元ト混ズルノ故~~由~~
アルヲ注意ヲ要ス宗教ノ起原ヲ極メ見ルニ前
ニ述ベタル内界外界ノ内~~生~~孰レカ先キナ
ルカヲ先ヅ二説アリ一ハ外界ヲ先キトシ外界ノ印
象ガ他ノ心状ヲ喚起ス故ニ外界ガ直接ノ原因
ナリト他ハ内界ヲ先キトシ吾人ノ経験ヨリ希望
恐怖ヲ起シ此内界ノ心状ガ原因トナリテ宗教
ヲ生ズト歴史上ヨリ見ルモノニ之ヲ斜口ルノ役ヲ
述ベンニ太古ニテハ霊魂（モ云フ）（キモノ）ガ肉体ヲ
離レテ存スルヲ考フルト同時ニ宗教（心ヲ起リシ）
ナリ又何ニ由リテカ霊魂ガ体ヲ離レテ存ス
トノ考ヘガ来ルカトイフニ天地ノ現象~~[illegible]~~

ヲ看ニルヨリ来ルモノニシテ此思想ハ一面宗
教ノ起原トナルト共ニ哲学ノ起原トナル
~~[illegible]~~リ左ノ如ク霊魂ヲ原
トナスヲ霊魂教トミルト又曰ノカリ霊魂
ノ他方ヲ看ニルハ人間ニ霊魂アルト共ニ此外ニ
又一ノ鬼神ト称スベキモノアリトノ考ヘ思想
ニルニ起ルト之等ノ説明法ハ大ニスベキナリ
明法ト似通ヒタリ只スレバ之ヲ心理的ニ説明
セシナリ原人ニハ躰心二者ヨリ成レルガ故ニ此人ノ法
ヲ人ガ拝スル即チ死シタル人ヲ拝スルガ宗教ノ
本トスルナリ斜口ルハ祭ラズ死人ヲ拝スルト共ニ
又動植一切ノモノニモ推シテ霊アリトシテ之ヲ

拝スルコトアラントスル者少ナリハ之ニ反シテ動植以
下ノモノニハ霊ナシトシ唯人ノミ霊ハ然レモ
体ニ伴フモノニアラサルカ故ニ時ニ或ハ動植物ニ
移ルコトアルヘシトスルナリ然モカク現象ニ拘
ハリ過ギテ宗教ノ起原ヲ知ラシモ所人崇拝ニア
リトスルハ非ナルカ如シ其ハリーナドハ更ニ古ヘノ
太ノ霊魂教ニ先テ人間ハ常ニ高大ナルモノヲ拝
スルノ感情アルモノニテ家族ニテ長老ニ対スルカ
如キモノニ対スル情乃チ之レカ宗教ノ起也
卑トナレリ霊魂教ハ人間ニ火ノ発明十中個人
起リ得ルナリ蓋シ人ニハ火ハ一種奇怪不思議ノ念
ト考ヘラレシニ此通ナカルヘリ之ヲ霊魂ノ作業ニ

帰スルニ及テ始メテ霊魂ノ存念起ルヘシト之ハ宗
教ニ火ヲ重スルモノアルヨリ立論シタル説ナリ火ノ
起原果シテ極蛮野ノ時ニ後ルヽトスル限リハ
此説モ可ナル所アリ今日通常ノ学者ハ大ニ極蛮
人中ニハナカリシコトヲ許スナリ次ニ又之ヲハ凡物
教ハ宇宙ノ最初動力トシタル即凡テノ物ハ皆
拝スルニ至ルトノ念ヨリ来ルモノ
蓋シ人ガ凡物ヲ拝スルニハ四因アリ凡物ヲ実
際アルヲ有ル大ノモノト考ヘル事凡物ニモ人
ノ如ク霊アリト考ヘル事凡物ハ人ノ吉凶禍
福ヲ支配スルヿ凡物皆人ノ用ヲ為スカ故
ニ感謝ノ念起ルヿ之ナリ之ヨリ凡テノ

物体ヲ拝スルノ民竟人ニ生スト勿論ニ言ハサレ
物象即悪ノ物体ヲ拝スルモノト霊ヲ拝スルモ
ノトハ同時ニ生シタルモノトスルナリ　左ニ挙ケタル
四因由皆不到動ノ説ナリトハ云フヘカラサルモ多
クハ竟人ノ心情ニ起リタルモノナリ次ニマリスエル
ハ前モノ説ヨリハ風変リシテ
スピリチユアルノ倫理トモ言フヘキモノナリ基督
ニ曰ク宗教ノ起原ハエフサーナドリめクヨリ理論
畫メニテノ説明モ亢ヘキモノニアラズ単ニ自然
ニ感得スル情ヨリ生スルナリ蓋シ人ハ固ヨリ段
今ヲ作ル能ハサルモ自然界ニ対シテハ無限
トテフ知覚ヲ直覚スルナリ之レ人間ノ

人間タル所以ニシテカク無限大無限ノ旨意
生ニシテ始メテ宗教起ルナリト要スルニ煩雑
ナル経験并理論ナドヲ捨テヽ人間ノ本性
ニ帰セシナリ　此説ハスペンサーノ説ヨリハ大ニ変
改セルナリ即チ人間ノ幼稚未開ノ時代ニ決
シテ無限ヲ感得スルノ力ナシトスルナリサレド
人間ニシテ始ヨリ已ニ無第ニタメ少霊妙ナル所
ナルヘカラズ竟人ヲ直チニ禽獣視スルハ非ナ
リ　マクスミユランノ説ハ稍穏当ニ近シトイフヘシ知力ノ方
面ヨリノミ言フトキハ到底サノ説モ否ムヘカラストモ
凡人間ニハ能力ノミナラズ直覚トカ感情トカ
云フモノアルヘキナリ

宗教ノ発達

宗教ハ[illegible]以前ノ様ヲ詳ニ知ルノ方便サヘナシ故ニ完全ニ発達ノ次第ヲ知リテ推シ且ツ記録ニ載セラレン宗教ノ事跡ヨリ僅カニ之ヲ研究スベキノミ（マタ之ヲ記シ）ハベシ記載セラレ即チ古代ノ宗教ノ様態テ研究スルヲ尤モ可ナリトセリ氏ハ太陽ヲ神トナスガ即チ古代ノ宗教ナリトシ之ヨリ発達シ行形ヨリ進ヘテ月ノ如キハ一ノ太陽ナガラ内側ノ見合ニヨリテ其形状一ナラザルヨリ数ノ太陽多ノ[illegible]太陽トカニテ其名ヲ異ニシ之ヲ別々ニ神トシテ祭リタリ故ニ神モ多クアリシナリ又太陽ヲ物質的ニ考フルヨリ或ハ一乃至七足ノ馬ニ索カレ、車ニ乗リ居ルトナシ又太陽ニ靴アリ妻子アルトナシ又ハ太陽ヲ神々ノ最上カ眼トカト定メ又夜分ハ太陽ノ車ノ馬ノナキ時ナリト云ヒ又太陽ノ毛髪ト手足トカハ光テ黄金色トナシタルヲ見ルサレド漸ニ進ムニ従テ稍高尚ナルモノト考フルニ至リ太陽ヲ君ノ如キ不滅ノモノニアラズ其光リハ吾人ヲ眠リヨリ起コシテ之ニ新生活ヲ与フルモノト考ヘタリ是レ第一変ナリ次ハ更ニ進デ全体ヲ長人ノ生活ヲ主宰スルモノトナスニ至リタリ之第二変其後ニハ吾人ノ肯ノ上ニ来ル昼夜ト休介ル総テ日ニ起キモノニテ柵ヒ去リ異シ且ツ温暖ナル

ニテ衆物ヲ保護スル任ニテ統制ノモノナリ
ト之レカ四ニ変ナリ次ハ太陽ハ守ル所ニ無カリ
居ルモノ故下界ノ善悪ヲ見透シ居ルナリ従テ
人間ノ善悪ノ応報ヲ以太陽ガ守リ居ル故
俗世ニテノ幸不幸ハ逃ルニモ逃ゲラレモ尽
ドトスレカ四変ナリ太陽ヲ崇拝スル人ハ心
ノ変遷ハ暦ガ此ノ如クシテ移リ行クモノト云フ
フテ不可ナシ又他ノ子孫ハ宗教変遷ノ次
オヲ従テ日々ノ初メハ物体其侭ヲ拝スルモノ
ナリシモ追々之ヲ人体ノ偶像ニ入レ人間ラシク
シテ拝スル事ルナリ之レ究竟如此有者ト
セサル中ハ人間ノ道徳心ヲ満足セシムル能ハ
サレバナリ此ニ因ニ迷フベキハ徳ト道徳ト宗教ト
ノ相異ナリ或ハ二者全ク一ナリトスルモアレモ
之ハ非ナリ ~~[illegible]~~ 何レモ人心ノ自然ニ出ツル
モノナルモ多少相異アルハ分離セル民
ノ状態ニ於テハ道徳心ハ未ダナキナリ宗
教ニ道徳ノ分子素ノ入ルハ稍ニ進ミタル
後ノ事ナリ又此メハ道徳ヲ宗教トシ神ハ多
クノ力ヲ有スニ尊カリシナリ後自然神
ヲ崇拝スルノ徹シクナルヨリ遂ニ道徳神
ノ性質ヲモ之ニ合併シテ其勢力ヲ呈シ神ハ
トナルニ至レルナリ 耶蘇教ノ如キハ一神教ニシ
テ此メヨリ宗教ト道徳ト同一体ナリシモナシ

トテ全ク古代ノ自然科學ノ途ナキニハアラズ天使ヲ拝シ狗狐蛇ヲ拝スルガ如キ者ナリサレバ一神教ト多神教ト何レカ先ナルヤ一神教ハ先ニシテ多神教ハ後ナリ多神ノ教ニハ自然民族ニ多キ汎神教ナル一物ヲ拝スルモノ起レリ又一神教ト両神教トハ何レカ先キナルカ殆ト同時ニ起レリ又汎神教ハ後年益盛ナルノ傾キアリ要スルニ宗教ノ發達ハ宗教ノ性質周圍歷史人民ノ進等自然ノ區別ニ隨テ差ハアレ宗教ノ分數之ヲ大ニ人種ノ上ヨリスルトキハ容易ナルモ宗教ノ性質上ヨリスル時ハ困難ナリ即チ其宗教ノ上ヨリ分ツハ安ク特性ノ上ヨリスルハ難キナリサレバ前者ハ學術上便宜ナレトモ後者ヲ採ルヘキナリ前者ハ系統的分類ナルモ後者ハ形体的分類トス今ハ形体的分類ヲ述ヘントス形体的分類ニテモ之ヲ述ヘンニハ自然宗教ト啓示宗教トヲ分ツコトナリサレド此区別ハ非ナリ宗教其レ自身ニ直ニ傳ヘル人ヲ連ナルモノニハ自然宗教ト啓示宗教トノ区別法ナリ之モ非ナリトスソハ何トナレハ近代ノ宗教ニテ現宗教ト称スルモノモ結局自然宗教ノ区ニ入ルリテ之ガ人心ニ感染スルノ理キヲ要ナ

ドニ現ハルト思フモノナレバナリ次ニハ普通ノ宗教ト個人ノ宗教トノ区別ナリ即前者ハ進化シ来レルモノナリ自然ニ発シ伝説ニヨリテ発達セルモノ後者ハ一個ノ人カ始メシモノトノ区別ナリ此区別法ハ今ハ採用スル学者モナシ之モ非ナリ理論的ニアラザルナリ次ニハ多神教ト一神教トノ区別ナリサレド単ニ此ニ標ノミニテハ尽サレズ汎神教ノ如キモ別ニ出来ル其他アルカレバナリ以上ハ皆穏当ナラザル分類法ナリ精神的ノ区分法ニ[illegible]理性的宗教ト審美的宗教倫理的宗教トナスモノアリ之ハ稍適切ナルカ如シ仏教ヤ基督教[illegible]ノ如キハ理性的ナリ帝解ノ如キハ倫理的ナリ分論中ノ一ニ属セバ他ニハ入ラズト限ルハ非ニシテ或ハ三素何レヲモ含ムモノモアルベキナリ次ニハ感情上ヨリ分シテ鎮静主義ト狂熱主義厭世主義ト楽天主義トナスモノアリ之モ一部ハ真理ナリ次ハ世間的宗教ト出世間的宗教トノ別ヲナスモノナリ一ハ世俗的一ハ[illegible]難行苦行的ナリ之ハ道徳ノ上ニテノ区別ナリ次ニ宗教ノ形式上ノ区別ニハ彫刻ニ富ムモノト音楽ニ富ムモノトノ別ヲナスモアリ次ニハ広ク行ハルヽモノト局所ニ行ハルヽモノト即特別ナルモノト一般ナルモノトノ別ナリ之モ真理ノ一部ナルニハ相違ナキモ二者ノ区

判明ナラザルナリ此ニハ自然的ト道徳的
トノ別ナリ此多数ハ必モ規模大ニシテ善ク行
ハルヘキモノナリ之ニハワーゲル ルトマルチン ノ多数ナド
法アリ又学者ノ目的物ニヨリテ分ツモノアリ之
レハ宗教ノ性質ヲ説明スルニ足ラザル也之ニ角
便利ノ性ナリ之ニハ感覚上ノ崇拝物ノミナト
感覚ニテハ知レサルモノトノ二アリ前者ハ尚分
動物ニシテ直接ニ觸感シ得ヘキモノ例ヘバ金石土木
[illegible]物ナドヲ崇拝スルモノト半觸感ノモノ
例ヘバ犬風雨ナドヲ崇拝スルモノ之ナリ後者
ハ全ク神ノ性質ヲ有スルモノナルモ之トテモ通
常ハ符号ヲ以テ之ヲ代表セシメ觸感シ

得ヘキモノトシテ拝スルナリ全然偶像[illegible]後者ヲ除
キテ拝スルハ余程進ミタル社会ナランカラ
結局全ク觸感以外ノモノヲ拝スルトミ
ハ困難ナリ夫ノ全天地ヲ神ノ許與ト見
テ拝スルモ之ヲ説スルモノナリ故ニ此分類
法ハ宗教学理上ノモノトシテハ完カラザルナリ
前者ニ述ヘシ一般ノ分類法ハ不完全ナリ
(1) Nature Religion ニシテ更ニ分別シテ
Stufe) The immediate religion (Wundt)
即巫術ニシテ直接ニ神カ人ノ間
他諸種ノ物体ニ憑レルモノトスル学者 (2) The
deification ナリ

此substanceハ自然ト云フ
程ノ意味ナリ 自然教トモ云
フヘシ

consciousness in itself — Religion of Sub-
stance 之ハ更ニ大別シテ (a) religion ノ感應
ヲ meditative 即チ計算數ニシテ支那ノ
教ガ善惡ノ應報ヲ計算上明カニ證知シ得ヘシ
シトスルノ類ナリ又近代ノ物理宗ガ因果ヲ支配
ノ心理一定セルヲ唱フルニ似タリ (b) religion
of meditation 即八宗モ云教ノ出世間ノ空
想ヲ抱クガ如キ類ナリ (c) religion ニテ
self-absorption 即佛教ノ妙悟ニ入リ
テ寂滅ニ帰スルノ類ナリ ノミトスル之等ハ皆神
ノ勢力トスルニシテ自然ノ勢力ヲ信スル宗教
トナスナリ (3) Nature religion ハ一種

transition 即 the religion of freedom
一ハ struggle of subjectivity 之ハ客ノ二者
中ハ客觀ニ流レ他ハ主觀ニ流レ
ヨリ之ヲ合セントシタルナリ 主觀ガ客觀
ニ流ルルノ宗教ナリ 之モ三別ス 即 (a) religion
of the good of the right. ナリ ペルシア
教ナド其例ナリ ニシテ神ヲ Ahura Mazda
即善及惡ノ神ヲ支那ニテハ陽ノ神モ
云フモノ及 Angra Mainyu 即惡ノ神苦
ハ陰ノ神トナス之ヲ陽ハ善キノ神ニ加
相互ノ争キモノト (b) Religion of Pain
云フ印度ノ宗教ナド(佛)例ナリ (c) of Reli-

gion 之ノ族ノ宗教ガ諸種ノ偶像ヲ崇[illegible]神ノ代表ナリ[illegible]ナリト云フ数ヲ指セルナリ 第二 Religion ハ Individual religion ニ全ク自然教ニ反対ニシテ人類ヨリ発シタルモノナリ之ヲ三別ス (1) Religion of humanity 即天地ノ高大ヲ感シテ之ヨリ作リシモノニシテ猶太人ノ宗教ノ如キ其例ナリ (2) Religion of ~~希~~ beauty 即美ヲ感シテ作リタルモノ希臘ノ宗教ノ如キ其例ナリ恰カモ詩人ノ作メルガ如キモノ之レ希臘ノ宗教ナリ (3) Religion of purpose or reason 即世界ノ

1) naturalism 自然教
2) supernaturalism 靈妙教

実用目的ヲ以テ作リタルモノ例之羅馬ノ宗教ガ他ヲ征服スルニ従ヒテ作リシモノノ如キ之ナリ 以上ハ第一匠第二文ナルカ故ニ分ノ大別ニシテ第三ハ合ノモノ即全ニ若シ合ニシタルモノナリ之ヲ Absolute religion ニシテ耶蘇教ヲ指セルナリ 如是西洋人ノ解見ナリ又別ハカノ分類ニ从ト共ニ分類法ノ中ニモ已ニ業ニ異説見シ居ルトキハ見識ナリ然モ必シモ然ラザルナリ

次ニハルトマンノ分類法ハ第一自然教ニテ自然教ト超自然教トヲ分ツ第二ヲ更ニ三別ス (1) naturalistic henotheism 凡神教

無神教ハ天地ノ万物ヲ造ニ神トシ凡物ヲ為トハ土木金石ナドノ凡下ノモノヲ拝スルモノナランナリ

ノ一種ナリ神トミツモノヲ拝スルニ及バズシテ凡下ノ物体ヲ拝スルモノ即土木金石ナドナリ拝スルモノナリ(2) Anthropoid Spiritualismus、ニ Theism ハ凡物ニ精人ヲ的霊魂的ノ味ヲ加ヘタルモノニシテ[illegible]シテ(4) Aesthetic religion 希臘ノ宗教ノ如キモノ(5) Utilitarian naturalism 即羅馬ノ宗教ノ如キモノ(6) Theistic, Ethical Pantheistic religion 即英雄ノ崇拝ノ如キモノヲ拝スルモノトナス(3) [illegible] 之ニハ埃及ペルシアナドノ宗教 [illegible] ヲ含ム但シ此三者ハ実ハ半開[illegible]ナルモノニシテ

宗教学ニ於ルモノナリ神ニヨリテ区別シテ(1) Abstract Animism ニ三哲学者ナドナル(2) Theism 耶蘇教ナドト之ナリ又モセスノ流教ノ如キ之ナリ又耶蘇教即 Realistic religion Idealistic ノ如キ之ナリ耶蘇教ハ仏教ナドトハ異ナリテ神ノ存在ヲ始ヨリ信ズルナリ以上二家ノ説ハ理学ノ方ニ傾キタリ宗教学ノ方ニ傾キテ[illegible]ハ[illegible]ノ分類法モ神一自然宗教神二倫理宗教トナス更ニ之ヲ分別シテ自然宗教ヲ

(2) Polydaemonistic magical religions under the controle of Animism (Religion

of daemons）之ハ其名ノ示ス如ク魔鬼ナド様ノモ
ノ即チ一種不可見ノ魂魄ノ存在ヲ信ズルモノニテ
其最上神ハ火トカ水トカノ如キ勢力アルモノ凡
ヲ主トスル大（但シ之ガ現化ハ勿論種々ノ形ヲナシ来
ル一キリ）此宗教ニ三ノ階級アリ一ハ混雑不明ナル
ヿ即天ニ神トカアリトカ何トカ云フヿヲ認メタル者二ハ目下ノ
物ニ魔神ノ勢力ヲ及ボスヿヲ認メタル者三ハ魔鬼神
ノ人間ニ下ス罪科ヲ避ケ又ハ幸福ヲ由シト自
己ノ目的ヲ以テ神ヲ拝スルヿヲ認メタル者之等ノ
特性ヲ兼ヘ人為ノ宗教ニ近ルハ大ニ遠サルモノナリ
（二）Purified or organized magical reli-
gion（Therianthropic Polytheism）之ハ自然ノ
物ニ霊妙ノ力アリトノ信仰ヨリ一歩進ミテ
神ハ人間ノ形或ハ動物ノ形ヲナシテ化現ストスル
ナサレド其本トハ失ハズ一種ノ霊力ノ作用ト
スルナリ又魔術ナドヲ採ラサルモ祈念ヲ云ヒシモ
ウシ其場合ニハ不可ナシトスルナリ此今ハ更ニ小
別シテ神ヲ地方ニヨリテ組織区別サレサル道徳不
完ノモノヲ云フ日本ノ宗教アラビヤナドノ古代ノ宗教
シ（しより）組織サレテ一国内ハ凡テ之ヲ奉ズル
書契モ宗教ノ形ヲナシタルモノ（其内ニハ支那
宗教埃及希臘人ナドノ宗教ヲモ入レタリ之カ系統
シテ二部ニ分ツトナリ又宗教國府ナル作ル様ノモノ
モ交ナリ）トナモノ（三）Worship of Families

ジャイナ教ハ
婆羅門教ト
佛教トノ中間
物ノ如キモノニシテ
刹利ノ族ニテ
ハ佛教ハ婆羅
門教ヨリ分派
ニ移リ其後ニ
発達セシモノ
ト云ヘリ

直接物崇拝ヨリ以ハ一類ナリ　希臘　印度
カルデア　ベクトリア　フェニシア　カナアン　ナドノ宗教ハ此
類ニ入ルモノナリ　次ニ倫理宗教ヲ二別ス
① national nomistic religion ニハ法
律上其他貴重ナル書物ナドニヨリテ一定セシ
居ルモノニシテ此派ニ於テハ已ニ神ハ霊魂動植
物ナドヨリ離ルナリ全ク道徳上ノ理想ヲ持
スルモノナリ此中ニハ儒教道教[illegible]教婆
羅門教佛教ノ前説ナドヲ入ルナリ又モーセス教モ此
ノ類ニ入リテ民族的ノ性ヲ有スルモノナリ又猶太教モ
同様民族的ニテ未ダ世界的ナリシ意ハ含マレサリ
シナリ ② universalistic religion ハ之

But superhuman and semi-ethical
deities ハ之ハ自然教ヨリ倫理教ニ入ルノ
過渡ナルモノニシテ神ハ前段ノ人間以上ノ力ヲ
有スルト共ニ一面ニハ人間ノ倫理的性質ヲ有
スルモノトナル又神ハ人間ノ有スル一切ノ事ヲモナス力
故ニ随分悪キ方ノ事ヲモナスナリ故ニ[illegible]自然
ノ大勢力ト人間ノ力トノ合シテ成立セルモノ神トモ
云フベク一方ニハ人間ヨリ高尚ノ倫理的ヲ有ス
ナルト共ニ他方ニハ自然ノ性ニ任セテ無闇ニ悪
事ヲモナスナリ又各國ノ古代ニ神ノ許リ[illegible]
エホバアルハ多クハ其宗教ノ產物ナリ其例ハ希
臘ノ詩ナリ其人物ハ人間ヲ理想ニシテ神ナリ故ニ

猶太教 ―― ヱリオニツ ―― 耶蘇教

猶太教
耶蘇教 ―― マホメド教

ヴェダー ― 婆羅門 ― ジアイナ ―― 佛教

又マホメッド教、佛教、耶蘇教之ナリ此等ハ
仍テ宗ヲ實上全宇宙ニ弘マリ居ル筈ナルモ
未ダ用一國民一地方ニ限ラレサル及ビ若キモ
ノ如ク完全ヲ得ケズシテ一宗ヲ創リ完ヲ求メ之
ヲ信スルモノハ何レモ之ニモ執シ得ル様弘布ノ性
アルカ故ニ宇宙宗教トハ名ケシナリ國民的ト宇
宙教ハ最畫[illegible]ハ立テ難シ又世界宗教トモ云フ氏
其他ハ多ク國民的ノ性質アルモノニテ之ヲ
発達シ来ルナリ　千[illegible]八十四年キユーラ子ルノ調
ニ宗教ノ比例ハ耶蘇教徒ハ四三二萬
一二嘆、猶太八萬、佛教五〇〇萬、婆羅門一三八萬 マホメト教
雷魂教二[illegible]萬 余一四三五萬 ナリトス

○

美術の起源並發達

詩歌ノ起源ハ言語ニアリテ殊ノ一種特別ナル
形ヲナシテ発達シタルモノニシテ詩歌ハ故ニ言語ノ語
韻ノ詩、音楽ト合シタル歌、皆其原トハ一ナリ今日ノ
古人ノ詩ハ活中ニモ注意シテ換ヘタル詩歌ノ分子ア
ルコト明カナリ即チ感ノ深キ所意ノ強キ所ニハ
自カラ強音ノ語ヲ用ヒ其他抑揚調和セシメ
タル法ヲ用ヒタリ又漢人ニハ宇宙ヨリテ新様
ノ文ナドニ言語ヲ用ヒタル感激ノ語多
キヲ詩歌ノ始メト為シタリ最モ尚ホ宇宙
的ノ新様文ナドトナリ又古代ノ詩歌ハ多ク
口傳ナルカ常ナリ記憶シ易キ口調ヨキモノ

ナラサルヘカラズ又音数ノ定アルコトハ稍発達シタル事ナリ然氏其古ヨリ定アルモノナルコト明ナリ印度ノ韻則ナドニモ之アリ又フサシテモナドニモアルナリ希臘羅馬ハ之ヲ定ムルニ音ノ分量ヲ以テシ後代ハ節（アリモシト）ヲ以テシタルモノナリ又アクセンシオンモ盛ヲ為シ絶エテ東西両國ニモ之ヲ好デ用ヒシ至アリ又韻ヲ踏ムコトナシモ後ニテ生ゼシナリ韻則ニテハ~~中世ノ詩歌~~~~[illegible]~~ニテシ詩ナドヤ之カ始メナルヘシ始メハ完全不熟練ノモノナリシモ中世ノニ達スル程ニ及デ大ニ熟練モシモノトナリタル又詩歌ヲ朗読スルハ余程後ノ事ニシテ本来ノ性質ハ語ルヿ謡フヿナランモノト知ルヘシ

音楽ノ発達

音楽ノ事ハ詳細ハ専門家ニ譲ラサルヘカラズ元来音楽ノ音楽トシテ成セシニハ音ノ高低ヲ知リテ之カ法則ニ定メ音ノ標準ヲ立テタル後ニアルナルヘシズ音ノ標準ノ成立セシハ甚タ始メニハ一ツノ如キモノヲ華人カ使用セシニ甚キモノナルヘシ今日ノ調子モ之ヨリ発展シ来リタルモノトスヘキナリ音楽ノ起始ノ状態ハ一種ノ音ヲ前後ニ調子ヲ付ケテ蝶ニシモノニシテ之ヲ一度ニシテ多ク

雅ノ音ヲ集合シ以テ今日ノ如キ音楽ノ
雅楽トナセシハ後ノ事ナリ即チ詩ヲ更
ニテ之ヲ言ヘバ[illegible]ガ先キニシテ
[illegible]ハ後ニシテ起リシモノトス
ツキナ[illegible]モ三ノ方ハ中世ニ至テ起リシ
モノナリ中世紀ニ至リ教會堂ニテ
之ニ気ガ付キ慣用シ来リシニ亂雑ニハ
之ヲ專門ニ研究記述セシモノアルニ至
リ近テ今日ノ如キ盛大ノモノトナリシ
ナリ
音楽ノ發達略ボ右ノ如シ而シテ已ニ音楽
トスル所ハ専ラ目的ニ之ヲ用ユル楽器ノ事ヲ説クニ

楽器モ今日ノ如ク発達スルマデニハ変遷アリ蛮人ニハ
銅鑼太鼓喇叭ナド至要ノ楽器ナリキ殊ニ喇
叭ハ今日ノト其組織異ナリ依テ太鼓ナドヨリ復雑
ナルモノ故蛮人ノ楽器ハ之ニヨリテ発達ヲ催促セラレ
大ナリ半蛮人中ニハ管ノ楽器行ハレ之ヨリ發達
シテ笛トナリオルガントナルニ至リシナリ絃ノ楽
器モ蛮人ノ時代ヨリ進化セシモノナリ其ノ始
メハ蛮人ガ弓ノ絃ノ音ヨリ気付キテ弓ヲ直チ
ニ楽器ニ用ヒシモノニシテ之ガ発達進化シテ今日ノ
洋琴ノ[illegible]楽器ヲ生セシナリ
又夫ノ躍リノ如キモ其初メハ今日ノ舞踏ナドノ
如ク偏ヘニ娯楽ノ用ニ供スルモノニアラズシテ

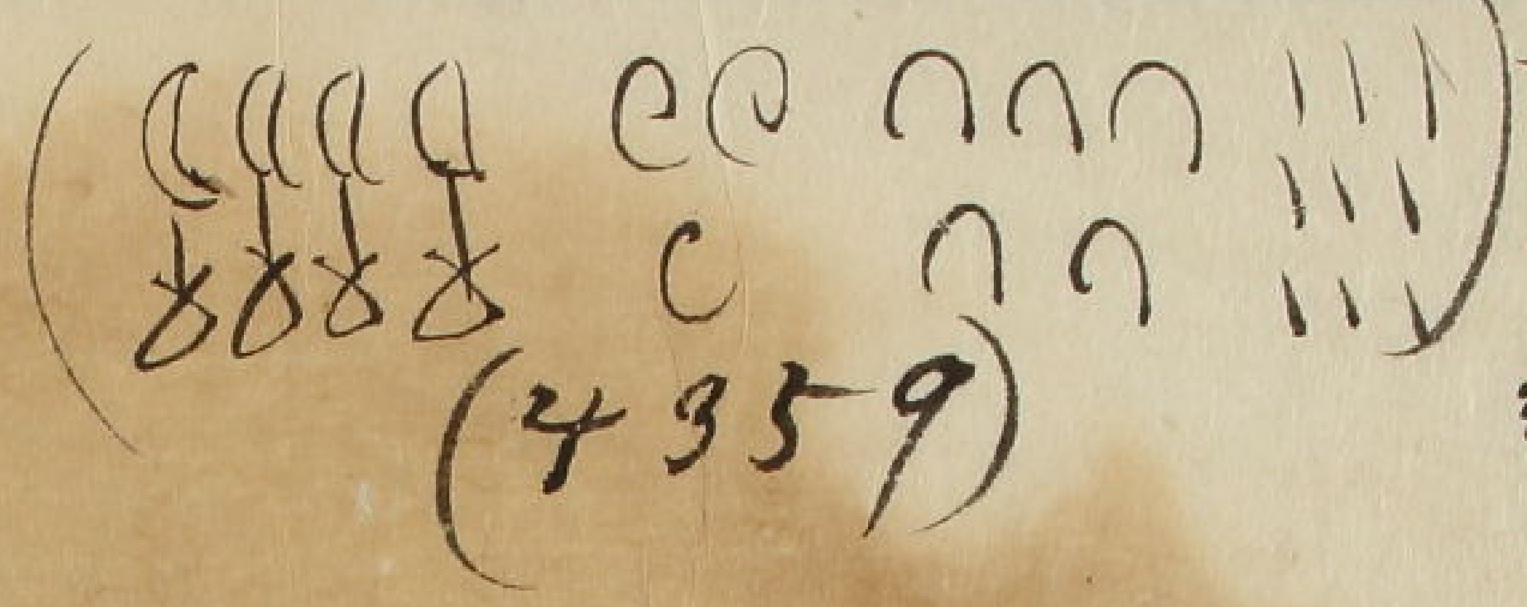
蛮人ノ最書大字多上其他ノ衡ヲ飾ル書
メニ用ヒシモノナリ　結局徳態トカ雲トカノ
感情カ自然ニ発シテ跳舞トナリ之カ字多上ノ
事ト相結（合シ文字）テ発達シタルナリ
絵画彫刻ト~~建築~~ナドハ直所ハ凡テ相合体
セルモノニテ四面ノ壁上ナドニ刻付セシ像形カ
之カ根本タルナリ　但シ絵画カ彫刻ヨリ離レテ
独立セルモ猶ホ絵画ト文字トハ分立セサリシコトア
ルモノニテ此点ヨリ見ル時ハ絵画ハ文字ニ先ツモノ
トシルヘシ　而シテ絵画モ蛮人ノ智慧ノ度ニ
リテ或ハ単ニ線ヲ集メテ飾リヲナシ画キ得ルモ
像形ヲハ画キ得サルモノアリ或ハ之ニ正反対ナ
ルモノアリ　エジプト人ノ如キハ後者ノ例ナリ
像ヲ描クニ拙ナル人種ニ従テ文字ノ発達モ遅（文形）
クタルナリ　美術ノ事ハ此ニテ了ルヘシ

○

学術ノ発達

学術ノ諸科分立シテ発達シ行クキハ勿論ナ
ルモ取リ分ケ一切ノ範囲ニ渉リテ必要ノモ
ノハ数理ノ学ナリ　数ノ学ノ発達ハ先ツ数
ノ言語ノ発達ヨリ見サルヘカラス　数ノ言語出
ルトヤカテ之ヲ文字ニ見ハサヽルヘカラス　数ヲ見
ハスニ始メハ目数ニ應シテ線ヲ畫セシモ段
ニ複雑ノ数ト成リ行クト共ニ之ヲ省略
セサルヘカラス　アッシリア埃及ナトニテハ古キ人

埃及ノ數字



文化ノ民ガ[illegible]テ數ノ記号モ大ニ進ミ居リシモ（サレバ）埃及ノ古代ノ數字ハ極メテ[illegible]雑ナルヲ免レズ(|)(∩ 10)(@ 100)(1000)ナドノ如キ數字ヲ用ヒテ居リテ貨金ノ運算ナドハ出来ヌナリ又アッシリアノ數字ハ(Y|)(く 10)(Y⊢ 100)(1000)ノ如キモノナリシナリ又夫ノ時計ニ記シアル羅馬數字ノ如キモ余リ便利トハ云ヘヌナリアラビア數字ハ非常ニ[illegible]モノナルコトハわかり又數之算勘ル元ニモ文字算盤ナドヲ用ニ元ニ[illegible]ル後ノ事ニシ古代ハ不便ナリシナリ或ハ[illegible]中ニ十ノ枝ヲ用ニ元ルモアリ數ノ五トナル

其ハ如何[illegible]トナレバ大抵ヲ置道リガ如キモニナリ又小石ヲ以テ計算セシハ余程弘ク行ハレシモノト見ユ希臘ナドノ古代計算ト希臘語ハ小石ト云フ言ヨリ来テ居ル見ル即チ calculus（計算）ハ[illegible]（小石）ヨリ来リ ラテン[illegible]モ calculus（小石）ヨリ来リ（計算）算ヲ見ルモ[illegible]算盤ノ[illegible]ノ大進歩ナリシハ知ルニモ[illegible]人ハ算盤ノ[illegible]ノ切ニ帰スル大ナリ又算盤ノ発明ハ[illegible]算盤ニ要ノ時空位ヲ置クコトアリ數字ニ0ヲ用ヒ初メシハ非常ノ進歩ナリ零

mile ト云フ字ハ mille 即チ千ト
云フ字ヨリ来ル即チ千トハ元ト一mile
ハ千paceナルヨリ千ト畧シテ云フナリ

ノ文字ナキ時ハ數学ノ大混雑ヲ生ズベキナリ筆算ト算盤算トハ優劣遽カニ定ムヘカラズ筆算ハアラビア字ヲ発達セシモノナリ

又測量ハ自己ノ身体ヲ標準トシテ事物ヲ計リシニ起リシモノトミヘテ今日ニテモ通俗ニハ手ノ長サ足ノ長サナトニテ計ル（カク身体ヲ標準トセシ）此法ハ割合ニ精密ノモノトミヘキモ記ハ今日ノ尺量[redacted]ノ名ガ[redacted]ノ身体ノ名ヨリ来レルニテ明カナリ例ヘハ cubit ハ hand foot ノ span ノ nail ノ ell ノ如キ此例ナリ fathom pace ノ尺量ニテ最モ普通ニシテメートルハ尺ナリ之ハ佛国革命ノ時

定メタルハ地球ノ北極ヨリ赤道マデノ長サヨリ割リ出シタルモノナリ又衡量ノ方モ漸次進ミシモノナリ古代モ権衡アリシモ精密ナラザリシヲ漸ク精密ナラシメタルガ進歩ナリ次ニ面積ヲ計ルコモ長サノ尺量ヨリ進ミ来ラザルヘカラズ之ヲ始メテ発明セシハ埃及人ナリ埃及デ数学トハ測地ノ学ナリシナリ是テ今日（幾何）ノ幾何学ト云フハ即チ測地ヨリ起クモノヨリ来リシナリ又此測量法モ大体ニ止マリテ精密極マリシモノニハアラザリキ例ヘバ三角ノ地ハ凡テ二面ヲ乗シテ二ニ除シテ面積ヲ得トセシナリ以テ古代ノ面積算法

ノ粗ナリシヲ見ヘ一ニ完全ニモシハ極メテ近代
事ナリ又埃及人ガ円面積ヲ計ルニハ未ダ円
周率ナキニヨリ常ニ直径ノ九分ノ八ヲ
二乗セシナリ之ガ粗ナルモ実ニ近キハ之ヲ自
苦心シテ経験セシヲ見ルベシ埃及ナドデハ之ヲ算
ノ測量法ナルハ神聖ナル秘伝トセシナリ之ガ
希臘ニ伝ハリテハ宗教上ナドヨリノ束縛ナキ
ヨリ自由ニ試験改良セシナリタレスピタゴラス
ナドガ之ヲ始メヤガテユークリッドガ之ヲ大成
セシナリ要之数学上ノ理ハ凡テ経験上ヨ
リ来リシナリ直線ヲ二点間ノ最短線ナリト
ハ古代ハ云ハザリシモ之ハ然ルニ凡法立方自乗

様ヲ二本定メテ之ヲ結ヘテ之ヲ直線ト
セシナリカク平算ト幾何トハ希臘ニテ発達セ
シテ未定ノ数ヲ符号ヲ用ヒテ数間ノ純粋ノ
関係ヲ示セシハ後ノ事ナリ之ヲ発明セシハ印度
人ナリトミユルモ尚雑駁ノモノナリシナリ支那日
本ナドノモ然リ之ヲ完全ニ発明セシハアラビヤ人
ナリ江ニミノ者ハ古クヨリ之アリシナリ他ノ真ノ算数
学ノ発達セシハ極近代ノ事ナリ代数ノ性
質ヲ幾何ニ応用セシハデカルトナリ其他ガリレオ
ニウトン、ライブニッツナド有名ノ数学者アリ
次ニ学術ノ肝要ナルハ物理学機械学ナリ古代ヨリ
モ数学ト等シク其学ノ考ナ様ヲ経ト共ニ有

ライプニッツハ微
分積学ヲ
発明セシナリ

もともこれヲ学術ノ肢トモ云ハ東洋ノ開化国
即支那ニハアラス希臘ナリシナリアリシナリ
ノ法ニハ已ニ械機学ノ端アリシナリ之ヲ
完全ニ学問的ニセシハアルケミデスナリ此人ガ始メ
テ槓桿ノ作用ノ理ヲ説明シタルナリ又物ノ
浮ブ理ヲ説明セシモ此人ナリ此等ハ中世ニ全ク
放棄シ居リシニ近代ニ至リ古書中ヨリ之ヲ発見シ
身ニシテ直ニ他ノ凡テ物理学ノ進歩ハ学ニテ遅
リタルモノナリ又振子ノ作用ヲ考ヘ之ヲ時計ニ用ヒ
シハガリレオナリトモ実ハ其以前ニアラビア人
カ発明セシナリ古代物理学ノ遠ク及ハ
後レ居ルナリ其他熱学光学電気学等ハ

各種[illegible]料ナレトナリシハ極近ノコトニシテ
熱学ノ如キ何レモ[illegible]ハ一種ノ物質ノ発射
ニ来ル説ハモトモトナリ電気ノ如キハ偶然ノ結
果トシテ知ルノ之ガ事実上ノ知識ヲ有シ居
モ電気トシテ研究モシナカリキ但シ
磁石ノ事ハ発明モ古クアリ
リ鴻ナリ化学ハ事実ノ上ニハ古ク人モ行ナリ
鑛石ヨリ金属ヲ出ナル方面ニ硝子ヲ作リ薬草ヲ
作リタルモノハ化学ノ應用ナリシ学問上ノ
考ヘモ多少説リシモノト見エ希臘ノ学者
カ元素ニ注意ヲナシ物ノ成立ヲ説キタル如
キ又即チ之ノ地水火風ノ四大ヲ説ク如キ

之レナリ希臘デ分子アトムノ説ヲ唱ヘタルハ余
程進ミタル者ニテ今日ノ化学モ此範囲ヲ出ル能
ハズ只今日ノ化学ハ材料カ豊富ニナリタルナリ之ニ
加フルニハ希臘人ナアリストートル人アリアリストートルハ有名
ナル錬金術ヲエキスペリメントセシ凡金ヲ黄金
ニ錬リ易ヘントノ工風ニシテ我ガ支那ノ道士ノ
説ノ如キモノナリ（アラビア人ノ錬金術ノ果ハ）
アラビア統強キドノ存在ヲ発見シタリ之ニ
化学ノ発達ニ非常ノ影響ヲナシ遂ニ化
学ノ大ニ進歩ヲ致シタルハ酸素ノ化合ノ
説[illegible]ナリ夫ヨリ毎ニ進歩シテ今日ニ元
素[illegible]発見[illegible]諸物ノ成

立国[illegible]造[illegible]子ノ[illegible]テハ
室ハ[illegible]ハ之レナリ
剖[illegible]ノ事モ明カ[illegible]為ニ[illegible]解
モ[illegible]ナスヲ自然ナ[illegible]料
ノ法中ノ疵ハ少ク[illegible]向
ノ事ヲ達シ陸ハ[illegible]余ハ[illegible]剖
向トセシハ希[illegible]ヘキナリ[illegible]ニテヲ学
ヲ著シタリ医[illegible]子トシテハ[illegible]博物学者ナリ
的ニ説キタリ[illegible]トシテハ七科ニ分チテスガ此ニテ学問
実験ハ心臓ノ[illegible]昔人カ今日ヨリ見レバ知レ切リタル事
吸ノ化学的作用血液ノ成立作用血液ノ循環呼
吸ノ化学的作用ナドヲ研究シテモ多大ノ労力

ニ重子タルモノ有リ其他神経ノ作用ナドノ如キ

ハ極メテ新シキ発見ナリ今日ト云ヘ神経ノ理ハ未

ミナカナカニ [illegible] 動植物分類主トシテ外形

上ニ拘ル蝕 [illegible] 言フモ益ナキ [illegible] ノ如メ

テ区分 [illegible] ありけ区

ラ法 [illegible] カれハ夫

[illegible] 行リ

[illegible] 六極

[illegible] 法ノ氷

[illegible] 生

抵ノ [illegible] 之ラ [illegible] 田ノ

[illegible] 云シテ